

浜松市文化財保存活用地域計画(案)

資料編

令和2年12月

浜 松 市

例 言

本書は『浜松市文化財保存活用地域計画』の資料編である。同名の本編を補完する資料等を掲載する。

本書に掲載した資料は、令和2年12月1日現在のものである。

本書で示す用語は、以下のとおり定義する。

指定文化財：国、静岡県、浜松市の指定文化財

指定等文化財：国、静岡県、浜松市の指定文化財と国の登録文化財及び市認定文化財の総称

市認定文化財：浜松地域遺産認定制度に基づき市が独自に把握する文化財

目 次

1	各種地図	1
	(1) 地 質	1
	(2) 地 形	2
	① 広 域	2
	② 市内詳細	3
	(3) 水系・平均気温・年間降水量・年間日照時間	4
	(4) 旧町村区分	5
2	関連資料	6
	(1) 古代の地域区分（郡・郷）	6
	(2) 式内社	8
	(3) 中世の地域区分（荘園・御厨）	10
	(4) 支配層の変遷	12
	① 遠江国守護	12
	② 浜松城歴代城主	13
	(5) 交 通	14
	(6) ゆかりの人物	15
3	主な文化財	22
	(1) 有形文化財建造物	22
	(2) 有形文化財美術工芸品	26
	① 絵 画	26
	② 彫 刻	26
	③ 工芸品	28
	④ 書 跡	29
	⑤ 典 籍	29
	⑥ 古文書	29
	⑦ 考古資料	30
	⑧ 歴史資料	30
	(3) 有形民俗文化財	36
	(4) 無形民俗文化財	40
	(5) 史跡、考古資料	44
	① 旧石器・縄文・弥生時代	44
	② 古墳時代	48
	③ 奈良時代～室町時代	52
	④ 城 跡	56
	⑤ 街 道	60

(6) 名 勝.....	64
(7) 天然記念物.....	68
(8) 近代化・産業遺産.....	72
(9) 埋蔵文化財.....	76
4 指定等文化財一覧.....	82
(1) 国指定文化財.....	82
(2) 静岡県指定文化財.....	82
(3) 浜松市指定文化財.....	84
(4) 国登録有形文化財.....	89
(5) 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財.....	90
(6) 浜松市認定文化財.....	90
(7) 指定等文化財集計表.....	96
(8) 文化財に関する主な社寺.....	97
5 年 表.....	104

1 各種地図

(1) 地質

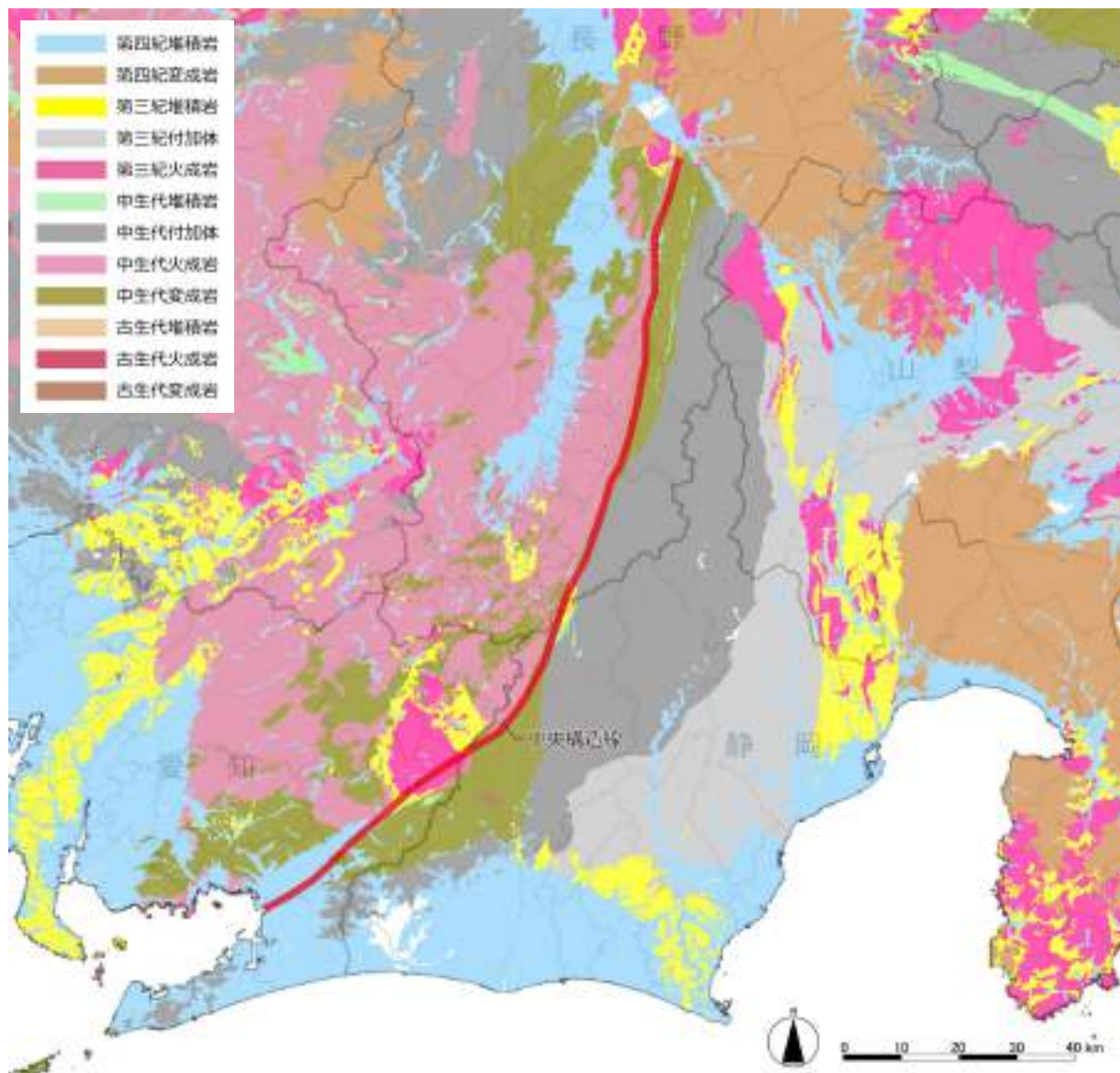


図1 地質

(2) 地形

① 広域



図2 地形（広域）

② 市内詳細

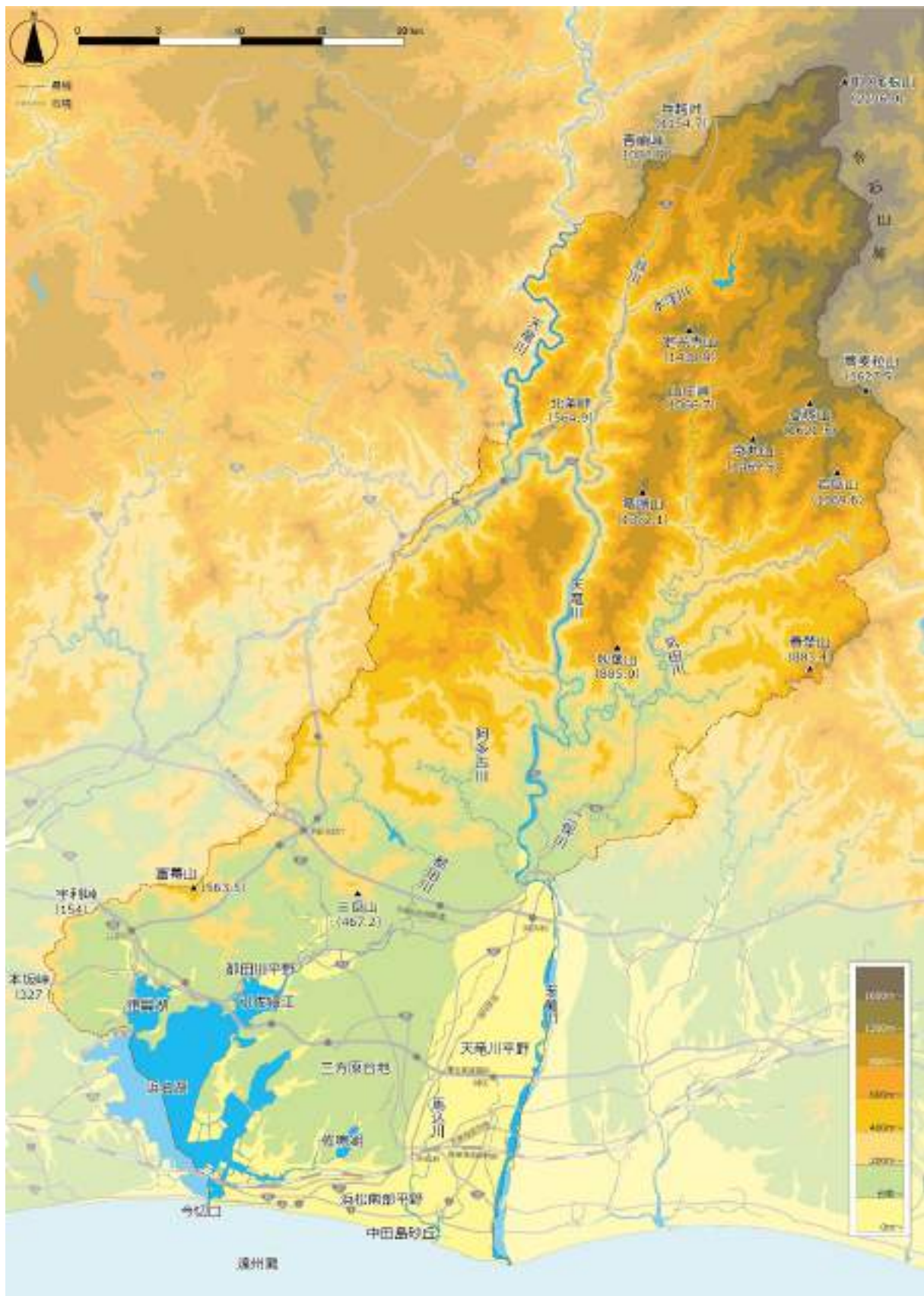


図3 地形

(3) 水系・平均気温・年間降水量・年間日照時間



図4 水系・流域

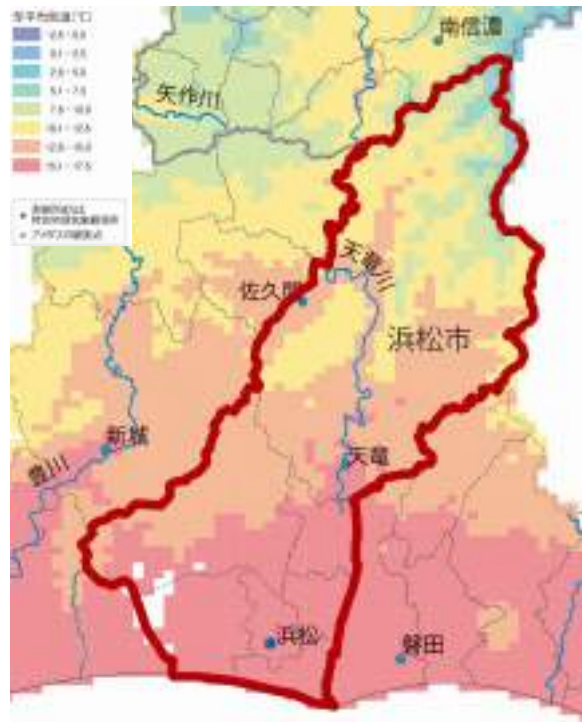


図5 気温

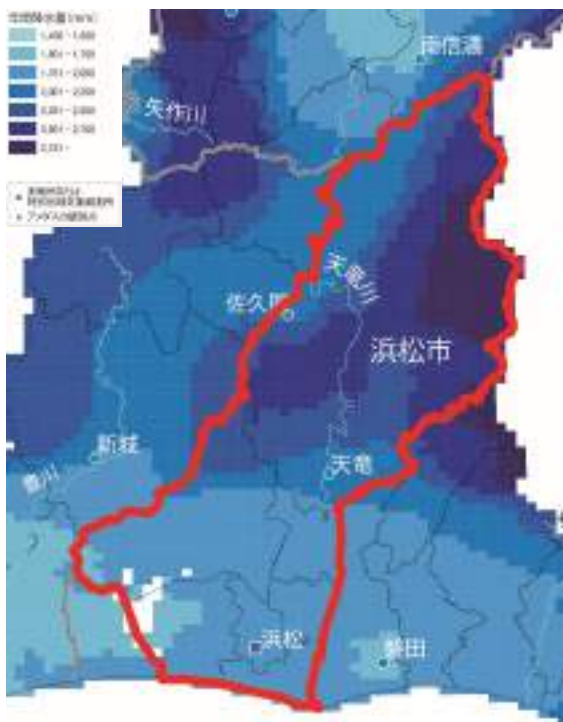


図6 降水量

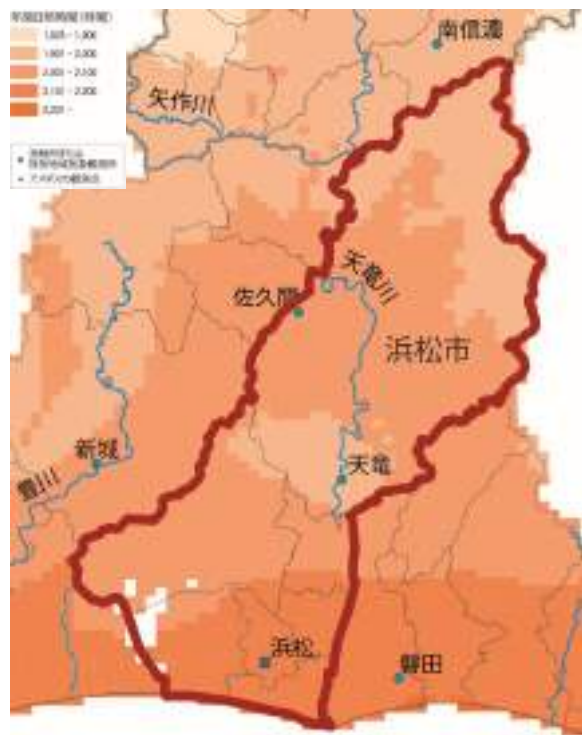


図7 日照時間

2 関連資料

(1) 古代の地域区分（郡・郷）

表1 『和名類聚抄』にみえる浜松周辺の郡・郷（里）

郡名	高山寺本 平安末期の写本 12世紀	大東急記念文庫本 室町中期の写本 15世紀	名古屋市博物館本 永禄九年の写本 1566年	元和古活字本 元和三年 1617年
浜名郡 波万奈	坂本 大神 駅家 贄代 英多 宇智	坂上 坂本 大神 駅家 贄代 英多 宇智	坂本 坂下 大神 駅家 贄代 英多 宇智	坂上 坂本 大神 駅家 贄代 英多 宇智
敷知郡 〔敷智郡〕 淵	蛭田比留多 赤坂安加佐賀 象嶋 柴江之波江 小文 竹田 雄踏 海間阿万 和治 浜津	蛭田比留多 赤坂阿加佐賀 象嶋 柴江之波江 小文 竹田太介多 雄踏 尾間於万 和治 浜津波万万都 駅家	蛭田ヒルタ 赤坂アカサカ 象嶋 柴江シハエ 小文 竹田 雄踏 海間アマ 和治 浜津 駅家	蛭田比留多 赤坂阿加佐賀 象島 柴江之波江 小文 竹田太介多 雄踏 尾間於万 和治 浜津波万万都 駅家
引佐郡 伊奈佐	京田美夜古太 刑部 渭伊為以 伊福以布久	京田美也古多 刑部於佐加倍 渭伊井以 伊福以布久	京田ミヤコタ 刑部 渭伊イ 伊福イフコ	京田美也古多 刑部於佐加倍 渭伊井以 伊福以布久
鹿玉郡 阿良多末	三宅 碧田安乎多 覇田反田 赤狭阿加佐	三宅美也介 碧田安乎多 覇田反多 赤狭阿加佐	三宅 碧田アヲタ 覇田ハタ 赤狭アカサ	三宅美也介 碧田安乎多 覇田反多 赤狭阿加佐
長上郡 長乃加美	芽原知波良 碧海阿乎宇三 長田 河辺加波へ 蟾沼比支奴末 壺志以知之	芽原加波良 碧海阿乎宇美 長田奈加多 河辺加波乃倍 蟾沼比木奴万 壺志以知之	芽原チハラ 碧海アヲウミ 長田 河辺カハへ	芽原加波良 碧海阿乎宇美 長田奈加多 河辺加波乃倍 蟾沼比木奴万 壺志以知之
豊田郡 止興太 国府	(掲載なし)	(掲載なし)	府 蟾沼ヒキヌマ 壺志イチシ	(掲載なし)
長下郡 准上	大田 長野奈加乃 貫名沼岐奈 伊筑 幡多判多 大楊 老馬於以万 通隈止保利久万	太田 長野奈加乃 貫名奴木奈 伊筑 幡多判多 大楊於保也奈木 老馬於以万 通口止保利久万	大田 長野 貫名ヌキナ 伊筑 幡多 大楊 老馬ヲヒマ 通隈トヲクマ	太田 長野奈加乃 貫名奴木奈 伊筑 幡多判多 大楊於保也奈木 老馬於以万 通熊止保利久万
磐田郡 伊波太	飯宝 曾能 山香 入見 小野 千柄 高苑 壬生 野中 久米 小谷 飯宝 豊国	飯宝 曾能 山香 入見 小野乎乃 千柄 高花 壬生尔布 野中乃奈加 久米 小谷 飯宝 神戸 豊国止与久尔 駅家	飯宝 曾能 山香 入見 小野 千柄 高苑 壬生 野中 久米 小谷 飯宝 神戸 豊国 駅家	飯宝 曾能 山香 入見 小野乎乃 千柄 高花 壬生尔布 野中乃奈加 久米 小谷 飯宝 神戸 豊国止与久爾 駅家
山香郡 也末加	大峯 与利 岐階 氣多	大峯 與利 岐階 氣多	大岑 与利 岐階 氣比キヒ	大峯 與利 岐階 氣多
周智郡	小山 山田 依智 大田 田椀	小山乎也万 山田也万多 依智江知 大田於保多 田椀	小山ヲ 山田 依智 大田 田椀	小山乎也万 山田也万多 依智江知 大田於保多 田椀

『和名抄』のうち高山寺本では「駅家」等の表記を省略するとある。

『倭名鈔』大東急記念文庫本では「鹿玉 阿良多末 今称有玉」と記載する。

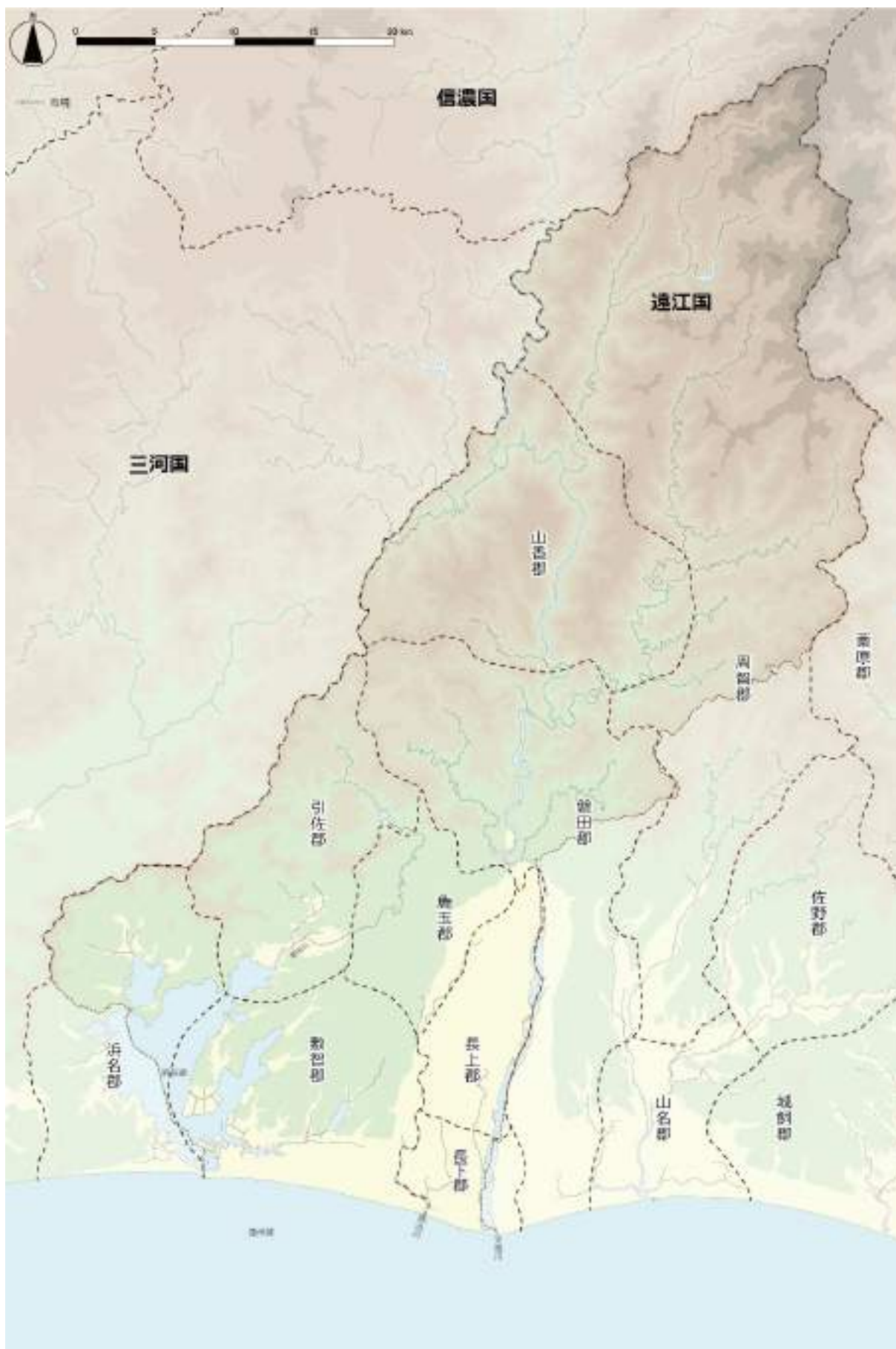


図9 古代の郡界（推定）

(2) 式内社

表2 式内社

No.	旧郡	名称		住所		現在の社 (無記入は左記の 神社名と同じ)
		漢字	よみ	区	町等	
1	浜名郡	弥和山神社	みわやまじんじゃ	北区	三ヶ日町只木神明宮	
2	浜名郡	英多神社	えた/あがたじんじゃ	北区	三ヶ日町三ヶ日大輪山	浜名惣社神明宮
3	浜名郡	猪鼻湖神社	いはなこじんじゃ	北区	三ヶ日町下尾奈	
4	浜名郡	角避比古神社	つのさくひこじんじゃ	所在不明		-
5	敷智郡	岐佐神社	きさじんじゃ	西区	舞阪町舞坂	
6	敷智郡	許部神社	こへじんじゃ	中区	八幡町	浜松八幡宮
7	敷智郡	津毛利神社	つもりじんじゃ	所在不明		-
8	敷智郡	息神社	やすみ/おむじんじゃ	西区	雄踏町字布見	
9	敷智郡	曾許乃御立神社	そこのみたちじんじゃ	西区	呉松町	
10	敷智郡	賀久留神社	かくるじんじゃ	西区	神ヶ谷町	
11	引佐郡	渭伊神社	いいじんじゃ	北区	引佐町井伊谷	
12	引佐郡	乎豆神社	をつじんじゃ	北区	細江町中川	
13	引佐郡	三宅神社	みやけじんじゃ	北区	引佐町井伊谷	二宮神社
14	引佐郡	蜂前神社	はちさきじんじゃ	北区	細江町中川	
15	引佐郡	須倍神社	すへじんじゃ	北区	都田町	
16	引佐郡	大歳神社	おおせちじんじゃ	北区	引佐町三嶽	三嶽神社
17	引佐郡	大歳神社(同上)	おおせちじんじゃ	北区	滝沢	四所神社
18	亀玉郡	於侶神社	おろじんじゃ	浜北区	於呂	於呂神社
19	亀玉郡	於侶神社(同上)	おろじんじゃ	浜松市	道本	於呂神社
20	亀玉郡	多賀神社	たかじんじゃ	浜北区	尾野	高根神社
21	亀玉郡	多賀神社(同上)	たかじんじゃ	浜北区	宮口	六所神社
22	亀玉郡	長谷神社	ながたにじんじゃ	浜北区	堀谷	六所神社
23	亀玉郡	若倭神社	わかやまとじんじゃ	所在不明		-
24	長下郡	大厩神社	おおみかじんじゃ	東区	中野町	大厩神社
25	長下郡	大厩神社(同上)	おおみかじんじゃ	浜北区	東美菌	八幡宮
26	長下郡	登勒神社	とろくじんじゃ	浜北区	道本	於呂神社
27	長下郡	猪家神社	きのへじんじゃ	天竜区	二俣	椎ヶ脇神社
28	長下郡	猪家神社(同上)	きのへじんじゃ	浜北区	小林	稲荷神社
29	長上郡	大歳神社	おおとしじんじゃ	東区	天王町	大歳神社
30	長上郡	大歳神社(同上)	おおとしじんじゃ	東区	神立町	蒲神明宮
31	長上郡	邑勢神社	いふせじんじゃ	東区	大島町	邑瀬神社
32	長上郡	服織神社	はとりじんじゃ	東区	豊町	服織神社
33	長上郡	朝日波多加神社	あさひはたかじんじゃ	所在不明		-
34	長上郡	子倉神社	こくらじんじゃ	東区	白鳥町	子安神社 か
35	山名郡	山名神社	やまなじんじゃ	所在不明		-
36	山名郡	郡辺神社	こをりへじんじゃ	所在不明		-

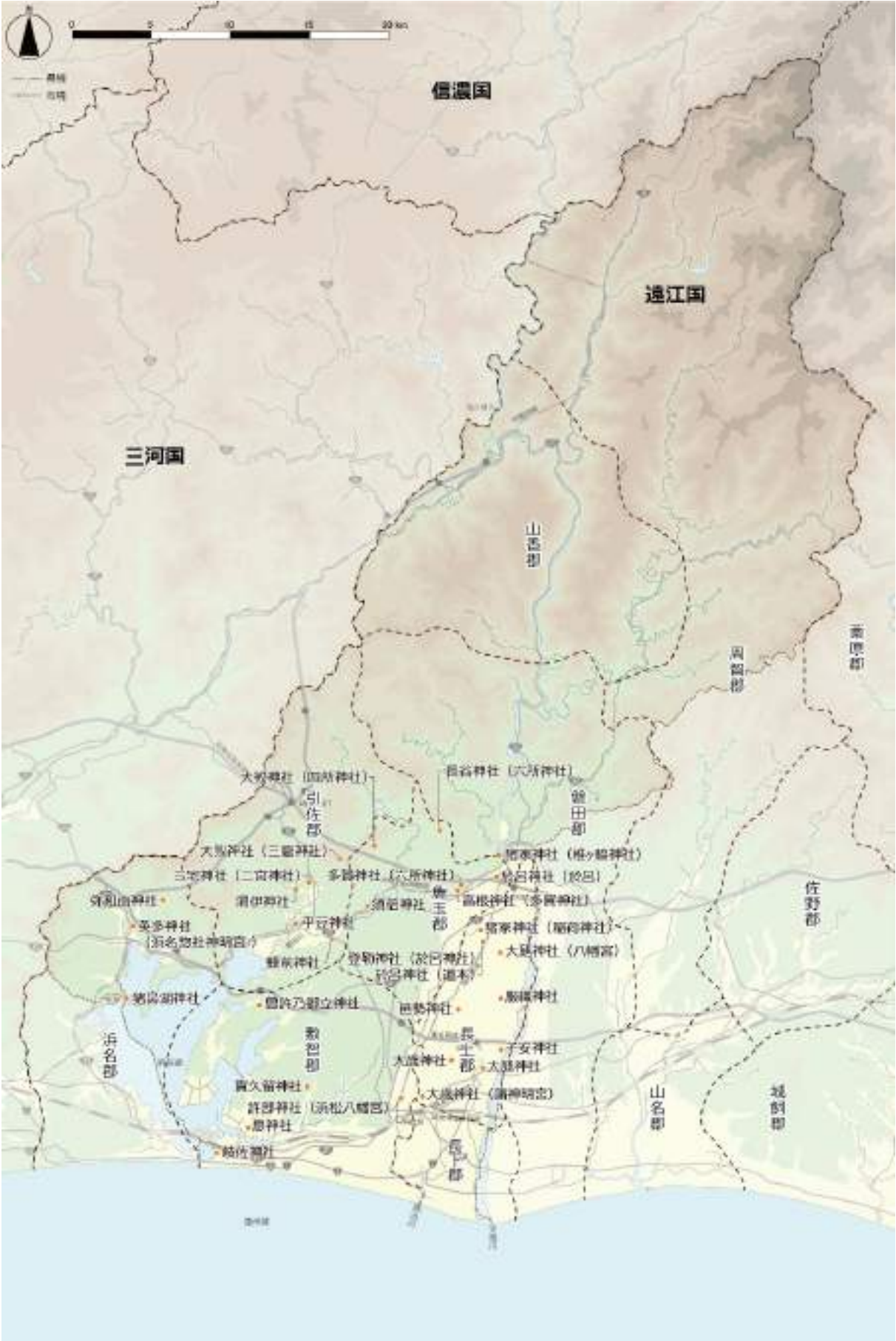


图 10 式内社

(3) 中世の地域区分 (荘園・御厨)

表3 荘園・御厨

No.	名称	郡名	立荘時の領主	現在位置
1	市野荘	長上	貞観寺領	浜松市東区市野町ほか
2	高家荘	長下	貞観寺領	不明、後に頭陀寺荘の一部か
3	池田荘	豊田(磐田)	松尾社領	浜松市東区、磐田市南西部
4	羽島荘	豊田・長上	新熊野社領	浜松市東区
5	頭陀寺荘	長下	高野山領	浜松市南区、磐田市南西部
6	川勾荘	長下	頭陀寺領(仁和寺末)	(頭陀寺荘と同じ)
7	山香荘	山香	長講堂領	浜松市天竜区春野町、佐久間町、水窪町、龍山町ほか
8	気賀荘	引佐	七条院領	浜松市北区細江町ほか
9	飯田荘	周智	蓮華王院	周智郡森町
10	那賀荘	不明	高野山領	不明、湖西市中ノ郷か
11	浜松荘	敷智	室町院領・安嘉門院領	浜松市中区、南区、西区、天竜区阿多古
12	忝(吉美)荘	敷智	不明	湖西市吉美ほか
13	村櫛荘	敷智	最勝光院領	浜松市西区庄内地区ほか
14	笠井荘	長上	室町幕府領	浜松市東区笠井地区ほか
15	尾奈御厨	浜名	伊勢神宮	浜松市北区三ヶ日町尾奈
16	浜名神戸	浜名	〃	浜松市北区三ヶ日町岡本ほか
17	大崎御園	浜名	〃	浜松市北区三ヶ日町大崎
18	北原御園	浜名	〃	浜松市北区三ヶ日町福長
19	大墓御厨	浜名	〃	浜松市北区三ヶ日町付近
20	佐久目御園	浜名	〃	浜松市北区三ヶ日町佐久目
21	但木美園	浜名	〃	浜松市北区三ヶ日町只木
22	都田御厨	引佐	〃	浜松市北区都田地区
23	祝田御厨	引佐	〃	浜松市北区細江町祝田
24	刑部御厨	引佐	〃	浜松市北区細江町中川
25	美菌御厨	長上	〃	浜松市浜北区美菌ほか
26	蒲御厨	長上	〃	浜松市東区、南区
27	豊永御厨	長上	〃	浜松市浜北区内野・小松ほか
28	池田御厨	豊田	〃	浜松市または磐田市

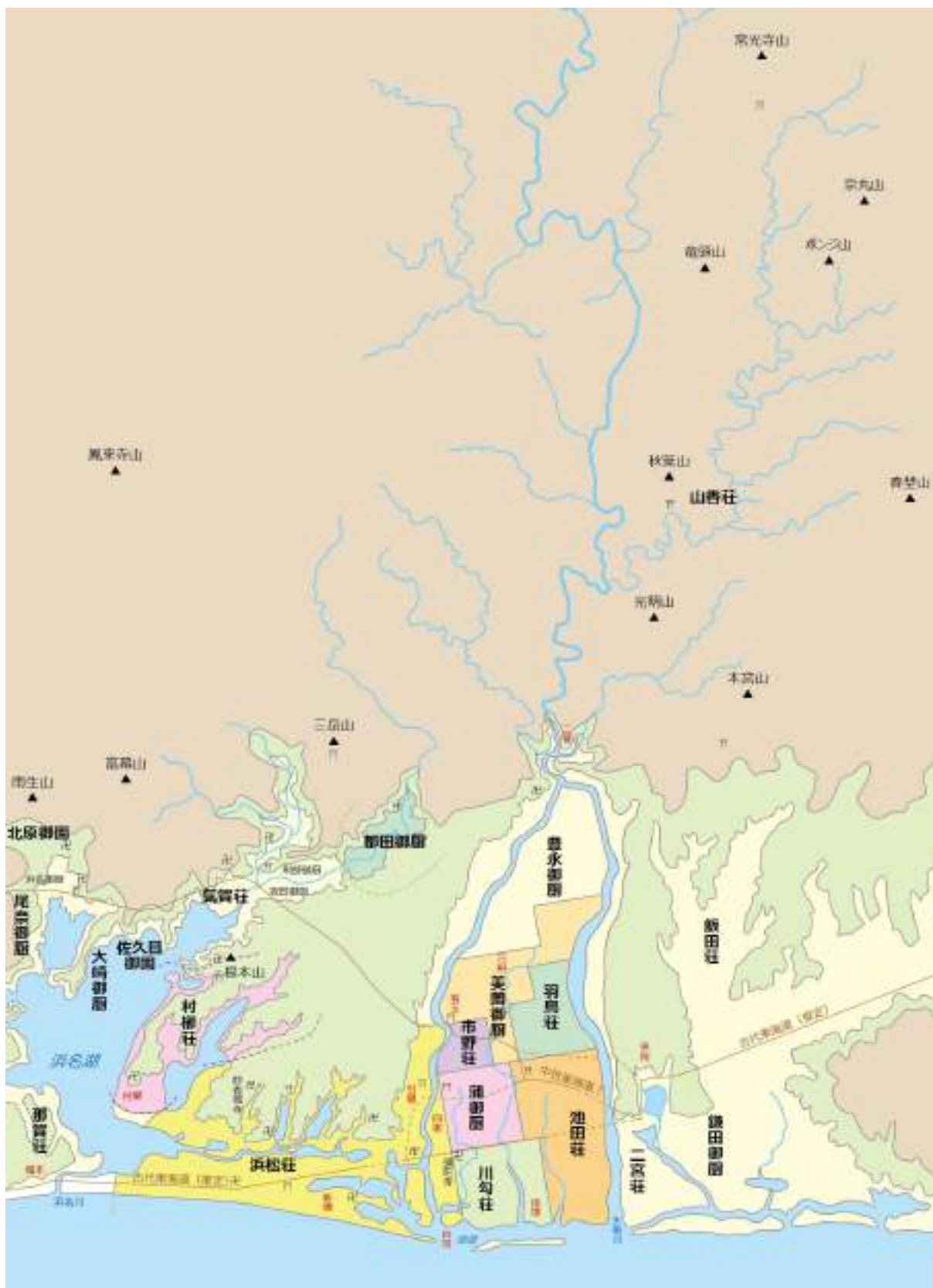


图 11 荘園・御厨

(4) 支配層の変遷

① 遠江国守護

表4 遠江国歴代守護

No.	氏名	法名	官職名・呼名	在任期間			
1	今川範国	心省	五郎入道	元弘 3年 (1333)	—	暦応 1年 (1336)	
2	仁木義長		右馬権助	暦応 2年 (1339)	—	康永 2年 (1343)	
3	千葉貞胤		千葉介	康永 2年 (1343)	—	観応 2年 (1351)	
4	仁木義長		右馬権助	観応 2年 (1351)	—		
5	今川範氏		上総介	正平 7年 (1352)	—		
6	今川範国	心省		正平 7年 (1352)	—	貞治 4年 (1365)	
7	今川貞世	了俊	伊予守	永和 4年 (1378)	—		
8	今川範国	心省		康暦 1年 (1379)	—	至徳 1年 (1384)	
9	今川貞世	了俊	伊予入道	至徳 1年 (1384)	—	嘉慶 2年 (1388)	
10	今川仲秋	仲高		嘉慶 2年 (1388)	—	応永 6年 (1399)	
11	今川泰範	法高	上総介	応永 6年 (1399)	—		
12	斯波義教(重)	道孝	右兵衛督	応永 12年 (1405)	—		
13	斯波義淳	道忠	左兵衛佐 治部大輔	応永 26年 (1419)	—	永享 5年 (1433)	
14	斯波義郷	道慶	治部大輔	永享 5年 (1433)	—	永享 8年 (1436)	
15	斯波義健	道寿	治部大輔	永享 8年 (1436)	—	享徳 1年 (1452)	
16	斯波義敏	道海	佐兵衛佐	享徳 1年 (1452)	—	寛正 1年 (1460)	
17	斯波松王丸		(義良・義寛)	寛正 1年 (1460)	—	寛正 2年 (1461)	
18	斯波義廉		治部大輔	寛正 2年 (1461)	—	文正 1年 (1466)	
19	斯波義敏		佐兵衛佐	文正 1年 (1466)	—		
20	斯波義廉		治部大輔 佐兵衛佐	文正 1年 (1466)	—	文明 2年 (1470)	
21	斯波義寛		佐兵衛佐	延徳 3年 (1491)	—	文亀 1年 (1501)	
22	斯波義達				—	永正 5年 (1508)	
23	今川氏親	貫公	修理大夫	永正 5年 (1508)	—	大永 6年 (1526)	
24	今川氏輝	去公	五郎	大永 6年 (1526)	—	天文 5年 (1536)	
25	今川義元	哲公	治部大輔 三河守	天文 4年 (1536)	—	永禄 3年 (1560)	
26	今川氏真	栄公	治部大輔 上総介	永禄 3年 (1560)	—	永禄 12年 (1569)	

② 浜松城歴代城主

表5 浜松城歴代城主

西暦	城主	在城期間		年限	地域の支配者	石高	前封地	転封地	在城中の役職等、備考
		自	至						
	引間城主として名前が見える武将 永正年間、久野越中守屋敷を三善為連が城とする。「浜松御在城記」 大河内備中守貞綱(別説)。「曳馬拾遺」 巨海新左衛門尉。「宗長手記」 小原肥前守(永禄3)石高4.7万石「今川分限帳」				斯波氏・吉良氏 今川氏				
	飯尾善四郎堅連 豊前守乗連 豊前守連龍	天文? ~ ~ 永禄3 永禄3 ~ 永禄8				天文11(1551)、少年時代の豊臣秀吉が松下之綱の家人として引馬城に飯尾豊前守を訪問する。		(誅殺)	飯尾連龍、今川氏真に殺害される。
1565	(江間安芸守泰顕・加賀守時成)								安芸守と加賀守内紛、永禄11年家康引馬城占拠。
1570	徳川三河守家康	元亀1 ~ 天正14	17年	(徳川氏)	初52万石 後152万石	三河岡崎	駿府府中	元亀3(1572)三方ヶ原にて武田信玄に敗北。 天正7(1579)信康自刃、築山殿殺害。 後江戸252万石、開幕400万石。 普沼定政預城。定政は後、土岐に復姓、下総相馬。	
1586	(城代)	天正14 ~ 天正18							
1590	堀尾帯刀吉晴	天正18 ~ 慶長4	2代	豊臣氏	初12万石 後17万石	近江佐和山	(譲) 出雲松江	豊臣系大名、中老。 出雲・隠岐24万石、国宝松江城を建設。	
1599	信濃守忠氏	慶長4 ~ 慶長5	11年						
1601	松平左馬亮忠頼	慶長6 ~ 慶長14	9年	徳川氏(將軍家)	5万石	美濃金山	横死	子忠重は上総佐貫で大名に復帰。後、掛川城主。	
1609	水野対馬守重仲	慶長14 ~ 元和5	11年		初2.5万石 後3.5万石	常陸	紀伊新宮	駿遠国主徳川頼宣の付家老。 元和2(1616)家康、駿府で没する。	
1619	高力摂津守忠房	元和5 ~ 寛永15	20年		初3.1万石 後3万石	武蔵岩槻	肥前島原	駿遠国主徳川忠長(寛永1~9)	
1638	松平和泉守乗寿	寛永15 ~ 正保1	7年		3.5万石	美濃岩村	上野館林	老中・侍従	
1644	太田備中守資宗	正保1 ~ 寛文11	2代		3.5万石	三河西尾	大坂城代	(致仕)	
1671	摂津守資次	寛文11 ~ 延宝6	35年		3.2万石			奏者番・寺社奉行	
1678	青山因幡守宗俊	延宝6 ~ 延宝7	3代		5万石	大坂城代	丹波亀山	老中	
1679	和泉守忠雄	延宝7 ~ 貞享2	25年					このころ、浜松の領分絵図を制作する。	
1685	下野守忠重	貞享2 ~ 元禄15							
1702	松平伯耆守資俊	元禄15 ~ 享保8	2代		7万石	常陸笠間	三河吉田	本庄姓、松平姓拝領。侍従	
1723	豊後守資訓	享保8 ~ 享保14	28年					侍従	
1729	松平伊豆守信祝	享保14 ~ 延享1	2代		7万石	三河吉田	三河吉田	大坂城代・侍従・老中	
1744	伊豆守信復	延享1 ~ 寛延2	21年						
1749	松平豊後守資訓	寛延2 ~ 宝暦2	2代		7万石	三河吉田	丹後宮津	再任、本庄姓。京都所司代・侍従	
1752	富之助資昌	宝暦2 ~ 宝暦8	11年						
1758	井上河内守正経	宝暦8 ~ 明和3	3代		6万石	京都所司代	陸奥棚倉	京都所司代・侍従・老中	
1766	河内守正定	明和3 ~ 天明6	60年					奏者番・寺社奉行	
1786	河内守正甫	天明6 ~ 文化14							
1817	水野越前守忠邦	文化14 ~ 弘化2	2代		初6万石 後7万石	肥前唐津	出羽山形	寺社奉行・大坂城代・老中・侍従	
1845	金五郎忠精	弘化2 ~ 弘化2	29年						
1845	井上河内守正春	弘化2 ~ 弘化4	2代	6万石	上野館林	上総鶴舞	再任。		
1847	河内守正直	弘化4 ~ 明治1	24年				寺社奉行・老中・侍従		

(5) 交通

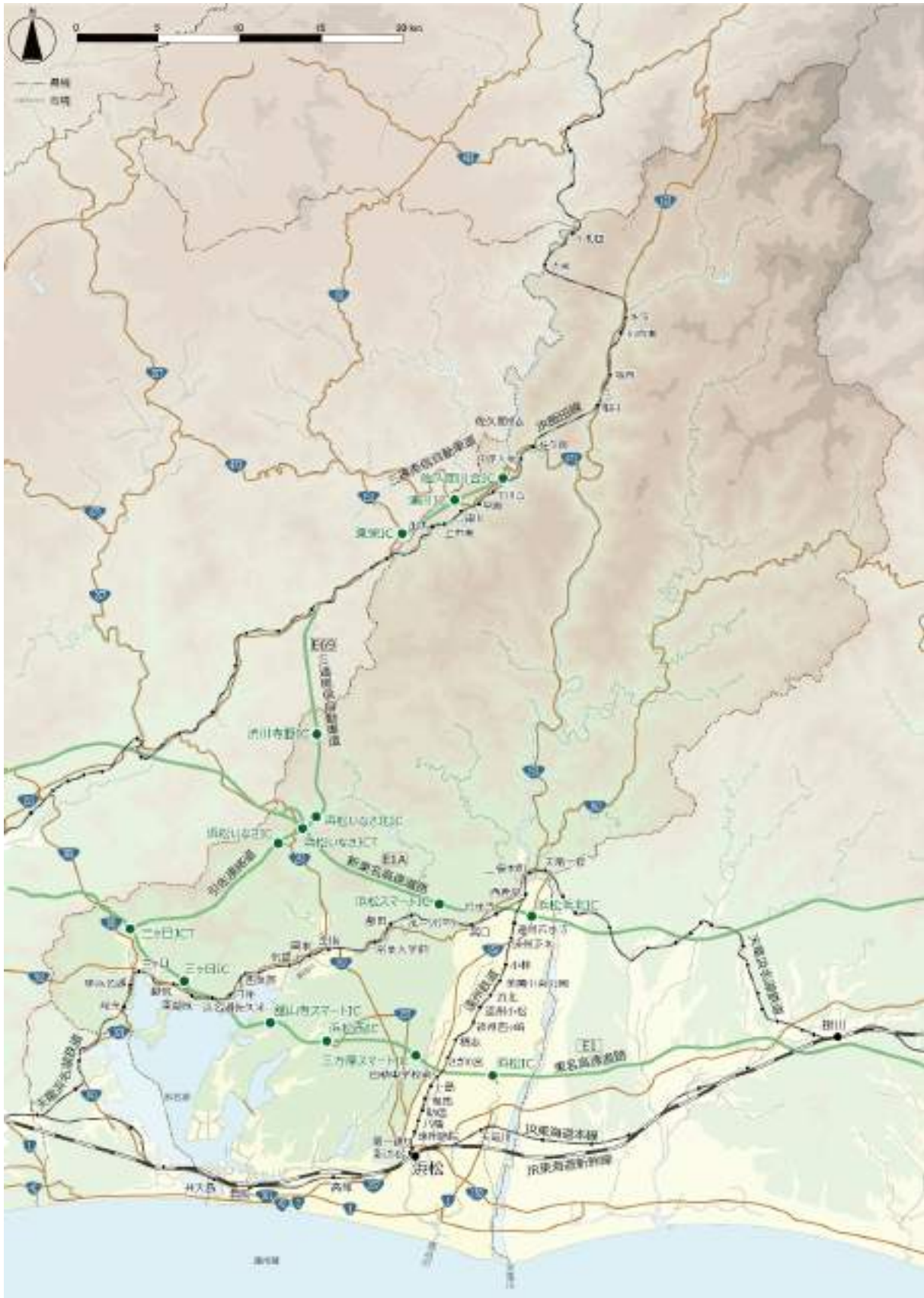


图 12 交通

(6) ゆかりの人物

表6 ゆかりの人物（その1）

名 前	時 代	性別	解 説
はまきたじん 浜北人	18000 年前 旧石器時代	女	現存する本州最古の化石人骨。中央構造線の外帯に連なる古中世層のうちに発達した石灰岩の洞窟に暮らしていた。下層と上層があり、上層の人骨は20歳代の女性、身長は143cmと推定されている。
みっかびじん 三ヶ日人	8000 年前 縄文時代	男	石灰岩の岩陰で暮らした。当初の旧石器時代との学説が縄文時代早期に変更されたが、本州の希少な化石人骨として同一市域から年代の異なる人骨の出土は貴重。成人男子で身長150cm前後か。
しじみづかじん 蜆塚人	4000 年前 縄文時代	男	縄文時代後晩期の貝塚に埋葬されていた人骨。屈葬で貝の腕輪をした老人。身長は150cm台。蜆塚遺跡は東海地方では最大級の貝塚で、国の史跡。遺跡公園に隣接して浜松市博物館がある。
わかやまとべのむらじおいまる 若倭部連老末呂	699 年 飛鳥時代	男	古代の役所があった伊場遺跡から出土した木簡に記載された人名。「渕評竹田里人若倭部連老末呂」、役所に呼び出されたい。この他にも伊場木簡には古代の人名が見られる。
たじひのきみのおびとまとめ 蝮王首真土売	726 年 奈良時代	女	山城国雲下里（現京都市）の住人蝮王首真土売以下、宅主売・宅売・姉売（4姉妹か）が、長田上郡（現浜松市東区付近）にて暮らす。出雲臣の一族が天竜川下流にも拠点を置き、交流していた。
わかやまとべのみまろ 若倭部身麿	755 年 奈良時代	男	天平勝宝七年、防人として筑紫に赴いた龜玉郡の主帳丁。万葉集に「わが妻はいたく恋ひらし飲む水に影さへ見えて世に忘れず」の歌を残す。また、長下郡の人物として、物部秋持、物部古麿がいる。
さかのうえたむらまる 坂上田村麻呂	758～811 平安時代	男	征夷大將軍。陸奥の国の経営だけでなく、平安京でも活躍した官人。京都から蝦夷征伐に向かう途中、当地を經由しているのは確実だが、天竜川の洪水と大蛇に関わる有玉伝説が創作されている。
たいりょう いしやま 大領 石山	9 世紀 平安時代	男	平安時代の伊場遺跡出土木簡に署名がある。古代の遠江国のうち敷智郡（現浜松市中区付近）の長官（大領）のうちで唯一名前が判明している。大領は官職名、直筆のサインとみられる。
たちばなのはやなり 橘逸勢	?～842 平安時代	男	平安時代の三筆のうちひとり、隸書をよくした。承和の変に連座し伊豆に配流される途中、遠江国板筑駅にて病死。死後許されて従四位下を追贈される。三筆（書の達人）とは他に空海と嵯峨天皇。
せいしょうなごん 清少納言	966～? 平安時代	女	清原元輔の娘、『枕草子』の作者。一条天皇の皇后・定子に仕えた。同書のうち橘の部で「浜名の橋」を取り上げるなど、全国の名所に注目していた。全国の名所旧跡の情報が都に寄せられていた。
すがわらのたかすえむすめ 菅原孝標女	1008～? 平安時代	女	菅原道真の家系に生まれる。『更級日記』の作者。寛仁2年(1020)に父の任地だった上総（現千葉県）から京に上るおり、天竜川のほとりに仮宿を建てた旅行の経験などを記す。

表7 ゆかりの人物（その2）

名 前	時 代	性別	解 説
さいぎょう 西行法師	1118～1190 鎌倉時代	男	藤原一門・佐藤家の出身で、北面の武士として出仕、後に出家して全国を旅した歌人。後代の歌人・俳人に大きな影響を残した。天竜川の渡りで、船に乗る順番でもめ事に巻き込まれたとの逸話がある。
みなものりのり 源範頼	?～1193 平安時代末	男	源義朝の六男、頼朝の弟。母は池田宿（浜松市南区と推定）の遊女。蒲御厨で育ち、「蒲冠者」と呼ばれる。平氏討伐に尽力したが、頼朝に疑われ、幽閉されて殺害される。市内にゆかりの地がある。
あふつ 阿仏尼	1222～1283 鎌倉時代	女	養父・平度繁（たいらののりしげ）に従い、一時、引間に暮らす。『うたたね』、『十六夜日記』を著して当時の浜松付近のようすを記す。「今宵は引馬の宿といふ処に留まる、大方の名は浜松とぞ言ひし」。
むねよしんのう 宗良親王	1311～1385 南北朝時代	男	後醍醐天皇の皇子。父の意向を受けて南朝方の支援を得るため、遠江の井伊家をたよるが、高師泰ら北朝方の攻撃で1340年、三岳城が落城し、信濃に敗走した。市内各地にゆかりの地がある。
むもんげんせん 無文元選	1323～1390 南北朝時代	男	後醍醐天皇の皇子、宗良親王の弟。建仁寺で出家し中国に留学の後、井伊家一門奥山氏の支援を得て、1384年、臨濟宗方広寺（北区引佐町奥山）を開く。室町時代の禅僧を多く輩出した。
あんまりょうがん 安間了願	14世紀 南北朝時代	男	安間家の祖、楠木正行の家臣。『太平記』に北朝との戦いが記述されている。東海道と本坂道（姫街道）の結節点に、広大な居館群を設けた。戦国時代には浜松城下の東の戦略上の拠点。地名は江塚。
あしかがよしのり 足利義教	1394～1441 室町時代	男	室町幕府六代将軍。1432年、関東公方・足利持氏を牽制するため富士遊覧を試み、従者とともに当地の歌を詠む。「浜松の音はざざんざ」。引間宿から植松、白鳥、匂坂を経由したとみられる。
ばんりしゅうく 万里集九	1428～? 室町時代	男	禅僧、歌人。1485年、太田道灌の招きで関東に下る途中、引間にも滞在しこの地のようすを『梅花無尽蔵』に記した。「引間、市ハ富ミテ屋ハ千区（市場が盛んで町屋が千軒ある）」ほかの漢詩を詠んだ。
さいおくけんそうちょう 柴屋軒宗長	1448～1532 戦国時代	男	駿河島田宿出身の連歌師。今川家に仕え、引間にも滞在。当時の遠江の情勢を『宗長手記』などの記録にとどめている。引間城主は飯尾善四郎だと記す。斯波氏らとの攻防についても記している。
たけだしんげん 武田信玄	1521～1573 戦国時代	男	甲斐の戦国大名。今川家旧領を狙い徳川家康と対立、三方ヶ原合戦前後には、現浜松市域中北部のほとんど（姫街道以北）を掌握していた。家康を追い込むが、一連の進軍中に病没。
とよとみひでよし 豊臣秀吉	1537～1598 戦国時代	男	少年時代、尾張から出奔し頭陀寺の松下之綱に仕え、引間城にも同行する。帰郷して織田信長に仕え、天下統一後は、浜松の徳川家康を関東に移封し、堀尾吉晴を配すなど東海の諸城を一新した。
まつしたゆきつな 松下之綱	1537～1598 戦国時代	男	今川氏支配下の遠江で頭陀寺城主。少年時代の秀吉を家臣として引間城の飯尾氏に面会する。後年、天下人となった秀吉が之綱を遠江・久野城主に取り立てて大名家に列する。

表8 ゆかりの人物（その3）

名 前	時 代	性別	解 説
とくがわいえやす 徳川家康	1542～1616 戦国時代	男	三河松平氏の嫡子、今川義元の人質として駿河にあり、桶狭間以後岡崎で独立して遠江に侵攻し、1570年から浜松を居城とする。浜松在城17年間にて、一介の戦国大名から天下のNo.2に出世する。
とくがわのぶやす 徳川信康	1559～1579 戦国時代	男	家康の長男、家康が浜松に居城した時から岡崎城主をまかされる。武田方との内通が疑われ、堀江城さらに二俣城に預けられて蟄居、切腹。後、家康は供養のために清瀧寺を建立した。
つきやまごぜん 築山御前	?～1579 戦国時代	女	家康の正妻、信康の母。今川一門の姫だが、井伊家の血筋との説がある。武田方との内通が疑われ、信康助命のために岡崎から浜松城に向かう途中、佐鳴湖畔で殺害される。この谷を御前谷という。
ゆうきひでやす 結城秀康	1574～1607 戦国時代	男	家康の次男、浜名湖畔の中村家で誕生。小牧・長久手戦講和に際し、秀吉の養子(人質)となり、後、結城家を継いで大名に列す。松平家に復し、祭祀は出雲松平家(松江)に継承される。
とくがわひでただ 徳川秀忠	1579～1632 戦国時代	男	浜松城下で誕生した家康三男で、江戸幕府二代将軍。浜松生まれとしては唯一の天下人。早馬町の旧誕生屋敷跡付近に「誕生橋」がある。浜松城内にも「御誕生場」が設けられた。
さいごうのつぼね 西郷局	?～1589 戦国時代	女	西郷(現掛川市)出身。夫の戦死後浜松城に出仕、家康の妻となつて、三男秀忠と四男忠吉を生む。浜松城下の心造寺は、家康が秀忠の健勝を祈願して建立し、開基を西郷局とする。
おまのかた 於万の方	1548～1620 戦国時代	女	池鯉鮒(現愛知県知立市)の神官の娘、長勝院。侍女から家康の妻となつて、次男の秀康を宇布見・中村家で出産。正室・築山殿との確執があったという。結城家の養子となった秀康とともに福井で暮らす。
あちやのつぼね 阿茶局	1555～1637 戦国時代	女	武田家家臣・飯田直政の娘、未亡人。家康に召し出されて浜松城へ出仕した。万斛(現東区中郡町)の鈴木権右衛門家に預けられ、家康が通つた。鈴木家は、江戸時代に独礼庄屋をつとめている。
ほりおよしはる 堀尾吉晴	1543～1611 戦国時代	男	豊臣秀吉家臣、家康の関東移封後、秀吉の命によって家康旧領のうち浜松城主となり、天守を築くなど城と城下町を一新した。秀吉没後の関ヶ原合戦では家康に味方して、出雲・松江城主となる。
きはらよしつぐ 木原吉次	16世紀 戦国時代	男	旧姓鈴木。祖父の代から松平家に仕えた。木原村(現袋井市)に所領。家康の命により、浜松城築城の普請奉行となる。後、家康とともに江戸に赴き、日光東照宮造営など代々が大工として活躍した。
かんぜもとなお 観世元尚	～1577 戦国時代	男	観世流能楽師。戦乱つづく京都を避け、父とともに浜松で家康の庇護を受ける。家康長男の信康元服の際、観世流は浜松城で能を舞い信康の能の指南となる。元尚の子の代で観世流は再興する。
すみのくらりょうい 角倉了以	1554～1614 江戸時代	男	京都の豪商。秀吉から朱印状を得て海外貿易も展開した。河川交通路の開発に力を入れ、家康から天竜川を開削する命を受けてこれを実現し、天竜川中下流域の物流を拡大した。

表9 ゆかりの人物（その4）

名 前	時 代	性別	解 説
どくたんしょうけい 独湛性螢	1628～1706 江戸時代	男	中国僧。江戸時代に師の隠元とともに来日し、黄檗宗を日本に広める。旗本・近藤家の支援を得て、初山宝林寺や大雄寺など現浜松市付近に教線を展開した。黄檗宗本山・萬福寺の四世も務めた。
じょうえんいん 浄円院	1655～1726 江戸時代	女	徳川吉宗の生母、紀伊徳川家の居城・和歌山を出発し姫街道を經由し江戸までの旅程を記録する。姫街道気賀宿（北区細江町）での食事の献立が詳細に記され、近年再現された。
すぎうらくにあきら 杉浦国頭	1678～1740 江戸時代	男	浜松城下・諏訪神社の神官、国学者で歌人。養子として杉浦家を継ぐ。江戸滞在中に荷田春満に学び、その姪・真崎を妻とした。『曳駒拾遺』を著し、江戸時代中頃の浜松周辺の地誌を記す。
わたなべもうあん 渡辺蒙庵	1687～1775 江戸時代	男	医師、儒学者。京都にて医学と儒学を学び、浜松藩主・松平資訓に仕える。致仕後は浜松にて塾を開き教育と著述に専念した。賀茂真淵ら多くの門人を育てた。城下で歌会を開催している。
かものまぶち 賀茂真淵	1697～1769 江戸時代	男	伊場村に生まれる。浜松宿本陣梅谷（うめや）家に養子。荷田春満に師事し国学を志す。万葉集を研究し、多くの弟子を育てる。江戸にて田安宗武に仕え、日本橋浜町に隠居後も国学の講義と歌会をする。
こんどうもちゆき 近藤用随	1715～1781 江戸時代	男	気賀近藤家六代。宝永東海地震(1707)による津波で被害を受けた浜名湖畔の水田について、藺草の栽培を奨励して商品作物とする。細江神社境内にある藺草神社に祀られている。
はかまたよしなが 袴田喜長	1716～1791 江戸時代	男	二俣村（現天竜区）の庄屋。洪水のたびに天竜川から逆流する二俣川を見かね、私財を投じて鳥羽山の開削を行い、二俣川の流路を変更して減災を果たした。二俣では現在でも頌徳祭が行われる。
うちやままたつ 内山真龍	1740～1821 江戸時代	男	大谷村（現天竜区）の庄屋に生まれる。賀茂真淵らに師事して国学を学ぶ。遠江を幅広く取材して『遠江国風土記伝』を著す。江戸時代後半の本地域の地誌として注目され、写本も数多い。
たかばやしみちあきら 高林方朗	1769～1846 江戸時代	男	有玉下村の独礼庄屋、国学者。内山真龍、本居宣長に学ぶ。浜松藩主・水野忠邦が京都所司代に任じられた時、上京して国学を教授した。『二条日記』はその記録。賀茂真淵の顕彰につとめた。
もくじきごぎょう 木喰五行	1718～1810 江戸時代	男	甲斐出身の僧。安永2年(1773)、日本廻国と千体仏の成就を発願し、各地で仏像を刻んだ。市域では現浜北区や北区に逗留し、多くの仏像彫刻を残している。また奥山村で製作した自刻像が現存する。
いのうただたか 伊能忠敬	1745～1818 江戸時代	男	下総（現千葉県）出身、佐倉の伊能家を継ぎ、隠居後に暦学や測量を学ぶ。日本全国の海岸線を測量し、正確な日本地図を作製。浜松では、佐鳴湖や浜名湖の測量も手掛けた。
おおたなんぼ 大田南畝	1749～1823 江戸時代	男	幕臣、蜀山人と号す。1801年、大坂銅座への出向を命じられ、その道中記『改元紀行』（寛政から享和への改元の年に記述）にて、天竜川から浜松、今切れまでの当地の様子をくわしく記す。

表 10 ゆかりの人物（その5）

名 前	時 代	性別	解 説
しばこうかん 司馬江漢	1747～1818 江戸時代	男	江戸の蘭学者、また洋画を学んで西洋風の油彩画も描いた。1788年長崎への道中で掛川宿から秋葉山に参詣し、熊（現天竜区）を経由した経緯を書画とともに『江漢西遊日記』『西遊旅譚』に著した。
じっぺんしゃいっく 十返舎一九	1765～1831 江戸時代	男	駿府出身の戯作者。『東海道中膝栗毛』（続編を含む）を表し、現市内では天竜川の渡しから浜松宿での宿泊、舞坂宿を経て今切れの渡しまでを軽妙に描いている。
きよくていばきん 曲亭馬琴	1767～1848 江戸時代	男	山東京伝に師事し、『南総里見八犬伝』などで有名な江戸時代の読本作家。1802年、掛川から秋葉山に参詣したようすを『羈旅漫録』に記した。「この社近年もつとも繁昌なり」と表現している。
みずのただくに 水野忠邦	1794～1851 江戸時代	男	唐津藩主から転封を希望して浜松城主となり、念願の老中を務めた。新源太夫堀を開削するなど新田開発もしたが、佐鳴湖畔の三ツ山開墾では景観を破壊して地元から悪評。失脚して山形に移封された。
たけむらひろかげ 竹村広蔭	1793～1866 江戸時代	男	入野村周辺の移り変わりを記した『変化抄』を残す。歌人。近江八景（琵琶湖周辺の景観）に倣い、当時の文人とともに佐鳴八景を制定した。佐鳴湖畔で歌会を開催している。佐鳴湖公園に八景の碑がある。
あんどうひろしげ 安藤広重	1797～1858 江戸時代	男	歌川豊広の門人、江戸の浮世絵師、多くの道中ものや名所図を出版した。中でも東海道五十三次の連作が人気。当地では、見附（天竜川）、浜松から舞坂宿まで、何種類かの風景が描かれている。
おのええいざぶろう 尾上栄三郎	1829～1858 江戸時代	男	江戸の歌舞伎役者、各地で興行し、歌舞伎を広めた。浦川に歌舞伎を伝えたところで病没、同地に墓がある。浦川では墓地の祭祀とともに村歌舞伎を継承している。また、南区鶴見町に弟子の墓がある。
もりたやひこのじょう 森田屋彦之丞	19世紀 江戸時代	男	江戸の海苔商人、海苔職人の大森三次郎とともに江戸前の海苔養殖技術を舞坂に伝え一大産地とした。舞坂では「森田屋海苔祖神」として顕彰し、二人の供養塔が東海道沿いの宝珠院にある。
いのうええんりょう 井上延陵	～1897 近現代	男	井上八郎、旧幕臣。明治維新後の静岡藩に赴任し、浜松勤番組頭となる。堀留運河など浜松の殖産興業に尽力した。引間城跡に元城町東照宮を勧請して、徳川家の顕彰にもつとめた。
やまもとかなぎ 山本金木	1826～1906 近現代	男	宇布見村の神主・賀茂家に生まれ、父の実家、山本家の養子となり井伊谷・神宮寺村の渭伊神社の神官。遠州報国隊に参加し東京に従軍した。新設された井伊谷宮にて故郷での神官職を継続した。
つるみしんぺい 鶴見信平	1848～1914 近現代	男	半田村（現東区）の出身、鶴見家の養子となる。実業家として活躍し、浜松商工会議所の初代会頭、また初代浜松市長をつとめた。鉄道院浜松工場の誘致、浜名湖畔の養魚場建設などに尽力した。
やまはとらくす 山葉寅楠	1851～1915 近現代	男	紀州徳川藩士の次男。医療器具の技術者として浜松医学校の福島豊策の招きで浜松に職を得る。福島で紹介で元城小学校のオルガンを修理したことをきっかけに、浜松にて楽器製造会社を設立。
はっとりくらじろう 服部倉治郎	1853～1920 近現代	男	東京深川出身。養魚事業拡大にあたり、愛知県立水産試験場に勤めていた中村正輔の助言と協力を得て、浜名湖畔にてウナギの養殖とスッポンの養殖をはじめた。

表 11 ゆかりの人物（その6）

名 前	時 代	性別	解 説
ひらのまたじゅうろう 平野又十郎	1852～1928 近現代	男	掛塚村（現磐田市）出身。貴布祢村（現浜北区）平野家の養子となり五代目又十郎を継ぐ。同心遠慮講という貯蓄組合を組織し、後に遠州銀行（静岡銀行の前身）を創設する。
こやまみい 小山みい	1821～1892 近現代	女	本郷村（現南区）出身、織物の名手。近在の織り手を集めて組合を結成し、遠州織物の工業化を果たし、また女性の職業参加の先駆となった。蒲神明宮に灯籠一對を寄進している。「みゑ」が本名とも。
まつしまじっこ 松島十湖	1849～1926 近現代	男	吉平。豊西村（現東区）出身の実業家、俳人。大瀬村の棚木夷白らに学ぶ。引佐亀玉郡長などを務める。「浜松は出世城なり初鯉」の句を詠む。地元にある十湖池がピオトープとして再現されている。
きがりん 気賀林	1810～1883 近現代	男	林右衛門。気賀の生まれ。三方原台地を開拓して茶園「百里園」を開設し、また浜松城下と浜名湖を結ぶ堀留運河の開削に参画するなど殖産興業に尽力した。
おおたもちしげ 太田用成	1844～1912 近現代	男	「ようせい」は通称。飯田藩医太田家の養子。アメリカ人医師ヘボンに師事して医学と英語を学ぶ。浜松医学校校長時代に『七科約説』を全翻訳し出版して、近代医療の発展に努めた。
きんばらめいぜん 金原明善	1832～1923 近現代	男	安間村（現東区）の代官。のち和田村村長、静岡県議。天竜川の洪水を体験し、天竜川下流の治水工事、また中流域の植林などの事業をすすめた。三方原開墾、金融などの事業にも着手した。
すずきかくま 鈴木覚馬	1861～1937 近現代	男	草崎（現磐田市内）出身の郷土史家、福田小学校校長。後に浜松中学校（現浜松北高）教諭として浜松在住。約 20 年の年月をかけて『岳南史』を出版。※この場合の岳南は静岡県をいう。
もりおうがい 森鷗外	1862～1922 近現代	男	作家、軍医。1912 年乃木希典の殉死を契機に歴史小説に転じ、『渋江抽斎』を描く。家康浜松在城期を題材とした作品がある。旧浜松市歌を作詞。同市歌の作曲は、本居宣長の曾孫にあたる本居長世。
いとうようぞう 伊東要蔵	1864～1934 近現代	男	慶応義塾大学において福沢諭吉らに師事。近代の実業家、中川村の伊東家に養子。浜松から三方原、金指を経由して奥山へ向かう軽便鉄道・奥山線の開設などに尽力した。
やなぎたくにお 柳田国男	1875～1962 近現代	男	『遠野物語』などの著作がある民俗学者。日本民俗学の祖。『秋風帖』で浜松から二俣、熊を経由した紀行文を掲載する。市内の民俗芸能にも注目し、招かれて講演会も行った。
おりくちしのぶ 折口信夫	1887～1953 近現代	男	民俗学者、歌人。釋迢空と号す。新野から水窪へ足を踏み入れ、山住や京丸にも滞在した。各地に歌碑が残る。昭和 5 年、西浦田楽を訪ね、その年のうちの東京公演（御開帳）を実現した。
なかむらよしへい 中村與資平	1880～1963 近現代	男	天王村（現東区）出身の建築家。手がけた建物のうちでは、市内にある浜松銀行協会、遠州銀行本店（現静岡銀行）のほか、静岡市庁舎、静岡県庁本館、豊橋市公会堂などが現存する。
すずきみちお 鈴木道雄	1887～1982 近現代	男	芳川村（現南区）出身。技術者、実業家。大工職から織機製作に転じ、鈴木式織機製作所を設立した。さらにオートバイ、軽自動車の生産に乗り出し、鈴木自動車工業の社長となった。

表 12 ゆかりの人物（その7）

名 前	時 代	性別	解 説
たかのつぎ 鷹野つぎ	1890～1943 近現代	女	浜松町下垂(現中区)出身の小説家、島崎藤村の「処女地」同人。晩年の著作のうちに東京にて幼少期の浜松を回想した『四季と子供』があり、近代はじめころの浜松を郷愁とともに記述する。
たかばやしひょうえ 高林兵衛	1892～1950 近現代	男	近代の高林家当主、遠州病院の開設などにつとめた。柳宗悦と出会った6年間に民芸運動に傾倒、日本民藝美術館を自宅内に開館。和時計のコレクションが国立科学博物館に寄贈されている。
かわむらかねと 川村カ子ト	1893～1977 近現代	男	北海道出身のアイヌ、測量技師。三信鉄道(現飯田線)の建設工事で中央構造線沿いの山峡の難所を担当、全線開通にこぎつける。カ子トの功績を紹介するための演劇が創作されている。
たばたまさじ 田畑政治	1898～1984 近現代	男	浜松町成子の造り酒屋出身、実家では浜松で初めてサイダーを発売。浜名湾遊泳協会の設立に尽力、古橋広之進らを育て、1940年に断念した東京オリンピックを1964年に再度誘致することに成功した。
たかやなぎけんじろう 高柳健次郎	1899～1990 近現代	男	安間新田村(現東区)出身の工学博士。浜松高等工業学校(現静岡大学工学部)の助教授となり、当時まだ空想でしかなかったテレビジョンの研究に没頭した。1935年にブラウン管方式を成功させた。
しらいてつぞう 白井鐵造	1900～1983 近現代	男	宝塚歌劇の演出家、「すみれの花」で始まる同歌劇団テーマ曲の作者。白井の出身地という縁で、天竜区春野町は歌劇団との交流とスマイレの栽培をつづけている。
なかみちさくじ 中道朔爾	1901～1957 近現代	男	薬師新田(東区)出身で後、積志小学校教員、「土のいろ」会員、郷土史研究者。村の生活に注目し『積志村民俗誌』を著す。また、遠江の童謡や浜松張り子を紹介している。
ほんだそういちろう 本田宗一郎	1906～1991 近現代	男	光明村(現天竜区)の出身。オートバイを独学で開発し、本田技研工業を一代で築いた。同氏を記念するものづくり伝承館は、国の登録有形文化財・旧二俣町役場をリノベーションした施設。
あきのふく 秋野不矩	1908～2001 近現代	女	二俣村(現天竜区)出身の日本画家、市内の風景や民俗芸能なども画題とした。生前、生家に近い丘の上に開館した秋野不矩美術館は藤森照信の設計。
のじませいじ 野島青茲	1915～1972 近現代	男	細江町気賀出身の日本画家、松岡映丘(柳田国男の実弟、日本画家)に師事。蘭草栽培のようすなど郷土の題材も描いた。実家は、複数の建物が国の登録有形文化財となっている吉野屋。
きのしたけいすけ 木下恵介	1912～1999 近現代	男	浜松町出身の映画監督。代表作のうちに、『涙』など昭和期の浜松の風景を写したものがある。戦時中は春野町に疎開していた。国登録の有形文化財・旧浜松銀行協会は現在木下恵介記念館として公開中。
あらいつねやす 新井恒易	1912～1999 近現代	男	埼玉県出身の民俗研究者、とくに田遊びに注目した。『中世芸能の研究』では、三河各地とともに、黒沢・神沢・懐山・寺野・川名など、遠江のひよんどりとおくないを取材し、紹介した。

3 主な文化財

(1) 有形文化財建造物

表 13 指定等建造物

No.	指定等	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	国指定	方広寺七尊菩薩堂	方広寺	北区引佐町奥山	1954年 9月 17日
2	国指定	中村家住宅 附 家相図	浜松市	西区雄踏町宇布見	1973年 6月 2日
3	国指定	宝林寺 仏殿・方丈	宝林寺	北区細江町中川	1981年 6月 5日
4	国指定	浜名惣社伸明宮本殿	浜名惣社神明宮	北区三ヶ日町三ヶ日	1993年 4月 20日
5	国指定	鈴木家住宅 主屋・釜屋	個人	北区引佐町の場	2007年 6月 18日
6	県指定	旧王子製紙製品倉庫	浜松市	天竜区春野町気田	1977年 3月 18日
7	県指定	撰社天羽槌雄神社	浜名惣社神明宮	北区三ヶ日町三ヶ日	1979年 11月 19日
8	県指定	宝林寺山門	宝林寺	北区細江町中川	1990年 3月 20日
9	県指定	龍潭寺伽藍 附 棟札 山号額	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	1995年 3月 20日
10	市指定	大雄寺山門	大雄寺	中区天神町	1961年 4月 12日
11	市指定	気賀関所本番所	個人	北区細江町気賀	1966年 1月 27日
12	市指定	甘露寺中門	甘露寺	東区中郡町	1966年 3月 14日
13	市指定	秋葉神社神門	秋葉神社	天竜区春野町領家	1966年 12月 26日
14	市指定	東林寺山門 附 棟札	東林寺	北区細江町気賀	1968年 11月 25日
15	市指定	中村家住宅長屋門	浜松市	西区雄踏町宇布見	1980年 3月 17日
16	市指定	上島新田組秋葉山常夜燈鞘堂	新田組	浜北区上島	1982年 5月 22日
17	市指定	宝篋印塔	個人	天竜区水窪町地頭方	1983年 2月 15日
18	市指定	山住神社神門	山住神社	天竜区水窪町山住	1988年 3月 9日
19	市指定	白柳家住宅	個人	北区細江町気賀	1988年 3月 10日
20	市指定	宝林寺報恩堂	宝林寺	北区細江町中川	1988年 11月 1日
21	市指定	瑞雲院山門	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1990年 1月 24日
22	市指定	瑞雲院鐘楼	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1990年 1月 24日
23	市指定	内山家住宅長屋門	浜松市	天竜区大谷	1991年 2月 28日
24	市指定	旧舞坂脇本陣	浜松市	西区舞阪町舞阪	1997年 4月 18日
25	市指定	御室家住宅長屋門	個人	天竜区佐久間町佐久間	1997年 7月 8日
26	市指定	小松秋葉大鳥居	秋葉神社	浜北区小松	2005年 3月 24日
27	市指定	小松秋葉山常夜燈	秋葉神社	浜北区小松	2005年 3月 24日
28	市指定	静岡銀行浜松営業部本館(旧遠州銀行本店)	静岡銀行	中区田町	2005年 12月 20日
29	市指定	旧浜松銀行協会	浜松市	中区栄町	2009年 3月 2日
30	市指定	実相寺伽藍本堂・観音堂・庚申堂	実相寺	北区引佐町金指	2017年 2月 23日
34	国登録	天竜浜名湖鉄道機関車扇形車庫 ほか26件	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵ほか	1998年 12月 11日 2011年 1月 26日
36	国登録	凱旋記念門	六所神社	北区引佐町渋川	2002年 2月 12日
37	国登録	旧二俣町役場	浜松市	天竜区二俣町二俣	2003年 1月 31日
38	国登録	竹山家住宅主屋	個人	東区天王町	2005年 11月 10日
62	国登録	旧住吉浄水場ポンプ室 ほか5件	浜松市	中区住吉五丁目	2012年 2月 23日
67	国登録	旧常光水源地ポンプ室	浜松市	東区常光町	2012年 2月 23日
71	国登録	吉野屋主屋 ほか3件	個人	北区細江町気賀	2015年 3月 26日
72	国登録	ヤマタケの蔵北の蔵 ほか2件	浜松市	天竜区二俣町二俣	2015年 8月 4日
76	国登録	旧田代家住宅主屋 ほか1件	浜松市	天竜区二俣町鹿島	2015年 11月 17日
77	国登録	旧気多村立勝坂小学校校舎	勝坂自治会	天竜区春野町豊岡	2016年 2月 25日
78	国登録	前嶋家住宅主屋	個人	北区引佐町川名	2016年 8月 1日
81	国登録	明治屋醬油店舗兼主屋 ほか2件	個人	浜北区小松	2017年 5月 2日
86	国登録	高林家住宅主屋・隠居 ほか4件	個人	東区有玉南町	2018年 3月 27日
87	国登録	方広寺本堂 ほか21件	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
109	国登録	大福寺庫裏	大福寺	北区三ヶ日町福長	2019年 12月 5日



图 13 指定有形文化財建造物

ほうこうじしちそんぼさつどう
方広寺七尊菩薩堂（北区引佐町奥山：国指定重要文化財建造物）



臨済宗方広寺派の本山として弘和4年(1384)年に開創した方広寺は、半僧坊の信仰でも栄え、山中に大伽藍を誇ったが、明治14年(1881)の火災でほぼ全山が灰燼に帰した。唯一焼失を免れたのが七尊菩薩堂である。応永8年(1401)に建立したもので、静岡県下では、現存最古の木造建造物である。覆屋の中に間口90cm、屋根は流造柿葺の建物がある。創建年に近く、鎌倉末期の建築様式を伝えている。

なお、大正期に再建された方広寺本堂ほか22棟は、近代の寺院建築の好例として国の登録文化財となっている。

なかむらけけじゅうたく
中村家住宅（西区雄踏町宇布見：国指定重要文化財建造物）



中村家は戦国時代に、今川家、徳川家に仕え、浜名湖の舟運(兵糧運搬)をまかされた。浜名湖南東岸の入江に面し、浜名湖内水面だけでなく、新川や佐鳴湖を通じて浜松城下(引間城下)を結ぶ重要な拠点にあたる。文明15年(1483)には居住の記録があるが、現在の建物には元禄元年(1688)の棟瓦がある。桁行21.3m、梁間11.2m、面積238.7㎡、寄棟造茅葺の建物で棟を棧瓦で抑えている。床上げの部屋は計10室、東側は広い土間となっている。

屋敷内には家康次男・結城秀康の胞衣塚がある。

ほうりんじ ぶつでん ほうじょう
宝林寺 仏殿・方丈（北区細江町中川：国指定重要文化財建造物）



江戸時代に明王朝時代の中国から隠元らによって禅宗の一派・黄檗宗がもたらされた。旗本・近藤家が隠元とともに来日した独湛を招いて開創した。開祖を隠元とする。

仏殿は、寛文8年(1668)建立。桁行17.9m、梁間16.4m、入母屋造柿葺の建物である。昭和60年から6年かけて解体修理を行い、創建当初の姿に復元した。方丈は、享保元年(1716)の再建。内部は間仕切りがない。桁行19.2m、梁間12.5m、寄棟造茅葺の建物である。黄檗宗の伝来初期の建築であり、同宗特有の中国式の様式が随所に見られる。

はまなそうじゃしんめいぐうほんでん
浜名惣社神明宮本殿（北区三ヶ日町三ヶ日：国指定重要文化財建造物）



江戸時代に明王朝時代の中国から隠元らによって禅宗の一派・黄檗宗がもたらされた。旗本・近藤家が隠元とともに来日した独湛を招いて開創した。開祖を隠元とする。

仏殿は、寛文8年(1668)建立。桁行17.9m、梁間16.4m、入母屋造柿葺の建物である。昭和60年から6年かけて解体修理を行い、創建当初の姿に復元した。方丈は、享保元年(1716)の再建。内部は間仕切りがない。桁行19.2m、梁間12.5m、寄棟造茅葺の建物である。黄檗宗の伝来初期の建築であり、同宗特有の中国式の様式が随所に見られる。

すずきけじゅうたく

鈴木家住宅 主屋・釜屋（北区引佐町の場：国指定重要文化財建造物）



鈴木家住宅は、浜松・金指方面から伊平を経て、三河の長篠・鳳来寺方面へ向かう山間の旧街道沿いにある。主屋は桁行8.2m、梁間7.4m、寄棟造茅葺の建物である。主屋に近接して棟方向の異なる釜屋を建てて連結し、内部を一体的空間とした釜屋造りと呼ばれる分棟型の民家である。釜屋は文政4年(1821)の建造とある。主屋も同じころに建てられたと推定される。新城市の望月家住宅(国重文)とともに、静岡県西部から愛知県東部にかけて分布していた江戸時代後期の釜屋造り形式の数少ない現存建造物である。

きゅうおうじせいしせいひんそうこ

旧王子製紙製品倉庫（天竜区春野町気田：県指定有形文化財建造物）



明治22年(1889)、後の王子製紙が日本で最初の木材パルプ工場として建設した。気田川流域は森林資源が豊富で、水運が利用できた。最盛期には300名以上の従業員がいた広大な工場だったが、森林資源の枯渇により大正12年(1923年)に廃止され、この建物1棟だけが現春野中学校敷地に残る。創業当時の建物で、幅18.2m、奥行9.1m、外壁に赤レンガを使用し屋根は寄棟造で日本瓦という和洋折衷である。上げ下げ式のガラス窓が等間隔に配置されている。校門脇には「木材パルプ発祥之地」という記念碑がある。

りょうたんじがらん

龍潭寺伽藍（北区引佐町井伊谷：県指定有形文化財建造物）



井伊谷西端の丘陵にあり、かつては北に隣接する井伊谷宮境内も寺域とした。この地出身の井伊家歴代の菩提寺。現在は臨済宗妙心寺派。本堂は延宝4年(1676)の再建で、桁行9間、梁間6間と規模が大きい。屋根は平成20～24年(2008～2012)の修理で瓦葺きから金属板葺きに改め、創建当時の柿葺きのイメージに近づけている。本堂の北側に国の名勝に指定されている庭園がある。伽藍を構成する庫裏(1815)、山門、開山堂、井伊家霊屋、稲荷堂は、江戸時代に完成しており、江戸時代の禅宗寺院の形態を伝える。

きゅうはままつぎんこうきょうかい

旧浜松銀行協会（中区栄町：市指定有形文化財建造物）



昭和5年(1930年)、中区栄町に、浜松銀行集会所として建設された。設計は浜松市出身の建築家「中村與資平」。鉄筋コンクリート造2階建て、一部地下1階の建物。施工は大林組、内装は松坂屋家具部、家具は日本楽器(現ヤマハ)が担当し、浜松の銀行を象徴する建物に造り上げられた。間口20.0m、奥行19.1mほどで、玄関ポーチがつく。地下室は館内給湯用のボイラー室である。現在は、「二十四の瞳」などの作品で知られる浜松市出身の映画監督「木下恵介」の記念館およびギャラリーとして活用されている。

(2) 有形文化財美術工芸品

① 絵画

表 14 指定等絵画（所有者が、社寺又は浜松市のみを掲載）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	国指定	有形	絵画	絹本着色普賢十羅刹女像	大福寺	北区三ヶ日町福長	1900年 4月 7日
2	県指定	有形	絵画	紙本金地着色遊楽図六曲屏風	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	1977年 3月 18日
3	県指定	有形	絵画	紙本着色独湛禪師画像	宝林寺	北区細江町中川	1977年 12月 20日
4	県指定	有形	絵画	紙本着色近藤貞用夫妻画像	宝林寺	北区細江町中川	1977年 12月 20日
5	県指定	有形	絵画	絹本着色無文元選像	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 12月 20日
6	県指定	有形	絵画	蟲魚帖稿	浜松市	中区松城町	2013年 3月 15日
7	市指定	有形	絵画	紙本着色聖徳太子像(寛政三年七月画の記がある, 内山真龍筆)	玖延寺	天竜区二俣町阿蔵	1961年 12月 1日
8	市指定	有形	絵画	紙本淡彩神馬図(丙午(弘化三年)の記がある, 大久保一丘筆)	井伊谷宮	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 9日
9	市指定	有形	絵画	紙本墨画布袋図(白隠慧鶴筆)	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
10	市指定	有形	絵画	板地着色牡丹菊花図(藤玄谷筆)	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1977年 12月 22日
11	市指定	有形	絵画	紙本着色法源禪師像	宝林寺	北区細江町中川	1980年 1月 1日
12	市指定	有形	絵画	板地着色二十四孝図(元禄六年七月奉納の記がある)	庚申寺	浜北区宮口	1982年 5月 22日
13	市指定	有形	絵画	絹本着色寿老人花鳥図(狩野常信筆)	善住寺	天竜区水窪町地頭方	1982年 9月 17日
14	市指定	有形	絵画	絹本着色両界曼荼羅図	大福寺	北区三ヶ日町福長	1984年 11月 19日
15	市指定	有形	絵画	絹本着色地藏菩薩像(壺仲の賛がある)	華藏寺	北区三ヶ日町日比沢	1987年 9月 22日
16	市指定	有形	絵画	慈眼寺庚申堂天井板絵	金剛寺	北区三ヶ日町駒場	1992年 6月 18日
17	市指定	有形	絵画	絹本着色釈迦十六善神像	洞泉寺	天竜区大谷	1994年 3月 29日
18	市指定	有形	絵画	紙本着色春鶯囀図(野島青菴筆)	浜松市	北区細江町賀賀	2004年 3月 15日
19	市認定	有形	絵画	随縁寺涅槃図	随縁寺	西区村楠町	2017年 3月 22日
20	市認定	有形	絵画	随縁寺十六善神図	随縁寺	西区村楠町	2017年 3月 22日
21	市認定	有形	絵画	実相寺涅槃図	実相寺	北区引佐町	2017年 3月 22日
22	市認定	有形	絵画	正泉寺涅槃図	正泉寺	北区引佐町	2017年 3月 22日
23	市認定	有形	絵画	本龍寺涅槃図	本龍寺	北区引佐町別所	2017年 3月 22日
24	市認定	有形	絵画	長光寺涅槃図	長光寺	天竜区二俣町二俣	2017年 3月 22日
25	市認定	有形	絵画	玖延寺涅槃図	玖延寺	天竜区二俣町阿蔵	2017年 3月 22日
26	市認定	有形	絵画	栄林寺涅槃図	栄林寺	天竜区二俣町二俣	2017年 3月 22日
27	市認定	有形	絵画	長養寺涅槃図	長養寺	天竜区船明	2017年 3月 22日
28	市認定	有形	絵画	宝珠寺観音堂天井絵	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
29	市認定	有形	絵画	宝珠寺涅槃図	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
30	市認定	有形	絵画	宝珠寺出山釈迦図	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
31	市認定	有形	絵画	宝珠寺の頂相群	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
32	市認定	有形	絵画	宝珠寺達磨図	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
33	市認定	有形	絵画	宝珠寺十六善神図	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
34	市認定	有形	絵画	金刀比羅神社格天井絵	金刀比羅神社	浜北区尾野	2019年 3月 15日
35	市認定	有形	絵画	清瀧寺涅槃図	清瀧寺	天竜区二俣町二俣	2019年 3月 15日
36	市認定	有形	絵画/書跡	雄踏町ゆかりの書画	浜松市	西区雄踏町宇布見	2020年 3月 27日

② 彫刻

表 15 指定等彫刻（所有者が、社寺又は浜松市のみを掲載）（その1）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
1	国指定	有形	彫刻	木造千手観音立像	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	1915年 3月 26日
2	国指定	有形	彫刻	木造不動明王立像	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	1923年 3月 28日
3	国指定	有形	彫刻	木造地藏菩薩立像 附 像内納入品	岩水寺	浜北区根堅	2011年 6月 27日
4	国指定	有形	彫刻	木造釈迦如来及両脇侍坐像	方広寺	北区引佐町奥山	2014年 8月 21日
5	県指定	有形	彫刻	古面	息神社	西区雄踏町宇布見	1968年 3月 19日
6	県指定	有形	彫刻	獅子頭	息神社	西区雄踏町宇布見	1968年 3月 19日
7	県指定	有形	彫刻	木造大日如来坐像	光禪寺	東区大瀧町	1974年 4月 18日
8	県指定	有形	彫刻	木造釈迦如来坐像	華藏寺	北区三ヶ日町日比沢	1974年 4月 18日
9	県指定	有形	彫刻	木造薬師如来坐像	大福寺	北区三ヶ日町福長	1974年 4月 18日
10	県指定	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	1974年 4月 18日
11	県指定	有形	彫刻	木造金剛力士立像	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	1974年 4月 18日
12	県指定	有形	彫刻	能面父尉	宇志八幡宮	北区三ヶ日町宇志	1977年 3月 18日

表 16 指定等彫刻（所有者が、社寺又は浜松市のみを掲載）（その 2）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
13	県指定	有形	彫刻	能面鉢巻悪尉	宇志八幡宮	北区三ヶ日町宇志	1977年 12月 20日
14	県指定	有形	彫刻	王の舞面	津毛利神社	南区参野町	1981年 3月 16日
15	県指定	有形	彫刻	木造金剛力士立像	大福寺	北区三ヶ日町福長	2008年 3月 21日
16	県指定	有形	彫刻	木造釈迦如来坐像及び両脇侍像(釈迦如来坐像の背面に寛文七年四月十六日、洛陽大仏師法橋康祐の銘あり) 木造達磨大師坐像・伝武帝倚像 木造二十四善神立像	宝林寺	北区細江町中川	2011年 12月 2日
17	市指定	有形	彫刻	木造毘沙門天立像	毘沙門寺	南区石原町	1960年 8月 25日
18	市指定	有形	彫刻	木造吉祥天女立像	方広寺	北区引佐町奥山	1962年 1月 5日
19	市指定	有形	彫刻	木造准胝観音立像	方広寺	北区引佐町奥山	1962年 1月 5日
20	市指定	有形	彫刻	木造子安観音立像	方広寺	北区引佐町奥山	1962年 1月 5日
21	市指定	有形	彫刻	木造木喰五行坐像	浜松市	中区蛸塚四丁目	1964年 11月 11日
22	市指定	有形	彫刻	木造馬頭観音立像	西大山教会	西区大山町	1965年 3月 12日
23	市指定	有形	彫刻	木造不動明王立像	西大山教会	西区大山町	1965年 3月 12日
24	市指定	有形	彫刻	木造毘沙門天立像	西大山教会	西区大山町	1965年 3月 12日
25	市指定	有形	彫刻	木造大日如来坐像、木造天部立像	大円寺	北区細江町気賀	1966年 1月 27日
26	市指定	有形	彫刻	木造十王坐像(木喰五行作)	寿龍院	北区引佐町井伊谷	1966年 2月 21日
27	市指定	有形	彫刻	木造葬頭河婆半跏像(木喰五行作)	寿龍院	北区引佐町井伊谷	1966年 2月 21日
28	市指定	有形	彫刻	木造阿弥陀如来立像 附 像内納入品	法蔵寺	南区白羽町	1966年 11月 15日
29	市指定	有形	彫刻	木造馬頭観音坐像	長楽寺	北区細江町気賀	1968年 11月 25日
30	市指定	有形	彫刻	木造大日如来坐像	華蔵寺	北区三ヶ日町日比沢	1969年 2月 14日
31	市指定	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	華蔵寺	北区三ヶ日町日比沢	1969年 2月 14日
32	市指定	有形	彫刻	能面	大福寺	北区三ヶ日町福長	1969年 2月 14日
33	市指定	有形	彫刻	木造薬師如来坐像	龍谷寺	南区飯田町	1970年 7月 20日
34	市指定	有形	彫刻	木造十王坐像(木喰五行作)	徳泉寺	浜北区堀谷	1970年 12月 23日
35	市指定	有形	彫刻	木造葬頭河婆半跏像(木喰五行作)	徳泉寺	浜北区堀谷	1970年 12月 23日
36	市指定	有形	彫刻	厨子入金銅十一面観音立像(兜前立)	井伊谷宮	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 9日
37	市指定	有形	彫刻	厨子入金銅苦行釈迦像	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
38	市指定	有形	彫刻	木造聖観音立像	両光寺	中区富塚町	1977年 4月 14日
39	市指定	有形	彫刻	木造大日如来坐像	6区大日堂	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 19日
40	市指定	有形	彫刻	木造大日如来坐像	林慶寺	北区滝沢町	1979年 7月 17日
41	市指定	有形	彫刻	木造地藏菩薩立像、木造千体地藏菩薩立像	長徳寺	北区細江町広岡	1981年 1月 1日
42	市指定	有形	彫刻	木造十一面観音立像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
43	市指定	有形	彫刻	木造伝勝軍地藏立像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
44	市指定	有形	彫刻	木造四天王立像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
45	市指定	有形	彫刻	木造聖観音坐像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
46	市指定	有形	彫刻	木造男神坐像、木造男神立像	小国神社	天竜区春野町杉	1983年 3月 8日
47	市指定	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	玖延寺	天竜区二俣町阿蔵	1984年 1月 23日
48	市指定	有形	彫刻	木造薬師如来坐像	長月寺	天竜区長沢	1984年 11月 13日
49	市指定	有形	彫刻	木造男神立像	細江神社	北区細江町気賀	1998年 4月 14日
50	市指定	有形	彫刻	木造男神立像	細江神社	北区細江町気賀	1998年 4月 14日
51	市指定	有形	彫刻	木造牛頭天王立像	細江神社	北区細江町気賀	1998年 4月 14日
52	市指定	有形	彫刻	木造牛頭天王立像	細江神社	北区細江町気賀	1998年 4月 14日
53	市指定	有形	彫刻	木造薬師如来立像	玖延寺	天竜区二俣町阿蔵	1998年 9月 25日
54	市指定	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	龍雲寺	西区入野町	2009年 3月 2日
55	市認定	有形	彫刻	随縁寺大日如来像	随縁寺	西区村楸町	2017年 3月 22日
56	市認定	有形	彫刻	頭陀寺弘法大師像	頭陀寺	南区頭陀寺町	2017年 3月 22日
57	市認定	有形	彫刻	頭陀寺地藏菩薩像	頭陀寺	南区頭陀寺町	2017年 3月 22日
58	市認定	有形	彫刻	長興寺聖観世音菩薩像	長興寺	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
59	市認定	有形	彫刻	宝珠寺子安地藏菩薩像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
60	市認定	有形	彫刻	宝珠寺延命地藏菩薩像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
61	市認定	有形	彫刻	宝珠寺聖徳太子孝養像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
62	市認定	有形	彫刻	宝珠寺岩戸観世音菩薩像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
63	市認定	有形	彫刻	上新屋岩戸観音堂の諸仏	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
64	市認定	有形	彫刻	宝珠寺聖徳太子撰政像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
65	市認定	有形	彫刻	宝珠寺達磨大師像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
66	市認定	有形	彫刻	大通院釈迦如来像	大通院	南区新橋町	2018年 3月 22日
67	市認定	有形	彫刻	岩水寺阿弥陀如来像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
68	市認定	有形	彫刻	岩水寺大日如来像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
69	市認定	有形	彫刻	岩水寺聖徳太子像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
70	市認定	有形	彫刻	岩水寺青銅阿弥陀如来像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
71	市認定	有形	彫刻	岩水寺不動明王像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
72	市認定	有形	彫刻	岩水寺毘沙門天像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
73	市認定	有形	彫刻	岩水寺愛染明王像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
74	市認定	有形	彫刻	岩水寺薬師如来像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
75	市認定	有形	彫刻	岩水寺十一面観音像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日

表 17 指定等彫刻（所有者が、社寺又は浜松市のみを掲載）（その3）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	認定年月日
76	市認定	有形	彫刻	岩水寺千手観音像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
77	市認定	有形	彫刻	岩水寺妙見菩薩像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
78	市認定	有形	彫刻	岩水寺地安坊大権現像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
79	市認定	有形	彫刻	岩水寺十二神将像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
80	市認定	有形	彫刻	旧熊切小学校木造校舎玄関彫刻	浜松市	天竜区春野町宮川	2018年 3月 22日
81	市認定	有形	彫刻	西隠寺椿葉師像	西隠寺	浜北区寺島	2019年 3月 15日
82	市認定	有形	彫刻	宝珠寺半僧坊大権現像	宝珠寺	東区上新屋町	2020年 3月 27日

③ 工芸品

表 18 指定等工芸品（所有者が、社寺又は浜松市のみを掲載）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	国指定	有形	工芸品	太刀 銘安繩(備前)	秋葉神社	天竜区春野町領家	1922年 4月 13日
2	国指定	有形	工芸品	太刀 銘弘次	秋葉神社	天竜区春野町領家	1923年 3月 28日
3	国指定	有形	工芸品	太刀 銘来国光	秋葉神社	天竜区春野町領家	1923年 3月 28日
4	国指定	有形	工芸品	太刀 銘国綱	井伊谷宮	東京都台東区	1925年 4月 24日
5	国指定	有形	工芸品	金銅装笈	大福寺	北区三ヶ日町福長	1950年 8月 29日
6	国指定	有形	工芸品	刺繍不動明王二童子像掛幅	浜松市	中区松城町	1960年 6月 9日
7	県指定	有形	工芸品	梵鐘	長楽寺	北区細江町気賀	1957年 12月 25日
8	市指定	有形	工芸品	横笛(伝青葉の笛)	寺野六所神社	北区引佐町渋川	1962年 1月 5日
9	市指定	有形	工芸品	鰐口(文永五年十二月の銘がある)	浜松市	中区蛸塚四丁目	1964年 11月 11日
10	市指定	有形	工芸品	金銅装厨子	西大山教会	西区大山町	1965年 3月 12日
11	市指定	有形	工芸品	鰐口(大永八年八月の銘がある)	6区大日堂	北区引佐町井伊谷	1972年 11月 28日
12	市指定	有形	工芸品	鰐口(延文二年九月の銘がある)	富幕観音堂	北区引佐町奥山	1972年 11月 28日
13	市指定	有形	工芸品	鰐口(文安四年壬二月の銘がある)	川名薬師堂	北区引佐町川名	1972年 11月 28日
14	市指定	有形	工芸品	鰐口(永正十五年六月の銘がある)	阿寺六所神社	天竜区大谷	1976年 5月 20日
15	市指定	有形	工芸品	鉄製響 銘藤原宗春作	井伊谷宮	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 9日
16	市指定	有形	工芸品	禾目天目茶碗	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 9日
17	市指定	有形	工芸品	太刀 無銘伝舞草 伝宗良親王佩刀	井伊谷宮	東京都台東区	1977年 4月 9日
18	市指定	有形	工芸品	脇差 銘近藤用和作	蘭草神社	北区細江町気賀	1981年 1月 1日
19	市指定	有形	工芸品	鰐口(応永十四年六月、応仁三年六月の追銘がある)	浜松市	中区蛸塚四丁目	1982年 9月 17日
20	市指定	有形	工芸品	鍍絵楊貴妃額(平出宇蔵作)	永福寺	天竜区水窪町奥領家	1982年 9月 17日
21	市指定	有形	工芸品	籬双雀鏡	只木神明宮	北区三ヶ日町只木	1984年 11月 19日
22	市指定	有形	工芸品	只木神明宮鏡像及び懸仏	只木神明宮	北区三ヶ日町只木	1984年 11月 19日
23	市指定	有形	工芸品	鰐口(文明三年極月の銘がある)	八剣池神社他	天竜区水窪町地頭方	1988年 3月 9日
24	市指定	有形	工芸品	横山八幡神社懸仏	横山八幡神社	天竜区大谷	1995年 3月 29日
25	市指定	有形	工芸品	金銅装神輿	岐佐神社	西区舞阪町舞阪	2001年 8月 30日
26	市指定	有形	工芸品	瑞花双鳥八稜鏡	浜松市	中区蛸塚四丁目	2001年 12月 19日
27	市指定	有形	工芸品	鰐口(応安二年二月の銘、寛正三年小春、明治拾五年、昭和七年葉月の追銘がある)	峯熊阿弥陀堂	天竜区大谷	2003年 7月 1日
28	市指定	有形	工芸品	鰐口(長禄二年十二月の銘がある)	西神沢六所神社	天竜区大谷	2003年 7月 1日
29	市指定	有形	工芸品	鰐口(延徳二年十一月の銘がある)	小川若宮八幡神社	天竜区大谷	2003年 7月 1日
30	市指定	有形	工芸品	鰐口(永禄十一年二月の銘がある)	大谷宇佐八幡神社	天竜区大谷	2003年 7月 1日
31	市指定	有形	工芸品	鰐口(至徳二年十月の銘がある)	浜松市	中区蛸塚四丁目	2005年 5月 25日
32	市認定	有形	工芸品	随縁寺大日堂扁額	随縁寺	西区村楯町	2017年 3月 22日
33	市認定	有形	工芸品	頭陀寺半鐘	頭陀寺	南区頭陀寺町	2017年 3月 22日
34	市認定	有形	工芸品	大通院舍利容器	大通院	南区新橋町	2018年 3月 22日
35	市認定	有形	工芸品	大通院舍利塔	大通院	南区新橋町	2020年 3月 27日

④ 書 跡

表 19 指定等書跡（所有者が、社寺又は浜松市のみを掲載）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	県指定	有形	書跡	紙本墨書大般若経	大智寺	天竜区春野町宮川	1975年 3月 25日
2	市指定	有形	書跡	白隠慧鶴墨跡(百寿字)	方広寺	北区引佐町奥山	1962年 1月 5日
3	市指定	有形	書跡	観音山額(法源禅師筆)	清水寺	北区引佐町井伊谷	1962年 11月 10日
4	市指定	有形	書跡	紙本墨書日課念仏(伝徳川家康筆)	浜松市	中区蛸塚四丁目	1964年 8月 18日
5	市指定	有形	書跡	紙本墨書古今集仮名序拔書(賀茂真淵筆)	浜松市	中区松城町	1971年 11月 12日
6	市指定	有形	書跡	紙本墨書和歌(賀茂真淵筆)	浜松市	中区松城町	1971年 11月 12日
7	市指定	有形	書跡	紙本墨書植田七三郎宛書簡(賀茂真淵筆)	浜松市	中区松城町	1971年 11月 12日
8	市指定	有形	書跡	賀茂真淵書簡集(巻末に梅谷真滋の書簡がある)	浜松市	中区松城町	1971年 11月 12日
9	市指定	有形	書跡	紙本墨書植田喜右衛門同七三郎宛書簡(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1971年 11月 12日
10	市指定	有形	書跡	紙本墨書新古今集断簡(伝宗良親王筆)	井伊谷宮	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 9日
11	市指定	有形	書跡	無文元選墨跡(七言絶句)	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
12	市指定	有形	書跡	紙本墨書詩句(山岡鉄舟筆)	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
13	市指定	有形	書跡	紙本墨書捨遺集断簡(伝後醍醐天皇筆)	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
14	市指定	有形	書跡	紙本墨書歎哉二字(近藤用和筆)	浜松市	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
15	市指定	有形	書跡	紙本墨書和歌懐紙(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1991年 7月 10日
16	市指定	有形	書跡	紙本墨書和歌詠草(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1991年 7月 10日
17	市指定	有形	書跡	紙本墨書歌文(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1991年 7月 10日
18	市指定	有形	書跡	紙本墨書岡部定重宛書簡(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1991年 7月 10日
19	市指定	有形	書跡	紙本墨書梅谷真滋宛書簡(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1991年 7月 10日
20	市指定	有形	書跡	五部大乘経	洞泉寺	天竜区大谷	1996年 11月 28日
21	市認定	有形	書跡	宝珠寺通応和尚墨跡一円相	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
22	市認定	有形	書跡	宝珠寺山岡鉄舟の書跡群	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日

⑤ 典 籍

表 20 指定等典籍（所有者が、社寺又は浜松市のみを掲載）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	国指定	有形	典籍	宋版錦繡萬花谷	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	1978年 6月 15日
2	県指定	有形	典籍	正平版論語	県居神社	中区東伊場一丁目	1967年 10月 11日
3	市指定	有形	典籍	出雲日記(内山真龍筆 本居宣長序)	浜松市	中区松城町	1970年 7月 20日
4	市指定	有形	典籍	宋版法華経(巻七)	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
5	市指定	有形	典籍	紙本墨書大般若経	龍翔寺	北区引佐町の場	1990年 3月 1日
6	市認定	有形	典籍	馬郡観音堂旧藏大般若経	如意寺	西区馬郡町	2017年 3月 22日
7	市認定	有形	典籍	宝珠寺法華経	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
8	市認定	有形	典籍	宝珠寺大般若経	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日

⑥ 古文書

表 21 指定等古文書（所有者が、社寺又は浜松市のみを掲載）（その1）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
1	国指定	有形	古文書	紙本墨書瑠璃山年録残篇	大福寺	北区三ヶ日町福長	1905年 4月 4日
2	市指定	有形	古文書	宗源院文書	宗源院	中区蛸塚一丁目	1971年 11月 12日
3	市指定	有形	古文書	息神社棟札	息神社	西区雄踏町宇布見	1980年 3月 17日
4	市指定	有形	古文書	清庵宗徹贈如然禅師諡号勅書	安寧寺	西区雄踏町山崎	1980年 3月 17日
5	市指定	有形	古文書	蜂前神社文書	蜂前神社	北区細江町気賀	1981年 1月 1日
6	市指定	有形	古文書	寿量院文書	寿量院	中区蛸塚四丁目	1981年 8月 26日
7	市指定	有形	古文書	舞坂宿問屋場御用留	浜松市	中区蛸塚四丁目	1984年 3月 27日
8	市指定	有形	古文書	中村家文書	浜松市	天竜区大谷	1984年 11月 13日
9	市指定	有形	古文書	紙本墨書金子請取覚書(天正十六年の記がある 徳川家康筆)	浜松市	中区蛸塚四丁目	1986年 7月 8日
10	市指定	有形	古文書	妙恩寺文書	妙恩寺	東区天龍川町	1986年 7月 8日
11	市指定	有形	古文書	舞坂宿祭礼入用帳	浜松市	西区舞阪町舞阪	2001年 8月 30日
12	市指定	有形	古文書	田代家文書	浜松市	天竜区大谷	2001年 11月 27日

表 22 指定等古文書（所有者が、社寺又は浜松市のみを掲載）（その 2）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
13	市指定	有形	古文書	木船新田村和泉屋取引帳	浜松市	中区蛸塚四丁目	2005年 3月 24日
14	市指定	有形	古文書	三省録、続三省録	浜松市	中区蛸塚四丁目	2005年 3月 24日
15	市指定	有形	古文書	今川義元寺領安堵状	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	2005年 4月 19日
16	市認定	有形	古文書	岩水寺袖ヶ浦干水記	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
17	市認定	有形	古文書	北嶋八幡宮文書	八柱神社	東区薬師町	2020年 3月 27日
18	市認定	有形	古文書	薬師町八柱神社鳥居老門棟札	八柱神社	東区薬師町	2020年 3月 27日

⑦ 考古資料

表 23 指定考古資料（所有者が、社寺又は浜松市のみを掲載）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
1	県指定	有形	考古資料	引佐町上野馬場平古墳出土品を含む考古資料一括	浜松市	中区蛸塚四丁目	1967年 10月 11日
2	県指定	有形	考古資料	銅鐸(猪久保出土)	浜松市	北区三ヶ日町三ヶ日	1967年 10月 11日
3	県指定	有形	考古資料	赤門上古墳出土遺物	浜松市	浜北区貴布祢	1990年 3月 20日
4	県指定	有形	考古資料	銅鐸(滝峯才四郎谷出土)	浜松市	北区細江町気賀	1993年 3月 26日
5	県指定	有形	考古資料	銅鐸(前原遺跡出土)	浜松市	北区細江町気賀	2000年 11月 17日
6	県指定	有形	考古資料	伊場遺跡群出土古代地方官衙関係資料	浜松市	中区蛸塚四丁目	2002年 3月 22日
7	県指定	有形	考古資料	鳥居松遺跡出土金銀装円頭大刀	浜松市	中区蛸塚四丁目	2020年 3月 27日
8	市指定	有形	考古資料	摩訶耶寺出土品(灰釉袈裟襷紋広口壺 灰釉蓮弁紋広口壺)	浜松市	北区細江町気賀	1984年 11月 19日
9	市指定	有形	考古資料	灰釉広口壺(三ヶ日町只木出土)	浜松市	北区細江町気賀	1984年 11月 19日
10	市指定	有形	考古資料	弁天島遺跡出土品(井戸杓)	浜松市	西区舞阪町舞阪	1985年 12月 2日
11	市指定	有形	考古資料	白石山遺跡出土品(壺形土器 鉢形土器)	浜松市	西区舞阪町舞阪	1985年 12月 2日
12	市指定	有形	考古資料	袈裟襷文銅鐸(中川滝峯穴の谷出土)	浜松市	北区細江町気賀	1993年 3月 26日
13	市指定	有形	考古資料	中の甲遺跡出土品(埋納銭 陶器残片)	浜松市	中区蛸塚四丁目	2005年 4月 19日
14	市指定	有形	考古資料	家型土器(鳥居松遺跡出土)	浜松市	中区蛸塚四丁目	2005年 10月 19日
15	市指定	有形	考古資料	袈裟襷文銅鐸(中川滝峯七曲り出土)	浜松市	北区細江町気賀	2020年 3月 24日
16	市指定	有形	考古資料	袈裟襷文銅鐸(中川不動平出土)	浜松市	北区細江町気賀	2020年 3月 24日

⑧ 歴史資料

表 24 指定等歴史資料（所有者が、社寺又は浜松市のみを掲載）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	市指定	有形	歴史資料	七科約説	浜松市	中区松城町	1970年 7月 20日
2	市指定	有形	歴史資料	遠州報国隊関係資料(大刀他)	浜松市	北区細江町気賀	1981年 1月 1日
3	市指定	有形	歴史資料	片山家関係資料	浜松市	天竜区春野町宮川	1983年 3月 8日
4	市認定	有形	歴史資料	頭陀寺薬師道の道標	頭陀寺	南区頭陀寺町	2017年 3月 22日
5	市認定	有形	歴史資料	気多森林鉄道関係資料	浜松市	天竜区春野町宮川	2017年 3月 22日
6	市認定	有形	歴史資料	蒲二葉会日曜学校旗	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
7	市認定	有形	歴史資料	天龍橋料金入箱	浜松市	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
8	市認定	有形	歴史資料	小沢義助像台座	浜松市	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
9	市認定	有形	歴史資料	下阿多古の消防手曳ガソリンポンプ	浜松市	天竜区二俣町	2018年 3月 22日
10	市認定	有形	歴史資料	五社・諏訪神社の手水鉢	五社神社・諏訪神社	中区利町	2019年 3月 15日
11	市認定	有形	歴史資料	五社神社の光海霊神碑	五社神社・諏訪神社	中区利町	2019年 3月 15日
12	市認定	有形	歴史資料	旧元城尋常小学校校長像台座	浜松市	中区元城町	2019年 3月 15日
13	市認定	有形	歴史資料	金原明善翁顕彰碑	八柱神社	東区薬師町	2019年 3月 15日
14	市認定	有形	歴史資料	堤町馬頭観音堂の手水鉢	好徳寺	南区堤町	2019年 3月 15日
15	市認定	有形	歴史資料	曳馬坂拡張記念碑	浜松市	中区高町	2020年 3月 27日
16	市認定	有形	歴史資料	蒲神明宮の大灯籠	蒲神明宮	東区神立町	2020年 3月 27日
17	市認定	有形	歴史資料	小山みい・頌徳灯籠	蒲神明宮	東区神立町	2020年 3月 27日
18	市認定	有形	歴史資料	蒲大神の碑	蒲神明宮	東区植松町	2020年 3月 27日
19	市認定	有形	歴史資料	九勇士の碑	報恩寺	浜北区宮口	2020年 3月 27日

けんぼんちやくしよくふげんじゅうらせつじょぞう

絹本着色普賢十羅刹女像（北区三ヶ日町福長：国指定重要文化財 絵画）



普賢十羅刹女像は平安時代後期に創出された図様と推測される。本作は南北朝時代の作。象に乗る普賢菩薩を中心に随侍の葉王・勇施の二菩薩、十羅刹女、持国・毘沙門の二天が描かれる。法華經の勧発品に普賢菩薩は法華經持経者を守ることが、陀羅尼品に十羅刹女は信仰者を守ることが説かれる。羅刹は平安時代の官女の姿に表されている。

<大福寺所蔵>

写真：『ふるさと静岡県文化財写真集』5より転載

ちゅうぎょじょうこう

蟲魚帖稿（中区松城町：県指定有形文化財 絵画）



近世絵画史を代表する画家、渡辺崋山最晩年の代表作「蟲魚帖」の唯一の稿本（下図）。紙本墨画一部淡彩で寸法は各帖共縦32cm×横14cm。13葉と目録1葉、計14葉よりなる。実際の写生により草木、虫、茄子、亀などが優れた筆致で描かれている。制作年代は、正本「蟲魚帖」記載の年紀や書簡の考証から天保12年（1841年）8月とされる。崋山は三河田原藩士。南画の谷文晁に師事し、西洋画と伝統画法を融合した風景・肖像画を得意とした。

<浜松市美術館所蔵>

もくぞうしゃかによらいおよびりょうきょうじざぞう

木造釈迦如来及両脇侍坐像（北区引佐町奥山：国指定重要文化財 彫刻）



臨済宗方広寺派大本山 方広寺の本尊。頭上に宝冠を戴き禅定印を結ぶいわゆる宝冠釈迦像を中尊とする三尊像。左脇侍は文殊菩薩、右脇侍は普賢菩薩。中尊の像底にある刻銘から造像は南北朝時代の観応3年（1352年）で制作は院吉、院廣、院遵ら後に院派と称される仏師の手による。左脇侍像底には院廣、右脇侍像底には院遵の刻印がある。14世紀院派仏師の造仏の基準作といえることができる。

<方広寺所蔵>

もくぞうじざうぼさつりゅうぞう

木造地藏菩薩立像（浜北区根堅：国指定重要文化財 彫刻）



真言宗 岩水寺の本尊で秘仏。檜材、寄木造、玉眼。等身大（像高165.3cm）の裸形に実物の衣をまとわせる裸形着装像。像内納入品より、建保5年（1217年）に京都の六波羅蜜寺において運覚により造られたことが判明していることから彫刻史上において非常に重要な資料となっている。納入品は、経巻、願文、造像記、漆塗箱、五輪塔、横笛など18種34点におよび、附指定されている。

<岩水寺所蔵>

もくぞうせんじゆかんのりゆうぞう

木造千手観音立像（北区三ヶ日町摩訶耶：国指定重要文化財 彫刻）



真言宗 摩訶耶寺に伝わる。桧材の一木造で内割りは無く、彩色が施されている。浜名湖を望む富幕山に前身となる新達寺が開創された。古代末の浜名湖北の仏教文化のありようを示す仏像。制作年を示す墨書等はないが、平安時代作と思われる。

<摩訶耶寺所蔵>

おうぶめん

王の舞面（南区参野町：県指定有形文化財 彫刻）



津毛利神社に伝わる。神事に際して浄めと悪魔払いの役割をつとめる王舞の面。王の鼻、鼻高ともいう。力強い彫りであることから鎌倉時代の作と推定される。縦 27.2 cm、横 19.5 cm、厚 14.2 cm、木製、布張、錆下地朱漆塗り（裏面黒漆塗）。

<津毛利神社所蔵>

写真：『ふるさと静岡県文化財写真集』3より転載

ししゅうふどうみょうおうにどうじぞうかけふく

刺繍不動明王二童子像掛幅（中区松城町：国指定重要文化財 工芸品）



鎌倉時代のもので、不動明王の繡仏としては全国に2点しか現存しないうちの1点。平絹地に太めの糸を用いた刺繍により図像を施している。波間の岩場に立つ不動明王と、矜羯羅（こんがら）、制吒迦（せいたか）の二童子を脇侍とする三尊形式。二童子は、平安時代中期の絵仏師玄朝の描いた図像として流布した姿を忠実に表している。伝来は不明だが、収納箱身底の修理銘から高野山寶性院伝来の品である可能性がある。

<浜松市美術館所蔵>

むらさきちじだんはなびしえんもんちらしくさばなもようぬいほくこそで

紫地段花菱田文散草花模様縫箔小袖（中区元浜町：国指定重要文化財 工芸品）



辻が花風絞染めや草花文の刺繍、摺箔などの技法を駆使した安土桃山時代の小袖。慶長小袖に先行する様式を示す。京の西、桂の里（現西京区桂一帯）に住み、石清水八幡宮などの巫女として宮廷などに出仕したとされる桂姫（桂女、かつらめ）着用の伝承がある。鬘巻一条が附指定となっている。

<平野美術館所蔵>

たち 銘安縄<備前> (天竜区春野町領家：国指定重要文化財 工芸品)



形状は庵棟（いおりむね）、鑄造り（しのぎづくり）、腰反りで、目釘孔 1 個を有する。地金は澄み、刃文は高低の変化に富み、丁子乱れを主に豊かな景色をみせる。作風は平安時代末期から鎌倉時代初期の様式。茎尻（なかごじり）に「安縄」と銘がある。安縄は古備前派の刀工で現存作は極めて少ないため貴重例となっている。長さ 70.7 cm（2 尺 3 寸 3 分）、反り 2.2 cm（7 分）。

<秋葉神社所蔵>

こんどうそうおい
金銅装笈 (北区三ヶ日町福長：国指定重要文化財 工芸品)



室町時代に製作された高さ 77 cm、幅 62.4 cm、奥行 43.3 cm の笈である。笈は、修行僧などが仏具や衣服などを入れて背負う足がついた箱である。桐材を鍍金の銅板で覆い、丸鋳でとめており、如来の来迎、蓮池、昇り龍、下り龍などが打ち出されている。寺伝では、源頼光の武将、卜部季武が大江山酒呑童子征伐の際に携えたもので、季武がその後眼病にかかり大福寺本尊の薬師如来に祈願して治癒したことから大福寺に寄進したとされる。

<大福寺所蔵>

写真：『ふるさと静岡県文化財写真集』3 より転載

しほんぼくしよるりきんねんろくざんべん
紙本墨書瑠璃山年録残篇 (北区三ヶ日町福長：国指定重要文化財 古文書)



室町時代頃、延慶 3 年（1310 年）から永享 7 年（1435 年）までの瑠璃山大福寺の記録である。地震の記載や千早城の陥落、金剛山城攻めなどの戦いの記載、井伊、大平、鴨江、千頭峯、三嶽など城の記載がある。また、足利尊氏・義詮父子や北畠顕家の名も記載されている。南朝方と北朝方の攻防を記した南北朝期の貴重な記録である。

<大福寺所蔵>

写真：『ふるさと静岡県文化財写真集』5 より転載

うちやままたつじひつこうほんとおとうみのくにふ どきでん およびひつにつき
内山真龍自筆稿本遠江国風土記伝及び自筆日記 (天竜区大谷：県指定有形文化財 古文書)



風土記伝 1 巻から 7 巻及び 9 巻の 8 冊、及び、日記 19 冊から成る。内山真龍（1740-1821 年）は江戸後期の国学者で遠江国学の基礎を築いた人物。風土記伝は、遠江国内の各郡郷村の歴史、地理、産業、伝説等を採訪記録したもの。遠江地方を研究する上での基本資料となっている。日記には、遠江国風土記伝執筆の進捗状況と併せて、近世東海道の宿場文化の伝播や定着の諸相などが記載されている。

<個人蔵・内山真龍資料館保管>

そうばん きんしゅうばんかこく
宋版 錦繡萬花谷（北区引佐町井伊谷：国指定重要文化財 典籍）



錦繡萬花谷は、南宋淳熙 15 年（1188 年）頃に中国で編纂された全 150 巻の類書。南宋時代寧宗（在位 1194 年-1224 年）頃に刊行され、日本へは鎌倉時代に輸入された。錦繡萬花谷の宋版の中でも南宋中期に遡る現存最古本であることに加え、金沢文庫伝来本であることなどが貴重である。龍潭寺には、序文と目録上の 1 冊、卷第三十三/三十四の 1 冊、卷第三十九/四十の 1 冊の計 3 冊が伝わる。序文の最初の頁に北条実時の金沢文庫の蔵書であったことを示す印がある。

< 龍潭寺所蔵 >

しょうへいばんろんご
正平版論語（中区東伊場一丁目：県指定有形文化財 典籍）



室町時代の正平 19 年／貞治 3 年（1364 年）に泉州堺で刊行された論語の単跋本（初刻本を覆刻したもの）。儒学者の日本における最初の出版で、日本の古刻史上代表的なものとなっている。10 巻 5 冊、寸法は縦 27.5 cm、横 22 cm。本書は、岡部譲が賀茂真淵の学徳を偲び、昭和 4 年（1929 年）に県居神社内の県居文庫に寄贈した 12,000 冊の中に含まれていたもの。

< 県居神社所蔵 >

写真：『ふるさと静岡県文化財写真集』5 より転載

どうたく まえはら
銅鐸 < 前原遺跡出土 >（北区細江町気賀：県指定有形文化財 考古資料）



北区都田町の都田川沿いの台地端から出土した弥生時代後期の銅鐸である。銅鐸は発掘調査で発見され、鐸を上に向けて埋納されており、埋納状態を確認できた数少ない事例となっている。高さ 68.5 cm で、弥生時代後期に三河から遠江にかけて分布が認められる三遠式銅鐸形式。都田川流域においては、北区細江町を中心に銅鐸が集中して出土しており、本市域は全国的にみて銅鐸の分布の東限にあたる地域でもある。

< 浜松市博物館所蔵・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館保管 >

いばいせきぐんしゅつどこだいちほうかんがかんけいしりょう
伊場遺跡群出土古代地方官衙関係資料（中区蜷塚四丁目：県指定有形文化財 考古資料）



伊場遺跡群は中区南伊場町から南区若林町の平野上に広がる奈良・平安時代の官衙遺跡である。伊場大溝と呼ばれる古代の流路跡を中心に多数の木簡や墨書土器が出土した。168 点の木簡と、約 905 点の墨書土器が文化財指定されており、その内容から古代の遠江国敷智郡の郡家が存在したと考えられる。伊場遺跡群から出土した多数の古代文字資料は、古代の地方官衙の実態を知るうえで重要な資料群である。

< 浜松市博物館所蔵 >

(3) 有形民俗文化財

表 25 指定等有形民俗文化財

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	県指定	民俗	有形	藤布織機一式及び製品一括	浜松市	天竜区水窪町地頭方	1968年 3月 19日
2	県指定	民俗	有形	染め型紙一括	個人	天竜区水窪町奥領家	1968年 3月 19日
3	県指定	民俗	有形	旧山瀬家のコヤ	浜松市	北区細江町気賀	1984年 11月 30日
4	県指定	民俗	有形	舞阪の海苔生産用具	浜松市	西区舞阪町舞阪	1999年 3月 15日
5	県指定	民俗	有形	佐久間の林業と山村生活の用具	浜松市	天竜区佐久間町佐久間	2012年 11月 30日
6	市指定	民俗	有形	初生衣神社織殿 附 神庫 古式織具	初生衣神社	北区三ヶ日町岡本	1969年 2月 14日
7	市指定	民俗	有形	小国神社の瓶子	小国神社	天竜区春野町宮川	1973年 2月 27日
8	市指定	民俗	有形	日入沢の道祖神	下平山日入沢小保	天竜区龍山町下平山	1975年 10月 1日
9	市指定	民俗	有形	秋葉街道貴布祢の道標	浜松市	浜北区貴布祢	1982年 5月 22日
10	市指定	民俗	有形	田楽面	個人	天竜区水窪町奥領家	1982年 9月 17日
11	市指定	民俗	有形	木地屋の墓	浜松市	天竜区水窪町奥領家	1986年 2月 14日
12	市指定	民俗	有形	上村の庚申像	上村自治会	天竜区水窪町地頭方	1986年 2月 14日
13	市指定	民俗	有形	田楽面及び祭具	横山八幡神社	天竜区大谷	1995年 3月 29日
14	市指定	民俗	有形	東林寺の庚申塔	東林寺	北区細江町気賀	1998年 4月 14日
15	市指定	民俗	有形	服部正伸並びに友清能楽関係資料	岡本自治会	北区三ヶ日町三ヶ日	2005年 4月 19日
16	市認定	民俗	有形	天王町東地藏菩薩堂	天王町東自治会	東区天王町	2017年 3月 22日
17	市認定	民俗	有形	天王町東秋葉山常夜燈鞘堂	天王町東自治会	東区天王町	2017年 3月 22日
18	市認定	民俗	有形	天王町東引舞台家形	天王町東自治会	東区天王町	2017年 3月 22日
19	市認定	民俗	有形	白鳥の富士石	六所神社	東区白鳥町	2017年 3月 22日
20	市認定	民俗	有形	頭陀寺役行者像	頭陀寺	南区頭陀寺町	2017年 3月 22日
21	市認定	民俗	有形	滝清水役行者像	伊平自治会	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
22	市認定	民俗	有形	宮口の三階屋台	研友会	浜北区宮口	2017年 3月 22日
23	市認定	民俗	有形	石神市場の竜燈様	個人	天竜区石神	2017年 3月 22日
24	市認定	民俗	有形	二俣町二俣の秋葉山道標	個人	天竜区二俣町二俣	2017年 3月 22日
25	市認定	民俗	有形	玖延寺弘法大師像	玖延寺	天竜区二俣町阿蔵	2017年 3月 22日
26	市認定	民俗	有形	長養寺馬頭観音像	長養寺	天竜区船明	2017年 3月 22日
27	市認定	民俗	有形	長養寺道祖神	長養寺	天竜区船明	2017年 3月 22日
28	市認定	民俗	有形	早出薬師講信仰資料	早出薬師講	中区早出町	2018年 3月 22日
29	市認定	民俗	有形	蓮華寺松尾芭蕉句碑	蓮華寺	中区紺屋町	2018年 3月 22日
30	市認定	民俗	有形	心造寺賀茂真淵句碑	心造寺	中区紺屋町	2018年 3月 22日
31	市認定	民俗	有形	宝珠寺関連文化財 9件	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
40	市認定	民俗	有形	雄踏町の館車 6件	領家自治会 他	西区雄踏町	2018年 3月 22日
41	市認定	民俗	有形	大通院禁葦酒標石	大通院	南区新橋町	2018年 3月 22日
42	市認定	民俗	有形	堤町馬頭観音像	好徳寺	南区堤町	2018年 3月 22日
43	市認定	民俗	有形	倉松町のいぼ地藏信仰資料	個人	南区倉松町	2018年 3月 22日
44	市認定	民俗	有形	二俣新町南嶺連屋台	二俣町新町自治会	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
45	市認定	民俗	有形	笠井町春日神社の神輿	春日神社	東区笠井町	2019年 3月 15日
46	市認定	民俗	有形	息神社の金の中額	息神社	西区雄踏町	2019年 3月 15日
49	市認定	民俗	有形	山崎の秋葉山常夜灯鞘堂	山崎自治会	西区雄踏町山崎	2019年 3月 15日
50	市認定	民俗	有形	寺島の道祖神	寺島自治会	浜北区寺島	2019年 3月 15日
51	市認定	民俗	有形	寺島山王の秋葉山常夜灯	寺島自治会	浜北区寺島	2019年 3月 15日
52	市認定	民俗	有形	根堅祭りの神輿	岩水寺	浜北区根堅	2019年 3月 15日
53	市認定	民俗	有形	神沢の庚申塔	神沢西自治会	天竜区神沢	2019年 3月 15日
54	市認定	民俗	有形	大日山守護神堂	神沢東自治会	天竜区神沢	2019年 3月 15日
55	市認定	民俗	有形	田河内の秋葉山常夜灯鞘堂	田河内自治会	天竜区春野町田河内	2019年 3月 15日
56	市認定	民俗	有形	龍勢社屋台幕	犬居自治会	天竜区春野町堀之内	2019年 3月 15日
57	市認定	民俗	有形	山王岩峰の仏像	個人	天竜区水窪町奥領家	2019年 3月 15日
58	市認定	民俗	有形	住吉の親子地藏像	個人	中区住吉二丁目	2020年 3月 27日
59	市認定	民俗	有形	天王町中の屋台	天王町中自治会	東区天王町	2020年 3月 27日
63	市認定	民俗	有形	兎荷鷺ノ巢山の行者様	兎荷区	北区引佐町兎荷	2020年 3月 27日
64	市認定	民俗	有形	袖ヶ浦三十三観音霊場の観音像	(各地)	浜北区／東区	2020年 3月 27日
65	市認定	民俗	有形	新原の阿弥陀三尊塚	善願地区	浜北区新原	2020年 3月 27日
66	市認定	民俗	有形	中瀬四塔の秋葉山常夜灯鞘堂の欄間	中瀬稲荷神社	浜北区中瀬	2020年 3月 27日
67	市認定	民俗	有形	宮口洗沢の秋葉山常夜灯鞘堂	個人	浜北区宮口	2020年 3月 27日
68	市認定	民俗	有形	宮口土取の賓頭盧尊者像	個人	浜北区宮口	2020年 3月 27日
69	市認定	民俗	有形	宮口三十三観音霊場の観音像	(各地)	浜北区宮口	2020年 3月 27日
70	市認定	民俗	有形	二俣古城連の屋台	中町自治会	天竜区二俣町二俣	2020年 3月 27日
71	市認定	民俗	有形	六十六部供養塔及び教傳様神号石	向市場自治会	天竜区水窪町地頭方	2020年 3月 27日



図 20 指定有形民俗文化財

さくま りんぎょう さんぞんせいかつ ようぐ
佐久間の林業と山村生活の用具（天竜区佐久間町佐久間：県指定有形民俗文化財）



天竜川中流域の険しい渓谷にある佐久間周辺では林業がさかんで、川を利用した筏流しの道具も含めて独特な仕様が発展し、また信仰が受け継がれてきた。旧佐久間町の郷土遺産保存館が収集した 414 点が県の有形民俗文化財に指定されている。本市では水窪町や龍山町、また春野町でも山村生活の道具が保存されている。

天竜川下流域には、船明・二俣・鹿島・中ノ町・半場（現材木町）・掛塚（磐田市）など、中流域と結んだ製材・流通の拠点となった場所が名残を残している。

こぎのばたごいっしきおよ せいひんいっかつ
藤布織機一式及び製品一括（天竜区水窪町地頭方：県指定有形民俗文化財）



水窪町竜戸で使用されていた織機は、「ハンハタゴ」といい、山峡の狭い住宅での作業がしやすいように一般的な織機（ホンハタゴ）の半分程度の大きさに製作されている。木綿栽培には不向きだった山村で生業となった藤布製品とともに、山のくらしを示す資料である。

また、水窪町小畑で染物業を営み「コウヤ」という屋号で呼ばれた守屋家では、江戸時代に伊勢白子から調達した染型紙約 500 枚を保存しており、こちらも静岡県有形民俗文化財に指定されている。

きゅうやませけのこ
旧山瀬家のコヤ（北区細江町気賀：県指定有形民俗文化財）



旧石岡村（北区細江町三和）で使用されていた産屋。江戸時代の終わりに建てられ、明治の初めまで使用されていたという。間口 3.6m、奥行き 3m の小規模なもので、土間造り、屋根は茅葺きである。かつて、女性の出産は「血の穢れ」を伴うと考えられており、産婦は家族の暮らす母屋から離れ、邸内の別の場所にコヤ（子屋）を建てて、家族とは籠も別にして生活した。仮の住まいであるコヤが現存する例は稀で、昭和 60 年（1985 年）に、姫街道と銅鐸の資料館敷地に移設して、保存している。

まいさかのりせいさんようぐ
舞阪の海苔生産用具（西区舞阪町舞阪：県指定有形民俗文化財）



文政 3 年（1820 年）、森田屋彦之丞と大森三次郎が舞坂宿に江戸前の海苔養殖技術を伝えた。当時の海苔養殖は江戸湾と広島に限られ、舞坂海苔は新興の一大産地となっていた。昭和 40 年代以降は、海苔生産も機械化が進んだが、それ以前の手作業の道具、275 点が舞坂町によって収集され、静岡県の指定文化財となっている。内訳は、養殖用具 38 点、採取用具 26 点、加工用具 153 点、海苔船 2 点、海苔簀製作用具 29 点、衣類 1 点、その他 26 点となっている。海苔の天日干しはシラスと並んで舞坂宿の風物詩だった。

うぶぎぬじんじやおりの つけたり しんこ こしきおりぐ
初生衣神社織殿 附 神庫 古式織具 (北区三ヶ日町岡本：市指定有形民俗文化財)



浜名湖北岸は、伊勢神宮領であり、御厨や神戸が経営された。とくに三ヶ日町内は浜名惣社神明宮をはじめ、神明宮が各所に鎮座している。初生衣神社では、久寿2年(1154年)から明治18年(1885年)まで毎年、織殿内で専用の織具と奥三河赤引の絹糸を使い、神御衣を織って伊勢内宮に奉納していたという。織殿は当初毎年建設する習わしであった。現存するものは享和元年(1801年)の建設である。桁行1間4尺、梁行1間2尺である。

でんがくめんおよ さいぐ
田楽面及び祭具 (天竜区大谷：市指定有形民俗文化財)



天竜区横山八幡神社には翁・猿などの田楽面11面と鈴が2点残されている。社伝によると明治7年(1874年)ころまで正月元旦から10日まで田遊びが演じられていたといい、その後正月7日限りとなって廃絶したという。近在では懐山おくない(国の重要無形民俗文化財)が継承され、神沢にもおくないがある。水窪の西浦田楽(国の重要無形民俗文化財)にも豊富な面が使用されるが、近在の小畑観音堂にも面が残されている。

<内山真龍資料館所蔵>

みやぐち さんかいやたい
宮口の三階屋台 (浜北区宮口：市認定有形民俗文化財)



文政4年(1821年)ころ、名古屋の花車神明祭に参加する二福神車(山車)として建造され、同祭でからくり人形を演じた。新たな山車の建造によって、掛塚(磐田市)に転売され、さらに二俣祭りに転売、その後明治23年(1890年)ころ宮口に引き取られて、地元の「研精社」が宮口六所神社の祭礼で曳き回した。名古屋市内にも製造年代の古い山車は現存していない。なお、当代の二福神車は名古屋指定文化財。市内の祭礼では豊富な屋台、館車等が曳き回されており、遠方からの来歴を記すものも多い。

しろとり ふじいし
白鳥の富士石 (東区白鳥町：市認定有形民俗文化財)



昔、一人の行者が白鳥の六所神社で一夜を過ごし、はいていた草履の上に小石を載せて奉納していった。この石が日ごとに大きくなり、数年後には富士山の形になったという。富士の浅間様を宿した石として噂が広まり、旅また足の神様として信仰されたと伝わる。市の文化財認定を契機に、地元での再認識が進んだ事例である。

市内には、舞阪町の岐佐神社に、大国主命にかかわる赤石が伝えられているなど、各所に信仰の対象となった石や石像などが大切にされている。

(4) 無形民俗文化財

表 26 指定等無形民俗文化財

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	国指定	民俗	無形	西浦の田楽	西浦田楽保存会	天竜区水窪町奥領家	1976年 5月 4日
2	国指定	民俗	無形	遠江のひよんどりとおくない	(各保存会)	北区引佐町ほか	1994年 12月 13日
3	県指定	民俗	無形	呉松の大念仏	同保存会	西区呉松町	1957年 12月 15日
4	県指定	民俗	無形	滝沢の放歌踊り	同保存会	北区滝沢町	1957年 12月 15日
5	県指定	民俗	無形	横尾歌舞伎	同保存会	北区引佐町横尾, 白岩	1974年 4月 19日
6	県指定	民俗	無形	川合花の舞	同保存会	天竜区佐久間町川合	1976年 1月 1日
7	県指定	民俗	無形	西浦の念仏踊り	同保存会	天竜区水窪町奥領家	1997年 11月 27日
8	市指定	民俗	無形	勝坂神楽	同保存会	天竜区春野町豊岡	1966年 12月 26日
9	市指定	民俗	無形	犬居つなん曳	犬居自治会(龍勢社)	天竜区春野町堀之内	1966年 12月 26日
10	市指定	民俗	無形	遠州大念仏	同保存会	中区鹿谷町	1972年 3月 1日
11	市指定	民俗	無形	妙功庵観音堂の百万遍念仏と念仏講	同保存会	北区細江町中川	1998年 7月 8日
12	市認定	民俗	無形	有玉神社の流鏝馬神事	—	東区有玉南町	2017年 3月 22日
13	市認定	民俗	無形	松之浦神社の注連縄	—	東区松小池町	2017年 3月 22日
14	市認定	民俗	無形	中野町の煙火	—	東区中野町	2017年 3月 22日
15	市認定	民俗	無形	賀久留神社の神幸祭	—	西区神ヶ谷町	2017年 3月 22日
16	市認定	民俗	無形	息神社の田遊祭	—	西区雄踏町	2017年 3月 22日
17	市認定	民俗	無形	舞阪の太太鼓祭り	—	西区舞阪町	2017年 3月 22日
18	市認定	民俗	無形	雄踏歌舞伎万人講	—	西区雄踏町	2017年 3月 22日
19	市認定	民俗	無形	金指市神様の祭祀	—	北区引佐町金指	2017年 3月 22日
20	市認定	民俗	無形	東久留女木の万歳楽	—	北区引佐町	2017年 3月 22日
21	市認定	民俗	無形	細江神社の祇園まつり	—	北区細江町気賀	2017年 3月 22日
22	市認定	民俗	無形	浦川歌舞伎	—	天竜区佐久間町浦川	2017年 3月 22日
23	市認定	民俗	無形	佐久間童神の舞	—	天竜区佐久間町中部	2017年 3月 22日
24	市認定	民俗	無形	八幡神楽	—	天竜区水窪町奥領家	2017年 3月 22日
25	市認定	民俗	無形	浜松秋葉神社の管粥祭	—	中区三組町	2018年 3月 22日
26	市認定	民俗	無形	雄踏町山崎の百万遍念仏	—	西区雄踏町	2018年 3月 22日
27	市認定	民俗	無形	金折津島神社祇園祭(ヨイト)	—	南区金折町	2018年 3月 22日
28	市認定	民俗	無形	水窪まつり	—	天竜区水窪町奥領家	2018年 3月 22日
29	市認定	民俗	無形	芋掘神楽	—	天竜区佐久間町奥領家	2018年 3月 22日
30	市認定	民俗	無形	松島神楽	—	天竜区佐久間町相月	2018年 3月 22日
31	市認定	民俗	無形	鹿島の花火	—	天竜区二俣町	2018年 3月 22日
32	市認定	民俗	無形	二俣まつり	—	天竜区二俣町	2018年 3月 22日
33	市認定	民俗	無形	水窪の削り花	—	天竜区水窪町奥領家	2018年 3月 22日
34	市認定	民俗	無形	笠井町春日神社の神輿渡御	—	東区笠井町	2019年 3月 15日
35	市認定	民俗	無形	馬門の神楽	—	北区引佐町奥山	2019年 3月 15日
36	市認定	民俗	無形	奥山の手筒花火	—	北区引佐町奥山	2019年 3月 15日
37	市認定	民俗	無形	「小組」の屋台行事とお囃子	—	北区引佐町小斎藤	2019年 3月 15日
38	市認定	民俗	無形	金刀比羅神社巫女神楽	—	浜北区尾野	2019年 3月 15日
39	市認定	民俗	無形	水窪の祇園祭り	—	天竜区水窪町	2019年 3月 15日
40	市認定	民俗	無形	蒲神明宮の御田打ち	—	東区神立町	2020年 3月 27日
41	市認定	民俗	無形	蒲神明宮の庭上座礼	—	東区神立町	2020年 3月 27日
42	市認定	民俗	無形	蒲神明宮の神楽	—	東区神立町	2020年 3月 27日
43	市認定	民俗	無形	初生衣神社おんぞ祭り	—	北区三ヶ日町岡本	2020年 3月 27日
44	市認定	民俗	無形	横山八幡神社の祭礼	—	天竜区横山町	2020年 3月 27日
45	市認定	民俗	無形	瀬尻のぶか凧	—	天竜区龍山町瀬尻	2020年 3月 27日

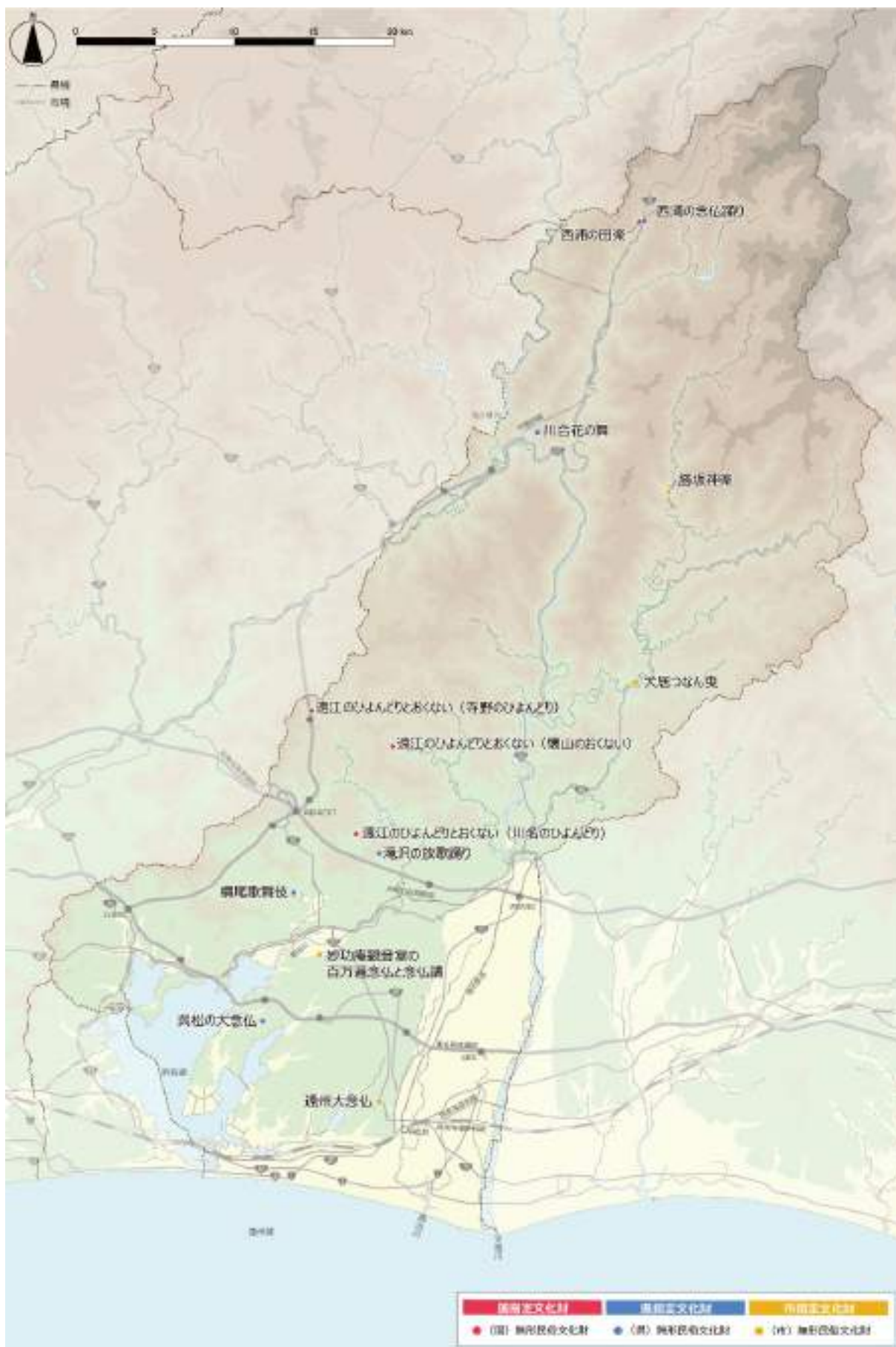


図 21 指定無形民俗文化財

にしうれ でんがく
西浦の田楽（天竜区水窪町奥領家：国指定重要無形民俗文化財）



西浦所能観音堂境内で、毎年旧暦1月18日の月の出から翌19日の日の出まで、夜を徹して舞われる田楽で、五穀豊穡、無病息災、子孫長久、水火の難を除く神事。養老3年（719）、行基が当地を訪れて仏像と面を作り、その年から祭が始まったと伝わる。地能33番、はね能11番（閏年に限って舞われる閏舞を入れると12番）、番外として獅子舞、しずめ、火の王、水の王で構成され、世襲により伝えられている。松明の準備や消防警護など地域の人々と行事を行っている。

てらの
寺野のひよんどり（北区引佐町川名：国指定重要無形民俗文化財）



北区引佐町渋川の宝蔵寺観音堂（通称三日堂）において、毎年1月3日に行われる五穀豊穡を祈る春祈祷の祭りで、元亀年間（1570-1573）頃に始められたと考えられている。「ひよんどり」の名称は、観音堂の外陣において一同が松明を持って輪になって踊る火踊りが印象的なことから、それがなまって「ひよんどり」となったと考えられている。

かわな
川名のひよんどり（北区引佐町川名：国指定重要無形民俗文化財）



北区引佐町川名の福満寺薬師堂（通称八日堂）において、毎年1月4日に行われる五穀豊穡・子孫繁栄を祈る春祈祷の祭りで、応永33年（1426）には行われていたと考えられている。「ひよんどり」名称の由来は、寺野と異なり、堂内での行事の始めに祭りに携わる者一行が松明を灯して薬師堂へ献上するために上がり込んでくるところを、裸の若連（ヒドリ役）が入口で通せんぼして揉み合いとなる場面が印象的であることから名付けられたといわれている。

ふところやま
懐山のおくない（天竜区懐山：国指定重要無形民俗文化財）



天竜区懐山の泰蔵院において、毎年1月3日に行われる豊作祈念、子孫繁栄を祈る春祈祷の祭りである。いつ始まったか定かでないが、猿楽能の曲が伝えられていることから中世には原型となる芸能が行われていたと考えられている。「おくない」の名称は、寺院の修正会・修二会といった法会に由来する正月や春先の祭りである「おこない」がなまったものと伝えられている。

かわいはな まい
川合花の舞（天竜区佐久間町川合：県指定無形民俗文化財）



天竜区佐久間町川合の八坂神社に伝承されている湯立神楽で、毎年10月下旬に行われている。五穀豊穡、無病息災を祈る祭り。「花の舞」は奥三河地方に数多くある霜月神楽の「花祭」が静岡県側にも伝わり、伝承されてきたもので、いずれも鬼が登場する。「花の舞」と呼称されているのは、複数の舞の演目のうち、子供たちが花笠を被って踊る「花の舞」という演目があることから、この舞が強調され芸能全体を表す名称となったと言われている。

たきさわ ほうかおどり
滝沢の放歌踊（北区滝沢町：県指定無形民俗文化財）



北区滝沢町で毎年8月13～15日にわたって行われる盆行事、前半は遠州大念仏、後半は放歌踊というように二部構成になっているのが特徴。夕刻に林慶寺境内で全村の先祖に回向（死者の成仏を願い、供養や法要を行うこと）を行った後、初盆の家々へと向かい、前庭で大念仏と放歌踊が披露される。滝沢の放歌踊は、愛知県新城市大海に古くから伝わる「放下踊」が、山伝いに引佐町渋川や東久留女木を経て伝わり、南の地域で行われていた遠州大念仏と融合したと考えられている。

えんしゅうだいねんぶつ
遠州大念仏（中区鹿谷町：市指定無形民俗文化財）



初盆を迎えた家の死者の霊を慰めるために踊られる集団念仏踊りである。踊るように太鼓が打ち鳴らされるのが特徴で、浴衣姿に笠をかぶり、念仏や歌枕などを唱えて演じられるのが基本だが、その衣装・歌・踊りなどはそれぞれの組によって異なる。三方ヶ原の戦いで戦死した武田・徳川両軍の霊を慰めるために始まったと伝えられ、毎年7月15日に中区の犀ヶ崖資料館の前庭でも遠州大念仏が行われる。浜松市中区・東区・北区・浜北区・天竜区のほか磐田市・袋井市の各組が大念仏保存会を構成している

よこおかぶき
横尾歌舞伎（北区引佐町横尾、白岩：県指定無形民俗文化財）



北区引佐町の農村歌舞伎で、寛政年間（1789-1801年）以前から行われていたことがわかっている。大きな特徴は、役者、義太夫、三味線弾きから、振り付け・大道具・小道具の製作・衣裳や鬘の手入れ・舞台の照明・音響などの裏方を含め、すべて地区の人々の手で賄われていることで、質の高い芸を維持するため年間を通じて稽古を行い、絶えず演技や演奏技術の向上を図っている。毎年10月に定期公演を行っている。もとは白岩の六所神社と横尾の八柱神社にそれぞれ奉納した。

(5) 史跡、考古資料

① 旧石器・縄文・弥生時代

表 27 指定等史跡、考古資料 (旧石器・縄文・弥生時代)

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
1	県指定	有形	考古資料	引佐町上野馬場平古墳出土品を含む考古資料一括	浜松市	中区舘塚四丁目	1967年 10月 11日
2	県指定	有形	考古資料	銅鐸(猪久保出土)	浜松市	北区三ヶ日町三ヶ日	1967年 10月 11日
3	県指定	有形	考古資料	赤門上古墳出土遺物	浜松市	浜北区貴布祢	1990年 3月 20日
4	県指定	有形	考古資料	銅鐸(滝峯才四郎谷出土)	浜松市	北区細江町気賀	1993年 3月 26日
5	県指定	有形	考古資料	銅鐸(前原遺跡出土)	浜松市	北区細江町気賀	2000年 11月 17日
6	県指定	有形	考古資料	伊場遺跡群出土古代地方官衙関係資料	浜松市	中区舘塚四丁目	2002年 3月 22日
7	県指定	有形	考古資料	鳥居松遺跡出土金銀装円頭大刀	浜松市	中区舘塚四丁目	2020年 3月 27日
8	市指定	有形	考古資料	摩訶耶寺出土品(灰釉袈裟襷紋広口壺 灰釉蓮弁紋広口壺)	浜松市	北区細江町気賀	1984年 11月 19日
9	市指定	有形	考古資料	灰釉広口壺(三ヶ日町只木出土)	浜松市	北区細江町気賀	1984年 11月 19日
10	市指定	有形	考古資料	弁天島遺跡出土品(井戸杵)	浜松市	西区舞阪町舞阪	1985年 12月 2日
11	市指定	有形	考古資料	白石山遺跡出土品(壺形土器 鉢形土器)	浜松市	西区舞阪町舞阪	1985年 12月 2日
12	市指定	有形	考古資料	袈裟襷文銅鐸(中川滝峯六の谷出土)	浜松市	北区細江町気賀	1993年 3月 26日
13	市指定	有形	考古資料	中の甲遺跡出土品(埋納銭 陶器残片)	浜松市	中区舘塚四丁目	2005年 4月 19日
14	市指定	有形	考古資料	家形土器(鳥居松遺跡出土)	浜松市	中区舘塚四丁目	2005年 10月 19日
15	市指定	有形	考古資料	袈裟襷文銅鐸(中川滝峯七曲り出土)	浜松市	北区細江町気賀	2020年 3月 24日
16	市指定	有形	考古資料	袈裟襷文銅鐸(中川不動平出土)	浜松市	北区細江町気賀	2020年 3月 24日

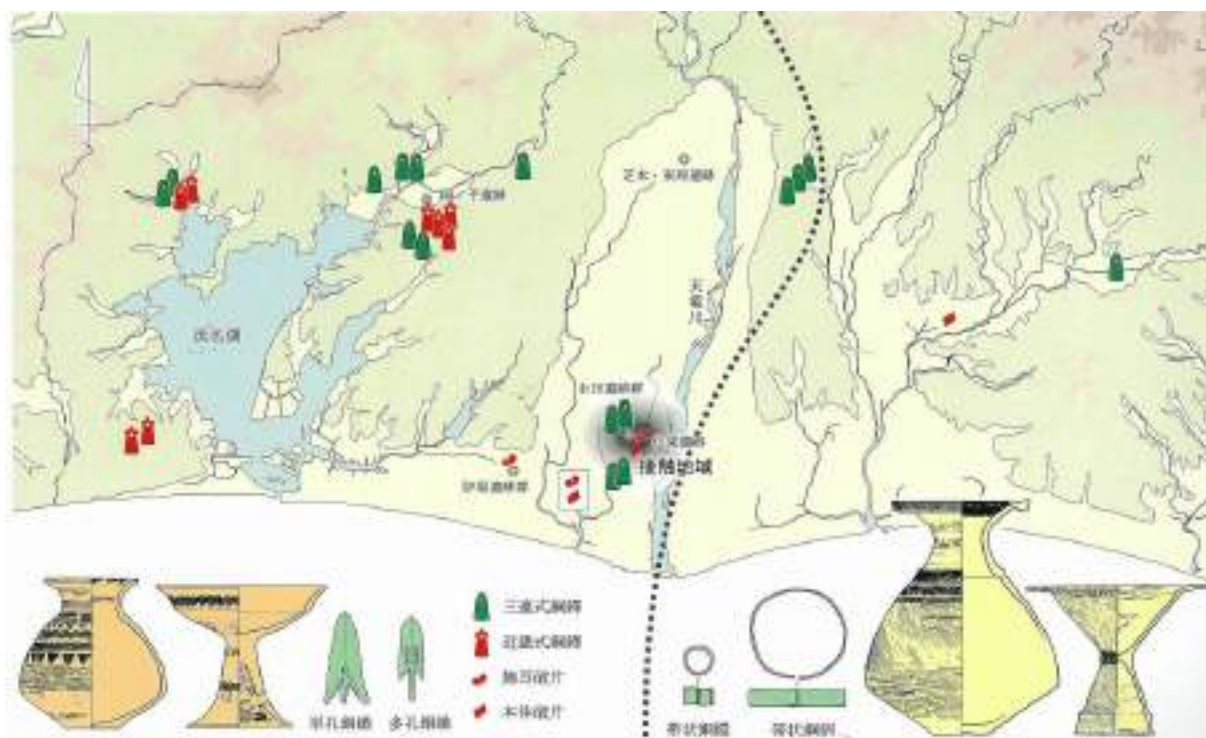


図 22 銅鐸出土位置



図 23 指定史跡、考古資料 (縄文・弥生時代)

ねがた
根堅遺跡（浜北区根堅：未指定）



浜北区根堅の石灰岩採石場から発見された洞窟遺跡で、下層1万8千年前、上層1万4千年前の2体の人骨「浜北人」が見つかっており、現存する中では本州最古の旧石器人骨と評価されている。他にトラなどの獣骨が出土している。現在、洞窟の一部が残存している。近年、お茶の水大学等が、追加の学術調査を実施している。標柱や説明板が建てられている。人骨は東京大学で保管されており、複製品が市民ミュージアム浜北で展示されている。

ヒラシロ遺跡（天竜区熊：市指定史跡）



縄文時代中期後半～後期中葉を主体とする遺跡。遺跡は傾斜が緩やかな南面した山腹に立地している。遺構は、石囲い炉1基、土坑1基、小穴12基で、石囲い炉周辺に遺構が集中していることから、竪穴式住居跡が1軒存在したと考えられている。出土遺物は縄文土器と石器で、南信地域や関東地方などからの搬入品がみられる点が注目される。発掘調査後に遺構は埋め戻されて復元住居やガイダンス施設が整備されており、現在は史跡公園として公開されている。

しじみづか
蜆塚遺跡（中区蜆塚四丁目：国指定史跡）



縄文時代の後期から晩期（約4000～3000年前）の貝塚を伴う集落遺跡。佐鳴湖の北東、約1kmの台地上にあり、シジミを主体とする4個所の貝塚が環状に巡っている。集落の大きさは、おおむね半径50mの範囲にある。この地に貝塚があることは江戸時代から知られており、「蜆塚」という地名にも反映された。昭和30年から4年にわたり発掘調査が行われ、貝塚に接して長方形もしくは円形の床面をもつ建物跡を多数確認された。貝塚の貝層は厚く、保存状態は極めて良好である。

むかいちば
向市場遺跡（天竜区水窪町地頭方：市指定史跡）



向市場遺跡は、水窪川の河岸段丘上において、縄文時代後期から弥生時代前期にかけて営まれた集落遺跡である。縄文時代後期から晩期にかけての出土遺物には、石器と土器がある。土器の中には、東海地方の特徴を持つものに加え、関東地方や関西地方の特徴を持つものもみられる。また、弥生時代前期の出土遺物には遠賀川式土器の壺や甕がみられる。

向市場遺跡は、交通等の要所に営まれた集落であったと考えられる。

おか ひら
岡の平遺跡（北区細江町中川：市指定史跡）



北区細江町中川の都田川下流に形成された中川平野を望む段丘の上に立地する縄文時代後期から奈良時代にかけての集落跡である。縄文時代晩期から弥生時代中期の土器が出土する土層から稲のプラントオパール（植物珪酸体の微化石）が検出され、都田川沖積平野における稲作の始まりを考える上で重要な遺跡とされる。弥生時代後期には、集落を取り囲む環濠と考えられる溝が段丘の裾に沿って巡らされ、溝の中からは弥生土器、木製農具、建築部材などが出土している。

いえがた ど き
家形土器（中区蛸塚四丁目：市指定有形文化財 考古資料）



近年、その存在が知られるようになった伊場遺跡群出土の弥生時代時代資料である。家形土器は神殿もしくは貯蔵倉庫をうつしたもので、鳥居松遺跡の水田大畦畔から出土した。伊場遺跡群（浜松市中区東伊場二丁目ほか）には、弥生時代の集落が広範囲に埋没している。伊場遺跡を中心に、周囲に広がる城山遺跡、梶子遺跡、梶子北遺跡、中村遺跡、三永遺跡、九反田遺跡、鳥居松遺跡等の遺跡で構成されている。

<浜松市博物館所蔵>

たきみねさいしろうや
滝峯才一郎谷遺跡（北区細江町中川：県指定史跡）



埋められた状態の銅鐸が確認された遺跡。電気的な探査により、銅鐸が埋まっていることが予想されたことから、十分な体制で発掘調査が行われた。現地では、銅鐸が埋められていた様子をレプリカで再現しており、自由に見学ができる。三方原台地北縁の滝峯の谷からは、絵画銅鐸として有名な悪ヶ谷銅鐸をはじめ6個の銅鐸が出土している。また谷の入口には銅鐸が使われた頃と同じ弥生時代の遺跡がいくつかあり、関連性があると考えられている。

けさだすきもんどうたく
袈裟襷文銅鐸（北区細江町気賀：県指定有形文化財 考古資料 及び 市指定有形文化財 考古資料）



銅鐸分布圏の東限にあたる浜松市では、19口の銅鐸の出土が知られている（出土情報が確実な事例のみ）。型式が確認できる事例は、すべて弥生時代後期（約2000～1900年前）の突線鈕式に属し、近畿式と三遠式の二つのグループが混在している。なかでも浜名湖北岸地域（浜松市北区）は、14口の出土が確認できる銅鐸密集地である。浜松市では浜名湖北岸地域において1965年以後に出土した7口の銅鐸を所蔵している。

<浜松市博物館所蔵・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館保管>

② 古墳時代

表 28 指定史跡、考古資料（古墳時代）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
1	国指定	記念物	史跡	光明山古墳	光明寺 他	天竜区山東	2020年 3月 10日
2	県指定	有形	考古資料	引佐町上野馬場平古墳出土品を含む考古資料一括	浜松市	中区舘塚四丁目	1967年 10月 11日
3	県指定	有形	考古資料	赤門上古墳出土遺物	浜松市	浜北区貴布祢	1990年 3月 20日
4	県指定	有形	考古資料	鳥居松遺跡出土金銀装円頭大刀	浜松市	中区舘塚四丁目	2020年 3月 27日
5	県指定	記念物	史跡	陣座ヶ谷古墳	個人	北区細江町	1968年 7月 2日
6	県指定	記念物	史跡	赤門上古墳	龍泉院	浜北区内野	1979年 11月 19日
7	県指定	記念物	史跡	渭伊神社境内遺跡	渭伊神社	北区引佐町	1992年 3月 17日
8	県指定	記念物	史跡	二本ヶ谷積石塚群	浜松市	浜北区染地台五丁目	2013年 3月 15日
9	市指定	有形	考古資料	弁天島遺跡出土品(井戸枠)	浜松市	西区舞阪町	1985年 12月 2日
10	市指定	記念物	史跡	入野古墳	浜松市	西区入野町	1959年 6月 18日
11	市指定	記念物	史跡	蛭子森古墳	浜松市	東区豊町	1962年 7月 14日
12	市指定	記念物	史跡	仇山古墳群	個人	天竜区春野町	1966年 12月 26日
13	市指定	記念物	史跡	北岡大塚古墳	浜松市 他	北区引佐町	1979年 4月 23日
14	市指定	記念物	史跡	愛宕平古墳	浜松市	北区三ヶ日町	1980年 8月 20日
15	市指定	記念物	史跡	西山古墳	釣自治会	北区三ヶ日町	1980年 8月 20日
16	市指定	記念物	史跡	北岡2号墳	個人	北区引佐町	1980年 10月 1日
17	市指定	記念物	史跡	恩塚山古墳	個人	北区都田町	1982年 7月 26日
18	市指定	記念物	史跡	馬場平古墳	個人	北区引佐町	1983年 5月 25日
19	市指定	記念物	史跡	興覚寺後古墳	興覚寺 他	浜北区宮口	1986年 6月 4日
20	市指定	記念物	史跡	白山1号墳	白山神社	北区引佐町	1988年 8月 22日
21	市指定	記念物	史跡	火穴古墳	浜松市	西区深萩町	1989年 2月 1日
22	市指定	記念物	史跡	見徳古墳	浜松市	北区都田町	1992年 3月 10日
23	市指定	記念物	史跡	向野古墳	静岡県	浜北区根堅	1994年 1月 1日
24	市指定	記念物	史跡	郷ヶ平4号墳	浜松市	北区都田町	2005年 10月 19日
25	市指定	記念物	史跡	稲荷山古墳	浜松市	浜北区内野	2010年 3月 30日
26	市指定	記念物	史跡	住吉南古墳	浜松市	中区住吉四丁目	2015年 3月 17日
27	市指定	記念物	史跡	亀塚古墳	個人	西区呉松町	2019年 2月 25日

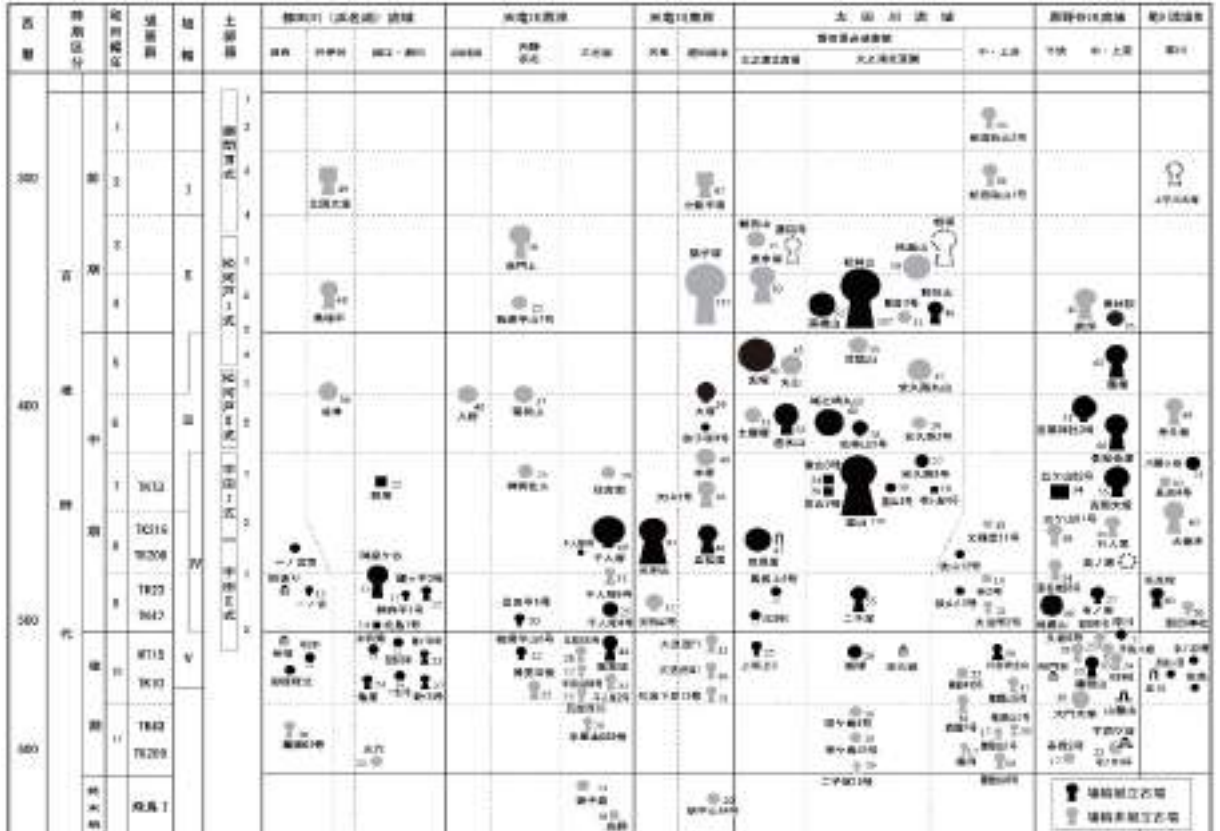


図 24 古墳の変遷



图 25 指定史跡、考古資料（古墳時代）

ばんぼのひら

馬場平古墳出土品を含む考古資料一括（中区蛸塚四丁目：県指定有形文化財 考古資料）



馬場平古墳（市指定史跡）は、北区引佐町井伊谷の盆地を望む丘陵上に、古墳時代前期に築かれた全長 46m の前方後円墳である。埋葬施設は、カヤノキで造られた棺を、粘土によって密閉した粘土槨である。棺内には青銅鏡 2 面や銅鏃が副葬され、朱が撒かれた。倭王権とのつながりを示す銅鏡や権力を示す武器などの副葬には共同体の存続と繁栄への願いが込められていた。

< 浜松市博物館所蔵 >

あかもんうえ

赤門上古墳出土遺物（浜北区貴布祢：県指定有形文化財 考古資料）



赤門上古墳（県指定史跡）は、古墳時代前期に築造された全長 56m の前方後円墳である。1961 年の発掘調査で、後円部中央から全長約 5.6m の割竹形木棺を直接埋葬した痕跡が確認されている。部分的に出土した木棺の部材には、朱が塗られた部分があった。三角縁神獣鏡をはじめ、銅鏃、鉄鏃、鉄剣、鉄刀、鉄斧、鉄鎌、管玉などの副葬品が出土している。

< 浜松市博物館所蔵・市民ミュージアム浜北保管 >

いりの

入野古墳（西区入野町：市指定史跡）



西区入野町の三方原台地南端に築かれた直径 44m の円墳で、浜松市内の円墳では千人塚古墳に次いで二番目の規模である。平成 5 年（1993 年）に墳丘裾の発掘調査が行われ、墳丘の表面に葺石がみられ、墳丘の表面からは土器の破片が採集されている。埴輪は見つかっておらず、当初から存在しなかったと考えられる。5 世紀前半の築造と推定される。墳丘上からは浜松市南部の平野や遠州灘が良く見渡せ、浜松の平野部を治めた首長の墓と考えられる。

い い じん じゃ けい だい

涓伊神社境内遺跡（北区引佐町井伊谷：県指定史跡）



北区引佐町井伊谷の涓伊神社境内にある遺跡で天白磐座遺跡とも呼ばれる。古墳時代の祭祀が執り行われた遺跡として知られている。遺跡は、涓伊神社の背後にある丘陵上にそびえる自然の大岩を中心に広がっている。平成元年（1989 年）に発掘調査が行われ、岩の周囲から手づくね土器（ミニチュアの土器）や鉄製の武器が出土している。巨大な磐座は、五世紀代に神の依り代としてあがめられ、出土した土器や武器は、まつりの際に祈りを込めて岩の周囲に置かれたものと考えられている。

こうみょうさん
光明山古墳（天竜区山東：国指定史跡）



現在の光明寺境内南側にある市内最大の前方後円墳である。築造は古墳時代中期中頃から後半（5世紀中頃から後半）とされ、全長は83m、古墳の主軸は南北方向に設定され、前方部を南に向けている。後円部、前方部ともに2段築成で、上段墳丘と下段墳丘の斜面には葺石がみられる。墳頂や中段平坦面には埴輪が立て並べられた。秋葉街道と奥三河、東遠江につながる街道とが重なる交通の要衝を眼下に望む立地にあり、当時の陸上交通網の掌握に大きな役割を担った人物を埋葬した首長墓であったとみられている。

こうかくじゅうしろ
興覚寺後古墳（浜北区宮口：市指定史跡）



浜北区宮口にある全長35mの前方後円墳である。後円部の中央に畿内系の片袖式石室が構築されている。石室の全長は8m、玄室の長さは5.6m、幅は2.4mである。副葬品には、馬具や鉄製武器、装身具、須恵器がある。副葬品の特徴から、6世紀前半に築かれたものとみられ、市内でも最初に横穴式石室を採用した古墳と考えられている。

にほんがやつみいしづかぐん
二本ヶ谷積石塚群（浜北区染地台五丁目：県指定史跡）



浜北区染地台の三方原台地東縁に形成された二筋の谷（東谷、西谷）の中に立地する。積石塚のみで構成され、これまでに東谷で22基、西谷で6基が確認されている。築造時期は一部で6世紀前葉まで降る可能性をもつものもあるが、多くが5世紀中葉から後葉の間に築造されたと考えられる。墳丘は円礫を用いて築かれる。墳形は方墳が多いが、埋葬施設を取り囲むだけの不定形のものもみられる。規模は一辺数メートル程度と小型で、低平な墳丘だったとみられている。

とりいまついせきしゆつどきんぎんそうえんとう ち
鳥居松遺跡出土金銀装円頭大刀（中区蛸塚四丁目：県指定有形文化財 考古資料）



金銀装円頭大刀は、鳥居松遺跡を流れる伊場大溝の川底部分から、鞘が抜かれた状態で出土した。大刀は、朝鮮半島で6世紀前葉頃に製作され、6世紀後半頃に川に沈められたとみられる。大刀の長さは79.5cmあり、柄は木彫金銀張技法によって製作される。柄頭には、補修の痕跡もみられる。本例は美術工芸的な価値に加え、祭祀に用いられた装飾大刀としても貴重である。製作時期と製作地、補修を伴う使用過程、儀礼に伴う廃棄など、その履歴が明確な点も重要である。
〈浜松市博物館所蔵〉

③ 奈良時代～室町時代

表 29 指定等史跡、考古資料（奈良時代～室町時代）

No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	国指定	記念物	史跡	三岳城跡	静岡県他	北区引佐町三岳ほか	1944年 3月 7日
2	県指定	有形	考古資料	伊場遺跡群出土古代地方官衙関係資料	浜松市	中区舘塚四丁目	2002年 3月 22日
3	県指定	記念物	史跡	犀ヶ崖古戦場	浜松市他	中区鹿谷町ほか	1952年 4月 1日
4	県指定	記念物	史跡	千頭峯城跡	摩訶耶区他	北区三ヶ日町摩訶耶	1981年 3月 16日
5	市指定	有形	考古資料	摩訶耶寺出土品(灰釉袈裟襷紋広口壺 灰釉蓮弁紋広口壺)	浜松市	北区細江町気賀	1984年 11月 19日
6	市指定	有形	考古資料	灰釉広口壺(三ヶ日町只木出土)	浜松市	北区細江町気賀	1984年 11月 19日
7	市指定	有形	考古資料	中の甲遺跡出土品(埋納銭 陶器残片)	浜松市	中区舘塚四丁目	2005年 4月 19日
8	市指定	記念物	史跡	瑞雲院境内 附 天野家墓所	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1966年 12月 26日
9	市指定	記念物	史跡	京丸牡丹谷	国	天竜区春野町小俣京丸	1966年 12月 26日
10	市指定	記念物	史跡	大光寺境内	大光寺	天竜区春野町花島	1966年 12月 26日
11	市指定	記念物	史跡	宇志北大里遺跡	浜松市	北区三ヶ日町宇志	1969年 2月 14日
12	市指定	記念物	史跡	乎那の峯	個人	北区三ヶ日町鶴代	1970年 11月 25日
13	市指定	記念物	史跡	天寶堤	個人	浜北区道本	1970年 12月 23日
14	市指定	記念物	史跡	大平城跡	個人	浜北区大平	1972年 8月 30日
15	市指定	記念物	史跡	幡教寺跡	国	北区三ヶ日町只木	1974年 4月 23日
16	市指定	記念物	史跡	凌苔庵跡	国	北区三ヶ日町平山	1980年 8月 20日
17	市指定	記念物	史跡	井伊谷城跡	浜松市	北区引佐町井伊谷	1985年 8月 26日
18	市指定	記念物	史跡	大屋敷5号窯跡	宮口六所神社	浜北区宮口	1990年 3月 31日
19	市認定	記念物	史跡	笹岡城跡	浜松市	天竜区二俣町二俣	2017年 3月 22日
20	市認定	記念物	史跡	洞雲寺境内	洞雲寺	西区神ヶ谷町	2018年 3月 22日
21	市認定	記念物	史跡	得月寺境内	得月寺	北区引佐町兔荷	2020年 3月 27日
22	市認定	記念物	史跡	兔荷六所神社境内	兔荷区	北区引佐町兔荷	2020年 3月 27日
23	市認定	記念物	史跡	庚申寺境内	庚申寺	浜北区宮口	2020年 3月 27日
24	市認定	記念物	史跡	大屋敷墳墓	個人	浜北区宮口	2020年 3月 27日
25	市認定	記念物	史跡	陽泰院境内	陽泰院	浜北区宮口	2020年 3月 27日



图 26 指定史跡、考古資料（奈良時代～室町時代）

おおやしき

大屋敷 5 号窯跡（浜北区宮口：市指定史跡）



浜北区宮口の丘陵斜面に構築された10世紀後半の灰釉陶器の窯跡である。大屋敷 5 号窯跡は、灰釉陶器の生産地であった宮口古窯跡群のうち、大屋敷古窯跡群に細分される地域に築窯された。大屋敷 5 号古窯跡は、残存長 5.3m、幅 1.5mの窖窯であり、燃焼部と焼成部の間には分焰柱が設けられている。出土品には碗などの一般的な食器類に加え、托や獣脚壺などがみられ、官衙や寺院等で用いられる特殊な器物も生産されていたことが分かる。

てんぼうづつみ

天寶堤（浜北区道本：市指定史跡）



浜北区道本に所在する天竜川の堤防跡である。『続日本紀』の天寶字 5 年（761 年）7 月 19 日条には、天竜川の決壊した堤防をのべ 30 万人余りを動員して修築した記載がみられる。江戸時代の国学者・内山真龍は、『続日本紀』に記載された堤防をこの堤防跡に比定し、天寶堤と名付けた。天寶堤は現在、全長 17.5m、高さ 1.2mが残存している。この堤防の築堤や修築が古代に遡るかは定かでないが、江戸時代以前の治水技術をうかがい知ることができる。

うしきたおおりの

宇志北大里遺跡（北区三ヶ日町宇志：市指定史跡）



北区三ヶ日町宇志の千頭峯の中腹にある瓦塔が樹立された古代の信仰遺跡である。瓦塔は、五重塔等の代替として建立された陶製の塔である。宇志北大里遺跡は、昭和 33 年（1958 年）に発掘調査が行われ、瓦塔 1 基分の破片が出土した。瓦塔の造立状態が分かる全国的にも貴重な事例である。瓦塔の出土地とその周辺の平坦地が市の史跡に指定されている。瓦塔出土地が所在する山の頂上付近には、摩訶耶寺の前身である真茅寺の推定地と観音岩と呼ばれる巨岩がある。瓦塔出土地と観音岩の周囲には小規模な平坦地が多く分布しており、一連のものと捉えられる。

出土した瓦塔は、相輪を欠くが、ほぼ全体形をうかがい知ることができる。現在は、奈良国立博物館に収蔵され、現地には陶製の復元品が建てられている。

浜松市内では宇志北大里遺跡の他にも数点の瓦塔が採集・出土しているが、いずれも小破片である。

浜名湖北岸地域には、古代寺院が所在したと推定される楠木遺跡や式内社・英多神社に比定される浜名惣社神明宮、幡教寺などの中世寺院跡、摩訶耶寺や大福寺をはじめとした中世から現在に至る寺院などの振興拠点が分布し、古代から現在に至るまでの信仰の内容と変遷をうかがい知ることができる重要な地域である。

ばんきょうじ
幡教寺跡（北区三ヶ日町只木：市指定史跡）



北区三ヶ日町只木の富幕山中腹に所在する山岳寺院跡である。貞観 17 年（875 年）に開創したと伝わり、北区三ヶ日町福長に所在する大福寺の前身とされる。現在は、国有林の一部になっており、林道の脇には礎石が点在し、本堂があったと伝わる。また、林道を挟んで北側の山中には奥の院と呼ばれる場所があり、複数の宝篋印塔が建ち並んでいる。修験の地として栄えた浜名湖北岸の山岳地帯の様子をうかがい知ることができる。

まかやし
摩訶耶寺出土品（北区細江町気賀：市指定有形文化財 考古資料）



北区三ヶ日町摩訶耶に所在する摩訶耶寺の墓地の境界部分で灰釉連弁紋広口壺 1 点と灰釉袈裟襷紋広口壺 1 点が出土している。2 点の広口壺は 12 世紀に渥美窯で生産されたものと捉えられる。

千頭峯にあった真萱寺が、現在の地に移転し、摩訶耶寺として移転したと伝わる時期と整合的である。浜名湖北岸地域における仏教文化や寺院の変遷を知るうえで重要な出土品である。

< 浜松市博物館所蔵・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館保管 >

なか こう
中の甲遺跡出土品<埋納銭一括 陶器残片一括>（中区舘塚四丁目：市指定有形文化財 考古資料）



三ヶ日町佐久米小字中ノ甲に所在する中の甲遺跡から出土した古瀬戸の四耳壺と壺の中に納められた古銭である。古銭は壺の上部に偏って固着していることから、口縁部を下にした状態で埋納されていたと考えられる。埋納された古銭は 1,000 枚程度、永楽通宝が下限と推定されている。古銭を納めた容器は古瀬戸後期様式の四耳壺である。壺と古銭が埋納された時期は 15 世紀前半を中心とした時期と捉えられる。

< 浜松市博物館所蔵 >

ずいんいんけいだい つけたり あまのけぼしよ
瑞雲院境内 附 天野家墓所（天竜区春野町堀之内：市指定史跡）



天竜区春野町堀之内字若身にある曹洞宗の寺院である。明応 2 年（1493 年）、会下山に在地領主であった天野氏が開いた。天正 4 年（1576 年）の徳川家康による犬居城攻略の際、伽藍が焼失した。慶長年間に現在の地に移転復興され、本堂が再建されたが、元和 6 年（1620 年）に再び焼失し、寛延 3 年（1750 年）に山門が造立され、文化 6 年（1809 年）に本堂が再建された。

昭和 30 年、天野家墓所が瑞雲院境内に移され、現在の姿に整えられた。

④ 城 跡

表 30 城跡

No.	名称(または伝承名)	時代	所在地
1	浜松城跡	戦国～江戸	中区 元城町、松城町
2	引間城跡	戦国～江戸	中区 元城町、元目町
3	蛇屋敷	戦国時代	中区 元目町、下池川町
4	大堀屋敷	戦国時代	中区 利町
5	出城	戦国時代	中区 松城町
6	作作曲輪	戦国時代	中区 利町
7	鴨江城	南北朝時代	中区 鴨江
8	長者屋敷	不明	中区 鴨江
9	山家三方衆屋敷跡	戦国時代	中区 三組町
10	椿屋敷	戦国時代	中区 元浜町
11	下垂屋敷	戦国時代	中区 尾張町
12	旧大安寺境内	戦国時代	中区 山下町
13	早出屋敷	戦国時代	中区 早出町
14	欠下城跡	戦国時代	東区 有玉西町
15	東畑屋敷跡	鎌倉～戦国	東区 有玉西町
16	高林家住宅	戦国～江戸	東区 有玉南町
17	万斛遺跡	鎌倉～戦国	東区 中郡町
18	万斛西遺跡	戦国～江戸	東区 中郡町
19	御殿山遺跡	不詳	東区 笠井町
20	太田式部屋敷跡	江戸時代	東区 笠井町
21	市野惣太夫屋敷跡	戦国～江戸	東区 市野町
22	内藤家	室町～江戸	東区 豊平町
23	安間家	南北朝～江戸	東区 安新町/安間町
24	殿屋敷	不詳	東区 天竜川町
25	金原法橋屋敷跡	鎌倉～戦国	東区 天竜川町
26	蒲屋敷	鎌倉～江戸	東区 大蒲町
27	堀江城跡	戦国時代	西区 館山寺町
28	堀江陣屋	江戸時代	西区 館山寺町
29	佐田城跡	不詳	西区
30	志津城跡	不詳	西区 村楠町
31	中安兵部屋敷跡	戦国時代	西区 庄内町
32	志都呂陣屋	江戸時代	西区 館山寺町
33	大久保陣屋	江戸時代	西区 館山寺町
34	中村家屋敷地	戦国～江戸	西区 雄踏町
35	熊谷屋敷	不詳	西区 入野町
36	木寺宮旧跡	不詳	西区 入野町
37	丸山城	不詳	西区 志都呂町
38	城山遺跡	戦国時代	南区 若林町
39	源範頼屋敷跡	鎌倉～戦国	南区 飯田町
40	渡瀬屋敷	鎌倉～江戸	南区 渡瀬町
41	次廣屋敷	鎌倉～江戸	南区 渡瀬町
42	庄屋遺跡	不詳	南区 新貝町
43	大隅屋敷	鎌倉～戦国	南区 新貝町
44	大塚屋敷	鎌倉～戦国	南区 大塚町
45	頼母木屋敷	不詳	南区
46	伝松下屋敷	戦国～江戸	南区 頭陀寺町
47	海東遺跡	鎌倉～戦国	南区 恩地町
48	東町城山遺跡	不詳	南区 東町
49	松本屋敷	不詳	南区 田尻町
50	清水屋敷	不詳	南区 白羽町
51	今城城跡	不詳	北区 細江町
52	刑部砦跡	戦国時代	北区 細江町
53	刑部城跡	戦国時代	北区 細江町
54	堀川城跡	戦国時代	北区 細江町
55	尉ヶ峰城跡	戦国時代	北区 細江町
56	気賀近藤氏陣屋跡	江戸時代	北区 細江町
57	渋川城跡	戦国時代	北区 引佐町
58	田沢城跡	戦国時代	北区 引佐町
59	小屋山城跡	戦国時代	北区 引佐町
60	伊平城跡(殿村館)	戦国時代	北区 引佐町
61	奥山城跡	戦国時代	北区 引佐町
62	奥山館跡	戦国時代	北区 引佐町
63	井伊谷城跡	戦国時代	北区 引佐町
64	三岳城跡	南北朝～戦国	北区 引佐町
65	上野砦跡	戦国時代	北区 引佐町
66	谷津砦跡	戦国時代	北区 引佐町
67	金指近藤氏陣屋跡	江戸時代	北区 引佐町
68	井伊氏館跡	不詳	北区 引佐町
69	長岩砦跡	戦国時代	北区 三ヶ日町
70	中千頭砦跡	戦国時代	北区 三ヶ日町
71	千頭峯城跡	南北朝～戦国	北区 三ヶ日町
72	乾山屋敷跡	戦国時代	北区 三ヶ日町
73	鯉山砦跡	戦国時代	北区 三ヶ日町
74	岡本居館跡	戦国時代	北区 三ヶ日町

No.	名称(または伝承名)	時代	所在地
75	神日代屋敷跡		北区 三ヶ日町
76	浜名惣社神主屋敷跡		北区 三ヶ日町
77	浜崎居館跡	戦国時代	北区 三ヶ日町
78	日比沢城跡	戦国時代	北区 三ヶ日町
79	本坂後藤(角兵衛)屋敷跡		北区 三ヶ日町
80	本坂後藤(源兵衛)屋敷跡		北区 三ヶ日町
81	本坂後藤屋敷跡		北区 三ヶ日町
82	土居城跡	戦国時代	北区 三ヶ日町
83	大谷代官屋敷跡	江戸時代	北区 三ヶ日町
84	安形伊賀守屋敷跡	江戸時代	北区 三ヶ日町
85	野地城跡	江戸時代	北区 三ヶ日町
86	佐久城跡	戦国時代	北区 三ヶ日町
87	堂崎居館跡		北区 三ヶ日町
88	大屋金太夫屋敷跡		北区 三ヶ日町
89	尾奈居館跡		北区 三ヶ日町
90	本城山	不詳	北区 三ヶ日町
91	大谷陣屋跡	江戸時代	北区 三ヶ日町
92	内野陣屋跡	江戸時代	浜北区 内野
93	長者屋敷	不詳	浜北区 尾野
94	籠屋敷	不詳	浜北区 尾野
95	大平城跡	南北朝～戦国	浜北区 大平
96	小川砦跡	戦国時代	天竜区 小川
97	横山砦跡	戦国時代	天竜区 横山町
98	光明城跡	戦国時代	天竜区 光明
99	石神城跡	戦国時代	天竜区 石神
100	高岡城跡	戦国時代	天竜区 船明
101	只来城跡	戦国時代	天竜区 只来
102	笹岡古城跡	戦国時代	天竜区 二俣
103	捲原砦跡	戦国時代	天竜区 二俣
104	毘沙門堂砦跡	戦国時代	天竜区 二俣
105	二俣城跡	戦国時代	天竜区 二俣
106	鳥羽山城跡	戦国時代	天竜区 鳥羽山
107	和田ヶ島砦跡	戦国時代	天竜区 渡ヶ島
108	京丸屋敷跡		天竜区 春野町
109	猪ヶ鼻砦跡	戦国時代	天竜区 春野町
110	入手城跡	戦国時代	天竜区 春野町
111	篠ヶ嶺城跡	戦国時代	天竜区 春野町
112	樽山城跡		天竜区 春野町
113	花島屋敷跡		天竜区 春野町
114	渡辺屋敷跡		天竜区 春野町
115	萩野城跡		天竜区 春野町
116	尾上屋敷跡		天竜区 春野町
117	平木城山城跡		天竜区 春野町
118	大居城跡	戦国時代	天竜区 春野町
119	若身城山城跡		天竜区 春野町
120	仇山砦跡		天竜区 春野町
121	勝坂城跡		天竜区 春野町
122	平尾城跡		天竜区 春野町
123	堀之内城山城跡		天竜区 春野町
124	塩見坂の砦		天竜区 春野町
125	久保田の砦		天竜区 春野町
126	長蔵寺の城山		天竜区 春野町
127	牧野鞍掛城		天竜区 春野町
128	和泉平の城山		天竜区 春野町
129	原山の城山		天竜区 春野町
130	代古根の城山		天竜区 春野町
131	和田之谷砦跡		天竜区 春野町
132	領家砦跡		天竜区 春野町
133	中尾生城(中日向城)跡	戦国時代	天竜区 龍山町
134	奥山屋敷跡		天竜区 水窪町
135	高根城跡	戦国時代	天竜区 水窪町
136	大洞山若子城跡		天竜区 佐久間町
137	片桐屋敷跡		天竜区 佐久間町
138	小川城跡		天竜区 佐久間町
139	御室屋敷跡		天竜区 佐久間町
140	倉屋敷跡		天竜区 佐久間町
141	水巻城跡		天竜区 佐久間町
142	平賀屋敷跡		天竜区 佐久間町
143	裏鹿城跡		天竜区 佐久間町
144	川上鶴ヶ城跡		天竜区 佐久間町
145	尾平城跡		天竜区 佐久間町
146	大滝古城跡		天竜区 佐久間町
147	オキノ砦跡		天竜区 佐久間町
148	羽ヶ庄城山		天竜区 佐久間町

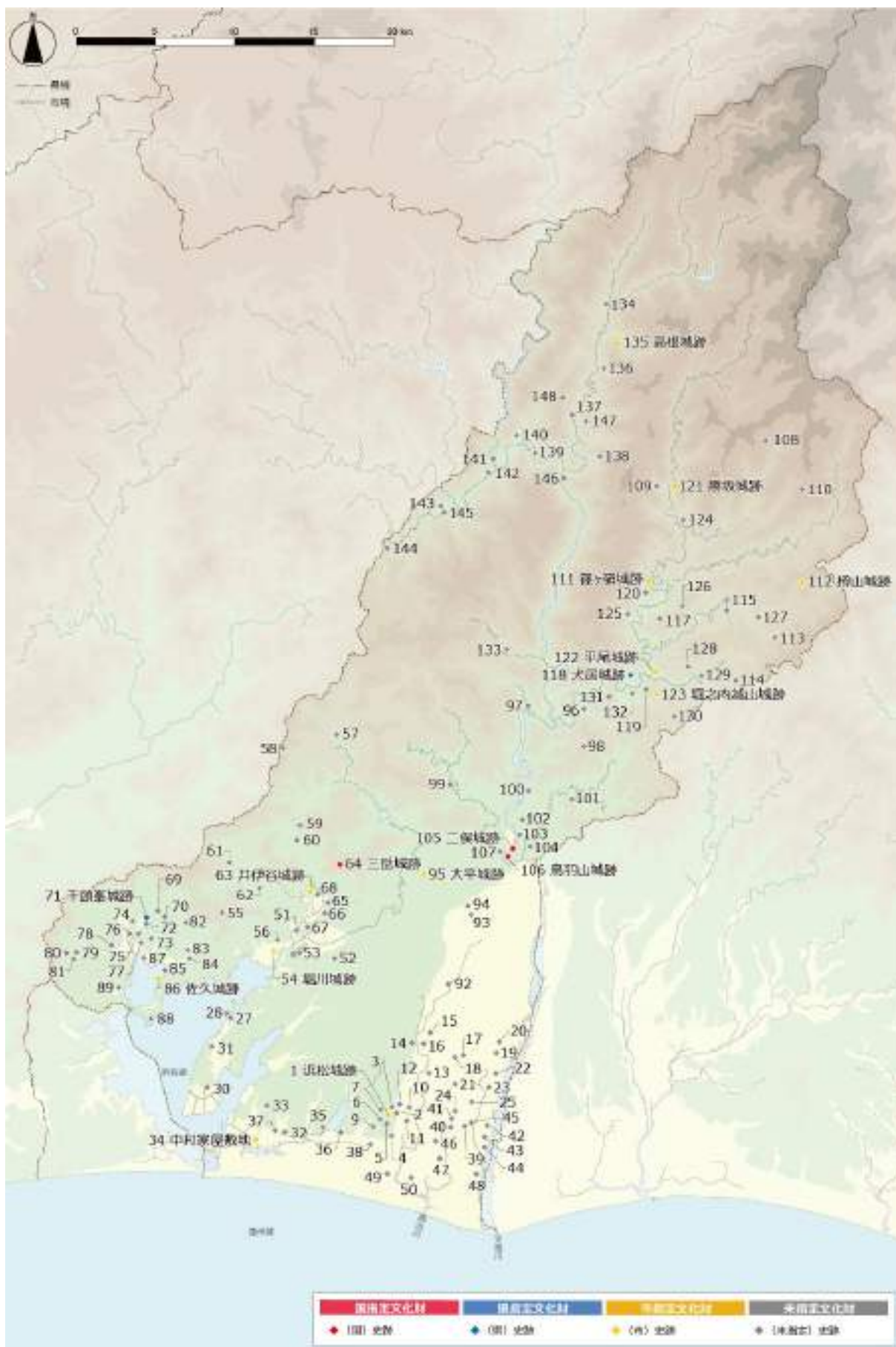


图 27 城跡

たかねじょうあと
高根城跡（天竜区水窪町地頭方：市指定史跡）



遠江最北端の山城である。この地を拠点としたの豪族奥山氏が南北朝時代、後醍醐天皇の孫由機良親二を守るために築いたとされる。戦国時代、今川・徳川・武田の勢力争いの狭間で内部分裂を起こすが、元龜3年（1572年）の武田信玄の遠江侵攻時には、武田方の城として、青崩峠越えの警備を任された。

現在、城門・井楼櫓・礎石建物・木柵などが復元されている。中世の山城としては、全国で初めて全面発掘に基づき再現された。

いぬいじょうあと
犬居城跡（天竜区春野町堀之内：県指定史跡）



犬居城は、承久の乱後に山香庄の地頭として入部した天野氏の本城である。天野氏は戦国時代、今川氏の配下の国衆として活躍した。永禄3年（1560年）、桶狭間の戦いの後は徳川家康に従うが、武田信玄が北遠へ進出すると、武田勢に従った。天正3年（1575年）、長篠の戦いを経て武田勢が衰退すると、天正4年、徳川軍の攻撃を受け落城した。現在、曲輪や堀切、土橋などの遺構が残る。これらの遺構は、天野氏が武田氏の支援を受けて整備したものと考えられる。

ふたまたじょうあと
二俣城跡（天竜区二俣町二俣：国指定史跡）※指定名称「二俣城跡及び鳥羽山城跡」



二俣城は、天竜川と旧二俣川により三方を囲まれた天然の要害の地に築かれた山城である。徳川氏と武田氏による激しい争奪戦が繰り広げられた城郭として知られている。二俣城は丘陵を階段状に加工し、本丸を頂点に主要な施設を配置している。現在、本丸や二の丸、西の丸等主要な施設が想定される場所に土塁や堀、石垣が構築されている。徳川氏により城郭の原形が整えられ、堀尾氏により高い石垣を備える城郭になった。天守台上からは天竜川が一望でき、天竜川を利用した水上交通を意識した城でもある。

とばやまじょうあと
鳥羽山城跡（天竜区二俣町二俣ほか：国指定史跡）※指定名称「二俣城跡及び鳥羽山城跡」



鳥羽山城は、東西1kmにおよぶ独立丘陵を利用して構築された山城である。独立丘陵には3つの頂部があり、西群・中央群・東群の3つの遺構群に分けることができる。西群は二俣城と同じく堀尾氏により石垣が構築され、本丸内には、枯山水式庭園が造られている。

鳥羽山城は、迎賓機能を備えた特別な空間として整備されたと考えられる。軍事的な要塞としての特徴を強く持つ二俣城と2つで1つの城を構成する「別城一郭」と呼ばれる形態を採用した城といえる。

みたけじょうあと
三岳城跡（北区引佐町三岳ほか：国指定史跡）



三岳山の山頂や尾根を中心に構築された城郭である。南北朝期には、宗良親王を迎え南朝方の拠点となるが、暦応2年（1339年）に北朝方の攻撃により落城した。戦国時代には井伊氏が三岳城に拠り今川方に抵抗したが永正10年（1513年）に落城した。

その後、今川氏や徳川氏によって改修されたが、天正年間のうちには廃城になったとみられる。現在残る本曲輪、二の曲輪、帯曲輪等などは、戦国時代に改修されたものと考えられる。

いいのやじょうあと
井伊谷城跡（北区引佐町井伊谷：市指定史跡）



戦国時代に井伊谷とその周辺を治めていた国衆、井伊氏の本拠地。標高115mの城山山頂を長軸65m、短軸57mにわたり切り開き、周囲には土塁をめぐらしている。南側にある大手口は左右が互い違いにされ、防御上に有利な横矢がけが意識されている。曲輪の南側は平坦にされ、精美な方形プランを見ることができる。大手口の延長方向の山裾には井伊氏の居館があり、山頂の詰城である井伊谷城と山麓の居館との密接な関係が読み取れる。

さくじょうあと
佐久城跡（北区三ヶ日町都筑：市指定史跡）



浜名湖（猪鼻湖）の北岸に築かれた、奥浜名湖の水運を強く意識した城郭である。本曲輪や馬出曲輪、空堀が残存している。

南北朝期の貞和4年（1348年）に浜名清政が築城したと伝わる。以後、代々の浜名氏の居城となった。永禄11年（1568年）、浜名頼広は遠江に侵攻した徳川家康に佐久城で抗戦したが敗れた。以後、佐久城は徳川勢の城となったが、天正11年（1583年）に小湾を挟んだ北側の半島に野地城が築城され、廃城となった。

はまつじょうあと
浜松城跡（中区元城町：市指定史跡）



徳川家康は元亀元年（1570年）に引間城（現在の東照宮とその周辺）に入城し、西へ城域を拡大、浜松城と名を改めた。築城時の浜松城は堀と土塁を巡らせた城郭であったとみられる。豊臣氏家臣の堀尾吉晴が浜松城主になり、天守や大規模な石垣を備えた城郭に改築したとみられる。江戸時代には譜代大名が城主を務め、在任中やその前後に幕府の要職に就くものが多く出世城とも呼ばれている。現在は、天守曲輪や本丸の一部を中心に野面積みの石垣が残存している。

⑤ 街 道

表 31 街道に関する指定等文化財

No.	指定等	区分	種別	街道	名称	所有者	所在地	指定年月日
1	国指定	有形	工芸品	秋葉街道	太刀 銘安繩(備前)	秋葉神社	天竜区春野町領家	1922年 4月 13日
2	国指定	有形	工芸品	秋葉街道	太刀 銘弘次	秋葉神社	天竜区春野町領家	1923年 3月 28日
3	国指定	有形	工芸品	秋葉街道	太刀 銘来国光	秋葉神社	天竜区春野町領家	1923年 3月 28日
4	県指定	記念物	史跡	秋葉街道	青崩峠	浜松市	天竜区水窪町奥領家	1996年 3月 12日
5	市指定	有形	建造物	秋葉街道	上島新田組秋葉山常夜燈鞘堂	新田組	浜北区上島	1982年 5月 22日
6	市指定	有形	建造物	秋葉街道	小松秋葉大鳥居	秋葉神社	浜北区小松	2005年 3月 24日
7	市指定	有形	建造物	秋葉街道	小松秋葉山常夜燈	秋葉神社	浜北区小松	2005年 3月 24日
8	市指定	有形	建造物	東海道	旧舞坂脇本陣	浜松市	西区舞阪町舞阪	1997年 4月 18日
9	市指定	有形	建造物	姫街道	気賀関所本番所	個人	北区細江町気賀	1966年 1月 27日
10	市指定	有形	建造物	秋葉街道	秋葉神社神門	秋葉神社	天竜区春野町領家	1966年 12月 26日
11	市指定	有形	建造物	秋葉街道	瑞雲院山門	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1990年 1月 24日
12	市指定	有形	建造物	秋葉街道	瑞雲院鐘楼	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1990年 1月 24日
13	市指定	有形	建造物	秋葉街道	山住神社神門	山住神社	天竜区水窪町山住	1988年 3月 9日
14	市指定	有形	彫刻	秋葉街道	木造聖観音坐像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
15	市指定	有形	彫刻	秋葉街道	木造十一面観音立像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
16	市指定	有形	彫刻	秋葉街道	木造伝勝軍地藏立像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
17	市指定	有形	彫刻	秋葉街道	木造四天王立像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
18	市指定	有形	古文書	東海道	舞坂宿問屋場御用留	浜松市	中区舘塚四丁目	1984年 3月 27日
19	市指定	有形	古文書	東海道	舞坂宿祭礼入用帳	浜松市	西区舞阪町舞阪	2001年 8月 30日
20	市指定	民俗	有形	秋葉街道	秋葉街道貴布祢の道標	浜松市	浜北区貴布祢	1982年 5月 22日
21	市指定	民俗	有形	秋葉街道	日入沢の道祖神	下平山日入沢小保	天竜区龍山町下平山	1975年 10月 1日
22	市指定	記念物	史跡	東海道	浜松城跡	浜松市	中区元城町	1959年 6月 18日
23	市指定	記念物	史跡	姫街道	追分一里塚	浜松市	中区葵東二丁目	1959年 6月 18日
24	市指定	記念物	史跡	姫街道	姫街道の松並木	静岡県	中区、西区	1959年 12月 19日
25	市指定	記念物	史跡	姫街道	東海道大山一里塚	浜松市 他	西区大山町、北区三方原町	1963年 7月 11日
26	市指定	記念物	史跡	東海道	東海道の松並木	静岡県	西区舞阪町	1972年 4月 1日
27	市指定	記念物	史跡	東海道	舞坂見付	浜松市	西区舞阪町舞阪	1972年 4月 1日
28	市指定	記念物	史跡	東海道	今切渡し舞坂渡船場	国	西区舞阪町舞阪	1974年 5月 1日
29	市指定	記念物	史跡	東海道	舞坂一里塚	浜松市	西区舞阪町舞阪	1975年 9月 1日
30	市指定	記念物	史跡	姫街道	本坂一里塚	浜松市	北区三ヶ日町本坂	1992年 3月 6日
31	市指定	記念物	天然記念物	秋葉街道	秋葉神社社叢	秋葉神社	天竜区春野町領家	1966年 12月 26日

表 32 街道の詳細

街道名	宿場名	その他資源
東海道	浜松宿 舞坂宿	【古代東海道】池田荘立券状、馬郡観音堂跡、二つ御堂、伊場遺跡公園 【中世東海道】船越・早馬地名、浜松八幡宮、分器稻荷神社、引間城跡、元目・下垂地名、屋ヶ崖、蒲神明宮、植松原、富田市、今切、 【近世東海道】弁天島、今切渡し舞坂渡船場、旧舞坂宿脇本陣、舞坂見付、東海道の松並木、舞坂一里塚、篠原の立場、篠原一里塚、領境石(増楽町)、松並木(増楽町～若林町)、高塚池跡、若林一里塚、浜松城跡、城下の地名、後道(現千歳町)の街区、向宿一里塚、天神社・天神町、六軒京(大蒲町)、妙恩寺、松並木(薬師町)、領境石(薬師町)、安間一里塚、金原明善生家、中ノ町の街並み
姫街道(本坂通)	市野宿 気賀宿 三ヶ日宿	本坂一里塚、橋逸勢神社、華藏寺、初生布神社、大福寺、摩訶那寺、浜名総社神明宮、大谷一里塚、宇志大里遺跡(瓦塔)、山田一里塚、二宮神社、長楽寺、獄門縄手、気賀見付、気賀関所、刑部城跡、老ヶ谷一里塚、東大山一里塚、姫街道の松並木、追分一里塚、欠下城跡、俊光将軍社跡、有玉八幡宮、高林家住宅、曾我寺・曾我松、小池一里塚、熊野神社、安間家屋敷、姫街道道標
秋葉街道	小奈良安 大居、坂下 貴布祢、二俣 和田之谷 渋川、熊 西川、戸倉水窪 西渡、下平山	秋葉神社神門、秋葉神社社叢、秋葉神社の所蔵文化財、火祭り、秋葉寺の所蔵文化財、火祭り、上島新田組秋葉山常夜燈鞘堂、小松秋葉大鳥居、小松秋葉常夜燈、天王町東秋葉山常夜燈、山崎の秋葉山常夜燈鞘堂、秋葉街道貴布祢の道標、瑞雲院山門、鐘楼、山住神社神門、山住神社の杉、山住家住宅、春野スギ、大光寺境内、足神社、青崩峠、ホウジ峠の中央構造線、西浦田楽、西浦の念仏踊り、水窪の祇園祭り



図 28 街道と関連する指定等文化財

とうかいどう まつなみき
東海道の松並木（西区舞阪町：市指定史跡）



約 700mに渡り、街道の両側に大小 340 本以上が並ぶ松並木。慶長 9 年（1604 年）江戸幕府の命により街道を整備し、黒松を植えたことに始まる。正徳 2 年（1712 年）には、舞坂宿の東のはずれ見付石垣から馬郡境までの約 920m間に、1,420 本の立木があったといわれている。南側の松並木には、東海道五十三次の各宿場町の銅版が設置され、東海道の面影を良く残している。

いまぎれわた まいさかとせんじょう
今切渡し舞坂渡船場（西区舞阪町：市指定史跡）



舞坂宿西端の浜名湖岸にある今切渡船場跡。明暦 3 年（1657 年）から寛文元年（1661 年）にかけて、長さ 534 間（約 970m）の石垣を築き、北雁木、中雁木、南雁木の 3ヶ所の雁木を設けた。雁木とはスロープ状になっている船着場のことで、地元では「がんげ」と呼んでいる。現在では、3ヶ所の雁木のうち、北雁木の一部が残存しており、解説板と常夜灯が立っている。雁木の幅は 10 間（18m）で石畳が水際まで敷き詰められている。

きゅうまいさかわきほんじん
旧 舞坂脇本陣（西区舞阪町：市指定有形文化財 建造物）



脇本陣は本陣の補助的な施設で、普段は旅籠屋を営んでいるが、本陣の利用が重なった時には本陣の代わりに務めた。舞坂宿の脇本陣は 1 軒で、源馬徳右衛門本陣の向かいに位置する。天保 9 年（1838 年）製作の鬼瓦の存在から、主屋・繋ぎ棟・書院棟で構成される脇本陣は、この頃に建築されたと推定されている。明治 42 年（1909 年）から昭和 13 年（1938 年）までは舞坂町役場として使われ、昭和 34 年（1959 年）からは医院として使われた。東海道では唯一の脇本陣遺構となっている。

ひめかいどう まつなみき
姫街道の松並木（中区葵東三丁目ほか、西区大山町ほか：市指定史跡）



姫街道沿いに残る唯一の松並木。松並木は冬には寒風を防ぎ、夏は日陰となった。「浜松領分絵図」には追分を中心に三方向の姫街道に松並木が記載されている。現在は中区葵東三丁目から西区花川町にかけての約 3.8km に 200 本超の松がある（指定時は約 330 本）。

ほんざかいちりづか
本坂一里塚（北区三ヶ日町本坂：市指定史跡）



江戸から72番目の一里塚。北側の塚は、一部が削られているものの良好な状態で残る。「旧姫街道 一里塚」石碑と説明板が建つ。南側の塚は、大正4年（1915年）の本坂隧道開通に伴う新道建設工事の際に土砂が採られて消滅した。現在の南塚は、平成元年（1989年）に復元されたものである。北側の塚に接した祠には、各所から集められた6体の馬頭観音が祀られる、中央の大きな像は文久3年（1863年）建立。左端は天保4年（1833年）、後藤八百吉建立とある。

あきはじんじゃしんもん
秋葉神社神門（天竜区春野町領家：市指定有形文化財 建造物）



参道の途中にあり、随神門とも呼ばれる。秋葉神社上社を焼失した昭和18年（1943年）の山火事での火災を免れており、天保2年（1831年）の棟札が残る。入母屋造りで江戸時代の建築集団である信州・立川流の作である。下社から坂下集落を經由して山頂に至る参道沿いには、50町に及ぶ「町石」が連続して残り、登山の目印となっている。

かみじましんでんぐみあきはさんじょうやとうきやどう
上島新田組秋葉山常夜灯鞘堂（浜北区上島：市指定有形文化財 建造物）



秋葉山常夜灯鞘堂は竜燈とも呼ばれ、市内には多数知られている。上島新田組秋葉山常夜灯鞘堂は、浜北区上島に明治28年（1895年）ごろ、当地の大工棟梁と永島に住む弟子によって建立された。構造は、屋根が入母屋造、棧瓦葺で、棟には鯨を載せている。南・東・北の3面の下部は樫材の下見張り、上部の連子窓を設け、欄間には樫材の透かし彫りの彫刻をはめ込んでいる。西面のみ下見板及び連子窓の代わりに杉戸を用いて出入口を設けているが、欄間彫刻は他の面と同位置にある。

こまつあきはおおとりい
小松秋葉大鳥居（浜北区小松：市指定有形文化財 建造物）



浜北区小松、浜松宿から北上する秋葉街道沿いにある「二の鳥居」、高さは7.3m、柱間6m、柱回り2.1mの花崗岩製で、文政5年（1822年）5月建立と刻む。石製の鳥居としてはこの地方で最大。「一の鳥居」は浜松宿の東海道と秋葉街道の分岐（田町）にあったが、すでに撤去されている。場所は浜松から二俣に向かう秋葉街道ではほぼ中間地点で、宮口街道との分岐点にあたる。安政の東海地震で一旦倒れたが、建て直されている。

(6) 名 勝

表 33 指定名勝

No.	指定等	名称	所有者	所在地	指定年月日
1	国指定	龍潭寺庭園	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	1936年 9月 3日
2	県指定	浜名湖	静岡県他	西区、北区	1954年 1月 30日
3	県指定	大福寺庭園	大福寺	北区三ヶ日町福長	1977年 3月 18日
4	県指定	摩訶耶寺庭園	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	1977年 3月 18日
5	県指定	長楽寺庭園	長楽寺	北区細江町気賀	1986年 3月 22日
6	県指定	実相寺庭園	実相寺	北区引佐町金指	2008年 11月 11日
7	市指定	龍頭山	静岡県	天竜区春野町豊岡	1966年 12月 26日
8	市指定	新宮池	新宮神社	天竜区春野町和泉平	1966年 12月 26日
9	市指定	樽山の滝	個人	天竜区春野町田河内	1966年 12月 26日
10	市指定	佐鳴湖	静岡県	西区入野町	1967年 8月 17日

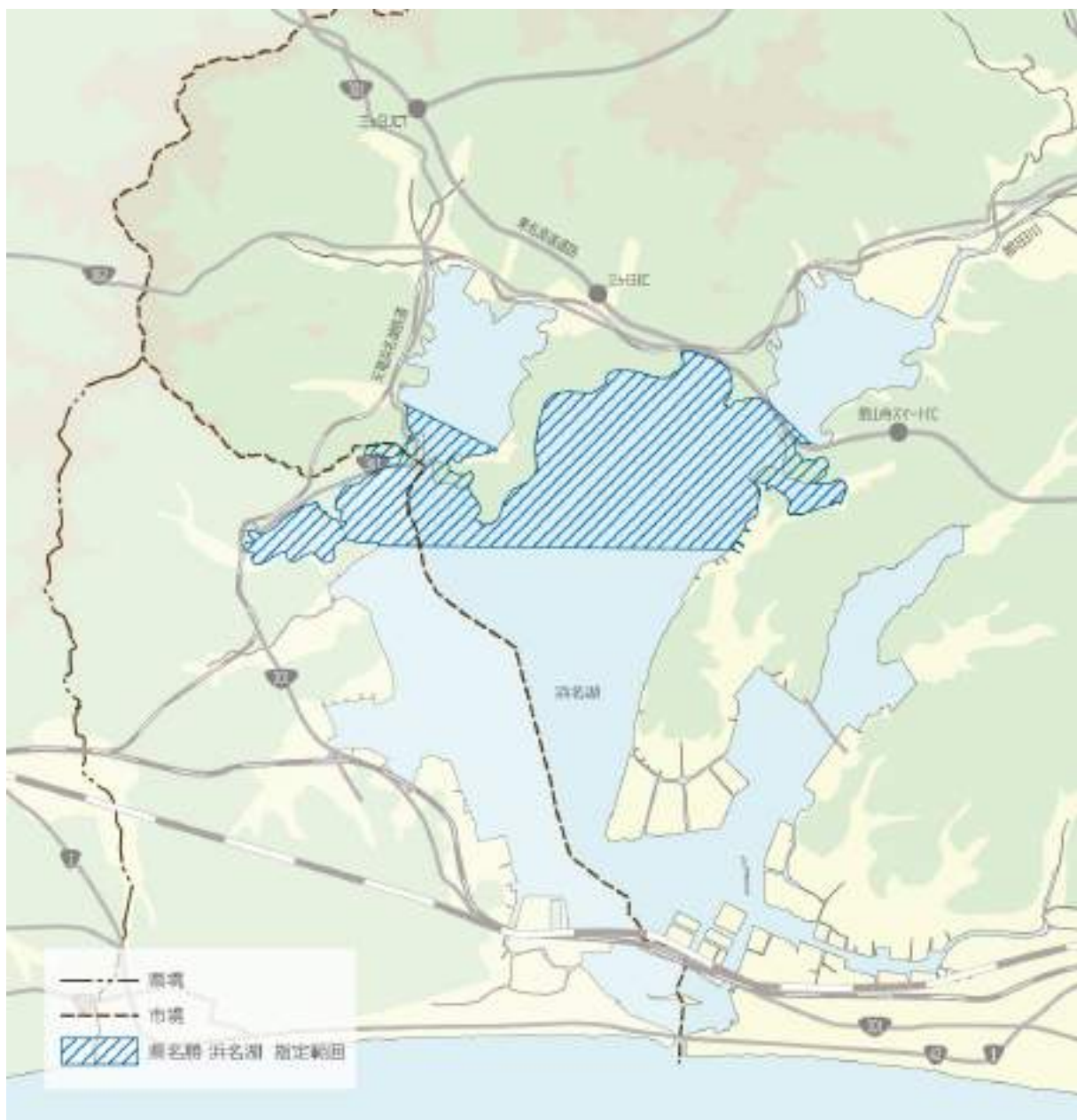


図 29 県指定名勝 浜名湖



図30 指定名勝

りょうたんじ
龍潭寺庭園（北区引佐町井伊谷：国指定名勝）



本堂の北側の丘陵を利用した池泉庭園。築山の手前に東西に細長い池が配置され、山の中央に守護石を置き、その右手(東)に石組で滝を表現し、池に向かって溪谷を造っている。左右に仁王石、正面に礼拝石(坐禅石)が配され、池に沿って変化に富んだ石が組まれている。また築山全体で鶴亀を表現する。江戸時代中期の特色がみられる。本堂北面からの鑑賞のほか、東側の客間からの眺めも意識され、この場合は、庭の最奥に井伊家歴代の位牌を納めた御霊屋が見え、そこに視点が集約するように設計されている。

だいふくじ
大福寺庭園（北区三ヶ日町福長：県指定名勝）



室町時代の築庭と伝わる幅約30m、奥行き約30mの浄土庭園。江戸時代になって、吉田藩(豊橋)の茶頭を勤めた山田宗徧(やまだ そうへん)が元禄期に大福寺に滞留し、回遊式の庭園に改修したという。客殿と書院の西側にあり、背後の山を利用した築山には、阿弥陀三尊を石組によって表し、右手奥に滝組みがある。西方浄土を意識した庭園で、築山の手前の池には中島がないので、浄土までの距離の遠さを思わせる。蓮が広がり、季節には花を咲かせる。橋が2か所、また手前の左右に鶴と亀の出島が設けられている。

まかやじ
摩訶耶寺庭園（北区三ヶ日町摩訶耶：県指定名勝）



摩訶耶寺は平安時代の千手観音立像(重要文化財)を本尊とするなど、古代からの系譜をひく密教寺院だが、現在は大伽藍という景観はもたない。昭和43年(1968)の学術調査で、泥土と草木に埋もれていた池泉鑑賞式庭園が再発見された。築山と石組、中島を配した池からなる。鎌倉時代の手法を踏襲した庭園とされるが、後世の作と見る説もある。寛永9年(1632)に再建された現在の本堂は、この庭園を鑑賞する位置にあたっておらず、客殿跡を含む旧伽藍は、この庭園の西側に展開していたとも伝わる。

ちょうらくじ
長楽寺庭園（北区細江町気賀：県指定名勝）



江戸時代に作庭された池泉回遊式の庭園で、面積は約2000㎡。植栽されているドウダンツツジから『満天星(どうだん)の庭』という別名をもつ。長楽寺はかつて北方の富幕山南腹の光岩の下に本堂があり、不動明王を本尊とした密教寺院である。現在の客殿からこの光岩を借景に自然石と石塔を配しその周辺にツツジを中心に植え込みが高低差を移築して構成されている。植栽に隠れた園路を巡ると、客殿の屋根越しに遠く浜名湖を望むとができる。また池の造りは、浜名湖の風景を凝縮させたものといわれている。

じっそうじ
実相寺庭園（北区引佐町金指：県指定名勝）



実相寺は金指近藤家が寛永5年(1628)に近藤季用の墓所を金指に移して菩提寺とした。庭園は実相寺本堂の東側で、観音堂の北側にあり、南北23m、東西13m。北側に三尊形式の築山を設けた枯山水庭園。本堂が延宝6年(1678年)、観音堂が元禄15年(1702年)に建立とされていることから、伽藍再整備と同時期の17世紀後半に作庭されたと推測される。築山の背後に近藤季用夫妻の塚墓が再建され、これを遥拝の対象とする。さらに後方、東北東に三岳山を借景として取り入れ、奥行きのあるつくりとなっている。

はまなこ
浜名湖（西区、北区：県指定名勝）



都田川下流域の溪谷(入江)が天竜川の砂洲によってふさがれた海跡湖。鎌倉時代までは、浜名川を介して遠州灘に通じていた。近淡海(琵琶湖)に対し遠淡海(浜名湖)と称すように、古代の都人には琵琶湖と相似形の淡水湖として意識され、歌にも詠まれた。15世紀末に連続して起こった地震などにより今切が常態化し、汽水湖となった。周囲114km、面積64.9km²。水面の標高は0m。舘山寺の陸繋島や内浦、大草山、対岸の礪島、大崎半島の汀など、入り組んだ景観を呈する奥浜名湖の一部が静岡県指定名勝である。

さなるこ
佐鳴湖（西区入野町：市指定名勝）



三方原台地南端の小支谷(入江)が砂洲によってふさがれた海跡湖。周囲は5.5km、面積は約1km²。水深は平均2m。水面の標高は0.1m、新川によって浜名湖につながり、若干潮汐の影響を受けている。同様の地形の小支谷である神ヶ谷や大鱸もかつては海跡湖だったと思われるが、陸化し、湖面を残すのはここだけである。浜松城下に近く、早くから有力者や歌人たちの保養先となっていた。入野村の竹村広蔭は、中国・瀟湘八景に倣い、佐鳴八景を選定している。湖面を浜松市の名勝として指定している。

しんぐういけ
新宮池（天竜区春野町和泉平：市指定名勝）



気田川支流・熊切川沿いの高塚山(標高660m)の西側、細長い稜線沿いで標高500mの鞍部にある池。池は鞍部に沿って東西に長く、周囲は約500m、面積は4haほどである。池の南北はすぐ斜面となって麓に下っており、山頂に池があることが不思議である。湖面に移る四季の植物が美しい。畔に新宮神社があり、夏に屋台船を池に浮かべる神事がある。諏訪湖につながる竜神伝説や、桜ヶ池の大蛇伝説とも関連する伝説が残されている。湖面を名勝として指定、旧秋葉街道を結ぶ東海自然歩道が経由している。

(7) 天然記念物

表 34 指定天然記念物

No.	指定等	名称	所有者	所在地	指定年月日
1	国指定	北浜の大カヤノキ	個人	浜北区本沢合	1954年 3月 20日
2	国指定	京丸のアカヤシオ及びシロヤシオ群生地	国	天竜区春野町小俣京丸	1974年 11月 26日
3	県指定	雲立のクス	浜松八幡宮	中区八幡町	1952年 4月 1日
4	県指定	法橋のマツ	妙恩寺	東区天竜川町	1952年 4月 1日
5	県指定	テングアイヤク群落地	細江神社	北区細江町気賀	1952年 4月 1日
6	県指定	将軍スギ	武速神社	天竜区横川	1952年 4月 1日
7	県指定	春野スギ	大光寺	天竜区春野町花島	1952年 4月 1日
8	県指定	笹ヶ瀬隕石	増福寺	中区北寺島町	1955年 4月 19日
9	県指定	シブカワツツジ群落	浜松市・個人	北区引佐町渋川	1958年 9月 2日
10	県指定	鶴代のマンサク群落	個人	北区三ヶ日町鶴代, 下尾奈	1971年 8月 3日
11	県指定	水窪小学校のイチイガシ	浜松市	天竜区水窪町奥領家	1971年 8月 3日
12	県指定	山住神社のスギ	山住神社	天竜区水窪町山住	1971年 8月 3日
13	県指定	龍山のホソバシヤクナゲ群落	国	天竜区龍山町瀬尻	1974年 4月 18日
14	県指定	浦川のホソバシヤクナゲ群落	個人	天竜区佐久間町浦川	1974年 4月 18日
15	県指定	米沢諏訪神社のイチイガシ	諏訪神社	天竜区米沢	1990年 3月 20日
16	県指定	柴のタブノキ	個人	天竜区熊	1993年 3月 26日
17	県指定	ホウジ峠の中央構造線	個人	天竜区佐久間町佐久間, 奥領家	1994年 3月 25日
18	市指定	鴨江の根上がりマツ	浜松市	中区鴨江三丁目	1959年 6月 18日
19	市指定	妙相寺のイヌマキ	妙相寺	西区志都呂町	1959年 12月 19日
20	市指定	入野八幡神社のクス	入野八幡神社	西区入野町	1959年 12月 19日
21	市指定	栄秀寺のイチョウ	栄秀寺	中区領家二丁目	1962年 10月 1日
22	市指定	西伝寺のイブキ	西伝寺	南区西伝寺町	1962年 10月 1日
23	市指定	気賀陣屋跡の江戸シイ	浜松市	北区細江町気賀	1966年 1月 27日
24	市指定	秋葉神社社叢	秋葉神社	天竜区春野町領家	1966年 12月 26日
25	市指定	渋川のボダイジュ	個人	北区引佐町渋川	1968年 2月 28日
26	市指定	渋川のイチョウ	東光院	北区引佐町渋川	1968年 3月 1日
27	市指定	三島のイヌマキ	個人	南区三島町	1973年 9月 11日
28	市指定	細江神社のクス	細江神社	北区細江町気賀	1974年 5月 1日
29	市指定	新原の大マキ	個人	浜北区新原	1974年 11月 20日
30	市指定	瀬尻のアカヤシオ群落	個人	天竜区龍山町瀬尻	1976年 2月 1日
31	市指定	花島のカヤ	個人	天竜区春野町花島	1976年 3月 13日
32	市指定	ピンカ峠のイヌツゲ	個人	天竜区春野町川上	1976年 3月 13日
33	市指定	郷島のイヌツゲ	個人	天竜区春野町気田	1977年 3月 9日
34	市指定	金指のイヌマキ	個人	北区引佐町金指	1977年 4月 19日
35	市指定	方広寺の半僧スギ	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 19日
36	市指定	西気賀のマンサク群落	個人	北区細江町気賀	1978年 6月 16日
37	市指定	二宮神社のホルトノキ	二宮神社	北区細江町気賀	1978年 6月 16日
38	市指定	二宮神社のナギ	二宮神社	北区細江町気賀	1978年 6月 16日
39	市指定	伊目のノウゼンカズラ	個人	北区細江町気賀	1978年 6月 16日
40	市指定	気賀のイヌマキ	個人	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
41	市指定	屯倉水神社の大スギ	屯倉水神社	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
42	市指定	伊目のナンテン	個人	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
43	市指定	気賀のハゼノキ	浜松市	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
44	市指定	宇布見のイヌマキ	個人	西区雄踏町宇布見	1980年 3月 17日
45	市指定	宝林寺のエンコウスギ	宝林寺	北区細江町中川	1981年 1月 1日
46	市指定	高瀬のニッケイ	個人	天竜区春野町宮川	1982年 3月 31日
47	市指定	瑞雲院のイヌマキ	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1982年 3月 31日
48	市指定	南宮神社のイチイガシ	南宮神社	天竜区春野町気田	1982年 3月 31日
49	市指定	三田島のイチョウ	個人	天竜区春野町長蔵寺	1982年 3月 31日
50	市指定	白山神社のクス	岩水寺	浜北区根堅	1986年 6月 4日
51	市指定	渡ヶ島諏訪神社社叢	渡ヶ島諏訪神社	天竜区渡ヶ島	1987年 9月 21日
52	市指定	船明の二本スギ	船明自治会	天竜区船明	1987年 9月 21日
53	市指定	ギフチョウ	—	北区引佐町、天竜区神沢	1990年 2月 27日
54	市指定	奥山のムクノキ	個人	北区引佐町奥山	1990年 3月 1日
55	市指定	浜松海岸のアカウミガメ及びその産卵地	国	南区, 西区	1990年 3月 10日
56	市指定	玉洞寺のサザンカ	玉洞寺	北区三ヶ日町上尾奈	1996年 4月 19日
57	市指定	峯のタブノキ	個人	天竜区佐久間町佐久間	2000年 6月 19日
58	市指定	吉沢のスギ	個人	天竜区佐久間町浦川	2002年 7月 19日
59	市指定	馬背神社のスギ	馬背神社	天竜区佐久間町佐久間	2002年 7月 19日
60	市指定	明光寺のカヤ	明光寺	天竜区佐久間町大井	2002年 7月 19日
61	市指定	相月諏訪神社のスギ	相月諏訪神社	天竜区佐久間町相月	2002年 7月 19日
62	市指定	気賀のタチバナ	個人	北区細江町気賀	2004年 3月 15日

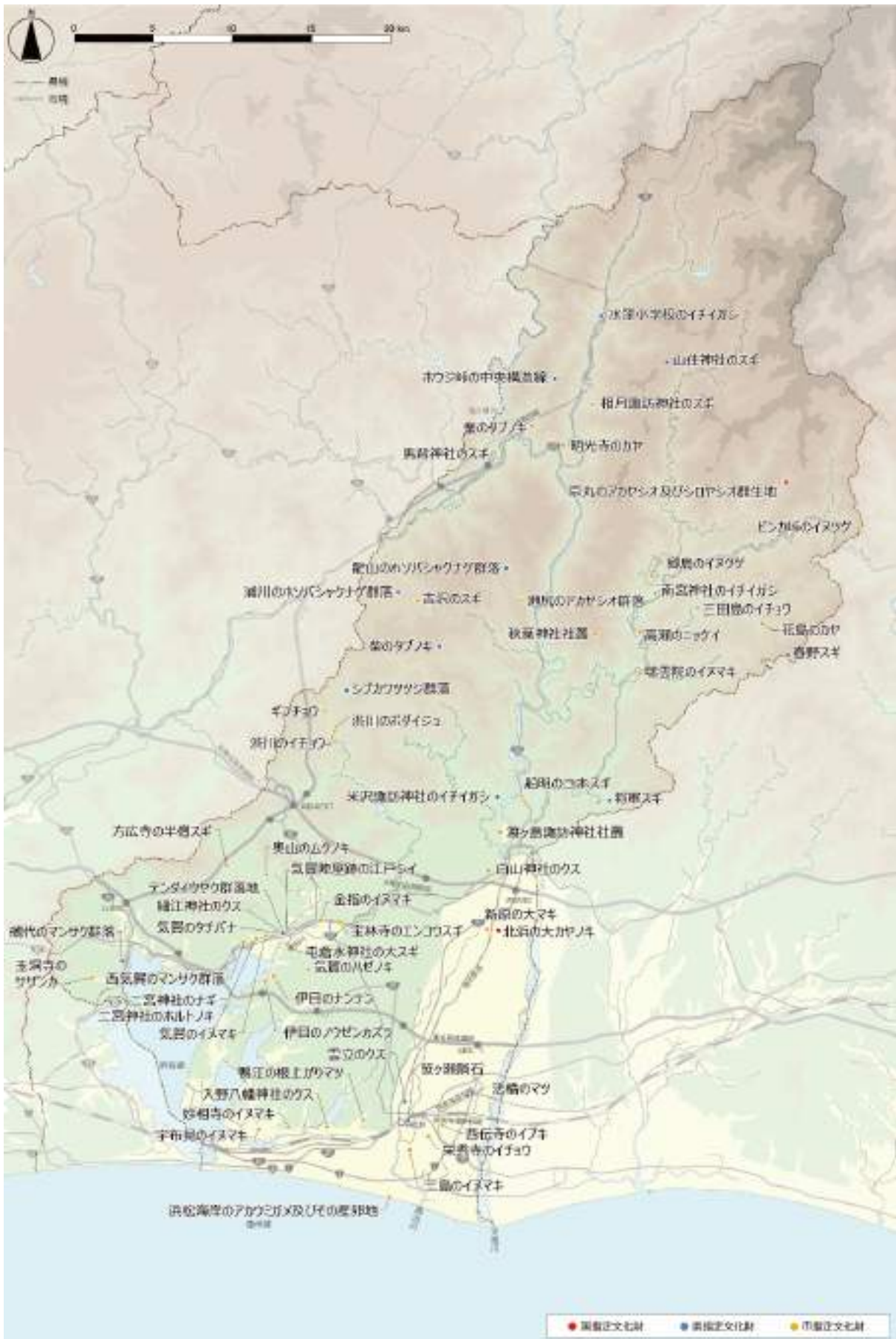


図 31 指定天然記念物

きたはま おお
北浜の大カヤノキ（浜北区本沢合：国指定天然記念物）



高さ2.9mより南に枝が分かれている。カヤノキでは日本有数。カヤノキは宮城県以南～四国～九州に生育し、樹皮はなめらかで灰色。若枝は緑だが、のちに赤褐色になる。小枝は3つに分かれ、葉はつやがあり、長さ2～3cmでねじれた枝に左右2列につく。用途は庭木・公園樹として植えられ、種子はカヤノ実と呼ばれ、食用・油用とし、腸内の寄生虫駆除・夜尿症に薬効がある。材は高級碁盤・将棋盤・建築・器具・彫刻などに用いられる。

きょうまる
京丸のアカヤシオおよびシロヤシオ群生地（天竜区春野町小俣京丸：国指定天然記念物）



天竜区春野町小俣京丸の岩岳山の山頂付近に自生している。アカヤシオは、関東・中部・近畿、九州の一部に分布するツツジの一種で、淡桃色の大型の美しい花をつける。シロヤシオは、本州・四国に分布する白色のツツジ。群生地の岩岳山周辺には、この両種がブナ・ヒメシャラ・モミ・ツガ・ハリモミの原生林の中に部分的に純林をなし、アカヤシオおよびシロヤシオの自生地として学術上貴重とされている。

くもたち
雲立のクス（中区八幡町：市指定天然記念物）



徳川家康が祈願所とし、武運長久を祈ったと伝えられている中区八幡町にある浜松八幡宮境内の御神木。樹齢1000年を超える楠の巨樹で、根回り約15m。枝張り四方約25m、樹高約15m、幹の下部には大きな空洞がある。徳川家康が武田信玄との戦い（三方ヶ原の合戦）に敗れ武田軍に追われた際、洞穴に潜んだ際に、瑞雲が立ち上ったとの故事により「雲立のクス」称されるようになった。

はるの
春野スギ（天竜区春野町花島：県指定天然記念物）



僧行基が開山したと伝えられる春埜山883mの山頂、大光寺境内にあり、開山記念に植えられたと言われる目通り14m、高さ43m、樹齢約1300年と推定される杉の大木。長い歳月の風雪に耐えたその威容は、王者の風格ともいえる。

シブカワツツジ群落（北区引佐町渋川：県指定天然記念物）



北区引佐町渋川の渋川つつじ公園内に群生するシブカワツツジはミヤマツツジの仲間で、葉は3枚、花も同様に3輪ずつ開花。背丈は3mに達し、濃いピンク色の花を咲かせる。蛇紋岩という岩石を含んだ地帯にのみ自生する分布範囲の狭い貴重な植物で、環境省のレッドデータブックに絶滅危惧Ⅱ類（VU）絶滅の危険が増大している種として登録されている。群落のある公園内には、約4000本が野生で群生している。

ホウジ峠の中央構造線ちゅうおうこうぞうせん（天竜区佐久間町佐久間・奥領家：県指定天然記念物）



中央構造線は西南日本を外帯と内帯に二分する日本最大の断層で、総延長800kmに及ぶ。天竜区佐久間町佐久間と同奥領家にまたがるホウジ峠はその中央構造線の擾乱帯上にあるとともに、断層に沿う直線状の谷や大断層の特徴を示すケルンコルとケルンバットが明瞭に展望できる。

浜松海岸のアカウミガメ及びその産卵地（南区・西区：市指定天然記念物）



アカウミガメは体長1mくらいの赤褐色をした雑食性のカメで、5月下旬から8月下旬にかけて南区と西区にまたがる遠州灘の砂浜に産卵にやって来る。ひとけがなくなる夜10時頃から翌朝3時くらいまでの間に上陸し、約40gの卵を100～150個ほど産卵する。

ギフチョウ（県指定天然記念物）



ギフチョウ（学名 *Luehdorfia japonica*）は、環境省作成のレッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）に掲載される日本の固有種の蝶である。ギフチョウの生息には幼虫が餌にするヒメカンアオイの自生が必要とされる。浜松市域では、北区引佐町と天竜区神沢にまたがる「枯山」（標高548m）が、静岡県内では数少ないギフチョウの生息地として知られている。この地域においてギフチョウが羽ばたくのは、3月中旬から4月初旬を中心とした時期である。

(8) 近代化・産業遺産

表 35 指定等近代化・産業遺産

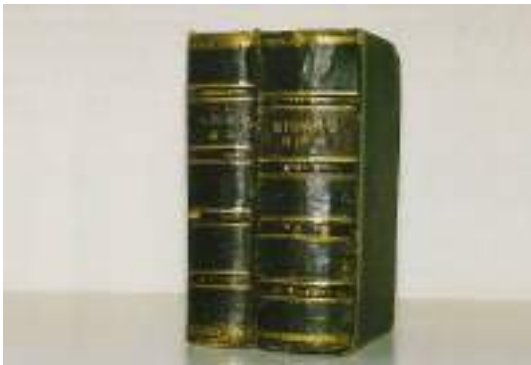
No.	指定等	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	県指定	有形	建造物	旧王子製紙製品倉庫	浜松市	天竜区春野町気田	1977年 3月 18日
2	市指定	有形	建造物	静岡銀行浜松営業部本館(旧遠州銀行本店)	静岡銀行	中区田町	2005年 12月 20日
3	市指定	有形	建造物	旧浜松銀行協会	浜松市	中区栄町	2009年 3月 2日
4	市指定	有形	歴史資料	七科約説	浜松市	中区松城町	1970年 7月 20日
5	市指定	記念物	史跡	米津台場	国	南区新橋町	1959年 6月 18日
10	国登録	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道機関車転車台 ほか26件	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵	1998年 12月 11日
11	国登録	有形	建造物	凱旋記念門	六所神社	北区引佐町渋川	2002年 2月 12日
12	国登録	有形	建造物	旧二俣町役場	浜松市	天竜区二俣町二俣	2003年 1月 31日
36	国登録	有形	建造物	旧住吉浄水場ポンプ室 ほか5件	浜松市	中区住吉五丁目	2012年 2月 23日
41	国登録	有形	建造物	旧常光水源地ポンプ室	浜松市	東区常光町	2012年 2月 23日
42	国登録	有形	建造物	旧気多村立勝坂小学校校舎	勝坂自治会	天竜区春野町豊岡	2016年 2月 25日
43	市認定	有形	建造物	村越家石蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
44	市認定	有形	建造物	高橋本家石蔵・土蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
45	市認定	有形	建造物	大塚家石蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
46	市認定	有形	建造物	井熊家石蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
47	市認定	有形	建造物	高橋家石蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
48	市認定	有形	建造物	和田家石蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
49	市認定	有形	建造物	旧順誠堂齋藤医院	個人	天竜区船明	2017年 3月 22日
50	市認定	有形	建造物	旧石神小学校校舎	浜松市	天竜区石神	2017年 3月 22日
51	市認定	有形	建造物	誠忠碑	浜松市	中区利町	2018年 3月 22日
52	市認定	有形	建造物	旧浜松市鴨江別館	浜松市	中区鴨江町	2018年 3月 22日
53	市認定	有形	建造物	道本中村家の石蔵	個人	浜北区道本	2018年 3月 22日
54	市認定	有形	建造物	マルカワの蔵	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
55	市認定	有形	建造物	旧鎌田屋商店	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
56	市認定	有形	建造物	明治乳業天竜営業所	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
57	市認定	有形	建造物	二俣医院 ほか1件	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
59	市認定	有形	建造物	旧米徳酒店	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
60	市認定	有形	建造物	旧陣屋旅館	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
61	市認定	有形	建造物	鈴木徳十商店の蔵	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
62	市認定	有形	建造物	藤屋醤油店	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
63	市認定	有形	建造物	旧和田医院の蔵	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
64	市認定	有形	彫刻	旧熊切小学校木造校舎玄関彫刻	浜松市	天竜区春野町宮川	2018年 3月 22日
65	市認定	有形	歴史資料	気多森林鉄道関係資料	浜松市	天竜区春野町宮川	2017年 3月 22日
66	市認定	有形	歴史資料	旧鎌田屋商店のガソリン計量器	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
67	市認定	有形	歴史資料	出征兵士歓送迎台	春野地区自治会連合会	天竜区春野町長蔵寺	2018年 3月 22日
68	市認定	有形	歴史資料	小沢義助像台座	浜松市	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
69	市認定	有形	歴史資料	下阿多古の消防手曳ガソリンポンプ	浜松市	天竜区二俣町	2018年 3月 22日
70	市認定	有形	歴史資料	旧元城尋常小学校校長像台座	浜松市	中区元城町	2019年 3月 15日
71	市認定	有形	歴史資料	熊市場の時計台台座	市場自治会	天竜区熊	2019年 3月 15日
72	市認定	有形	歴史資料	曳馬坂拡張記念碑	浜松市	中区高町	2020年 3月 27日
73	市認定	有形	歴史資料	小山みい頌徳灯籠	蒲神明宮	東区神立町	2020年 3月 27日
74	市認定	有形	歴史資料	福長浅雄建立謝恩の碑	個人	南区大塚町	2020年 3月 27日
75	市認定	有形	歴史資料	九勇士の碑	報恩寺	浜北区宮口	2020年 3月 27日
76	市認定	記念物	史跡	舟岡山のトーチカ	桜井製作所	東区半田町	2017年 3月 22日
77	市認定	記念物	史跡	中ノ町村道路元標	—	東区中野町	2017年 3月 22日
78	市認定	記念物	史跡	尾野の塹壕	高根神社	浜北区尾野	2019年 3月 15日
79	市認定	記念物	史跡	二光の滝	—	天竜区二俣町二俣・山東	2020年 3月 27日
80	市認定	その他	近代化遺産	満州道路	浜松市	北区豊岡町	2017年 3月 22日
81	市認定	その他	近代化遺産	光明電鉄阿蔵トンネル	栄林寺	天竜区二俣町二俣	2017年 3月 22日
82	市認定	その他	近代化遺産	光明電鉄二俣口駅ホーム跡	浜松市	天竜区二俣町阿蔵	2017年 3月 22日
83	市認定	その他	近代化遺産	鳥羽山洞門	浜松市	天竜区二俣町	2018年 3月 22日
84	市認定	その他	近代化遺産	旧太田製作所のトロック軌道跡	個人	天竜区二俣町二俣	2020年 3月 27日

よねづだいば
米津台場（南区新橋町：市指定史跡）



江戸時代末、外国船が日本の沿岸に出没するようになり、幕府は全国の諸大名に沿岸の警備を命じた。浜松藩主井上正直は、遠州灘沿岸・米津付近の砂丘上に三か所の砲台（台場）を建設した。現在は東西中央三か所のうち、中央の台場のみが残っている。『浜名郡誌』の記載から換算すると、高さ27m、周囲72mで海岸に面した部分は石積で、鋭角に建設されたという。台上には大砲が備えられて藩士が警備にあたった。当時使用していた石製砲弾が、浜松市立新津小學校に保存されている。

しちかやくせつ
七科約説（中区松城町：市指定有形文化財 歴史資料）



明治7年に浜松医學校が開校すると、西洋医学を学ぶ学生のために、『医学大鑑』を全翻訳して明治12年に出版した。翻訳者は浜松医學校の校長・太田用成と同教官・柴田邵平、虎岩武で、市内の開明堂・鞍智逸平が印刷・製本している。七科とは、解剖科、生理科、化学科、薬物科、内科、外科、産科をさす。日本で初めての西洋医学書であり、全国の医師志望者が入手して勉強したという。日本の近代医学の発展に与えた影響は大きかった。

しずおかぎんこうはままつえいぎょうぶ きゅうえんしゅうぎんこうほんてん
静岡銀行浜松営業部<旧遠州銀行本店>（中区田町：市指定有形文化財 建造物）



昭和3年（1928年）に、遠州銀行本店として竣工した。当時は静岡県内で初めての鉄筋コンクリート造りで、天王村（現東区天王町）出身の建築家・中村興資平が設計した。中村が手掛けた建物としては、他に静岡県庁本館や静岡市役所、豊橋市公会堂なども現存する。

空襲の激しかった浜松市中心街地は、戦前の建造物がほとんど残っていないが、旧浜松銀行協会（昭和5年、浜松市指定文化財、中村興資平の設計）、旧鴨江警察署（昭和3年、浜松市認定文化財）などが保存・活用されている。

きゅうすみよしじょうすいじょう
旧住吉浄水場ポンプ室ほか（中区住吉五丁目、東区常光町：国登録有形文化財 建造物）



かつて、井戸水などにたよっていた当時の浜松市が、都市化の進展と繊維・染色産業などの工業化によって、大正14年に上水道の建設を議決し、昭和6年（1931年）に完成した一連の施設。常光水源地のポンプ室から、住吉の着水井から配水池、ポンプ室まで一連の施設が保存されている。計画給水人口は13万人だった。地方都市の近代化をささえた一連の構造物である。大原浄水場の完成によって昭和40年代に役目を終えたが、国の登録文化財として市上下水道部敷地内に保存されている。

てんりゅうはまなこてつどうふたまたえきしや

天竜浜名湖鉄道二俣駅舎ほか（天竜区、浜北区、北区：国登録有形文化財 建造物）



昭和15年（1940年）に国鉄二俣線として開通した。昭和62年に国鉄から第三セクターに移行した。東海道線掛川駅から新所原駅まで路線は68km。東海道線が天竜川や浜名湖を長い橋梁で渡ることから、戦時のう回路としての意味を持った。鉄道省通達による戦前の標準的・企画的な鉄道施設の姿をよくとどめる。全線で36の施設（市内は22施設）が国の登録文化財。そのうち、神田隧道（磐田市）は昭和11年に廃線となった光明電鉄のトンネルを再利用している。光明電鉄の二俣地域に残る施設は浜松市認定文化財。

ふなおかやま

舟岡山のトーチカ（東区半田町：市認定文化財 建造物）



第二次世界大戦の末期、連合軍の天竜川河口付近への上陸を想定し、日本軍が建設した本土防衛のための施設である。トーチカは丘陵端部に幅約4mのコンクリートで半円形に作られ、水平方向に細長い銃眼が開く。半地下式だが、現在は大部分が土砂に埋没している。東区中郡町の鈴木家住宅の敷地にも同様のトーチカが現存する。市内には、塹壕や掩体また防空壕が各所に設けられたが、そのほとんどは失われた。北区豊岡町には、旧三方原飛行場の飛行機用掩体壕が民有地に残っている。

きゅうけたそんりつかつさかしやうがっこうこうしや

旧気多村立勝坂小学校校舎（天竜区春野町豊岡：国登録有形文化財 建造物）



勝坂小学校は、明治38年（1905年）5月に豊岡尋常小学校の勝坂分教場として創立した。昭和31年（1956年）、地元の人々が中心となって建設した木造2階建ての校舎。昭和43年（1968年）に廃校となったが、彩色等は当時のまま。今でも勝坂公民館、あるいは浜松市指定無形民俗文化財・勝坂神楽奉納時の仕度所として利用されている。

市内にはほかに木造校舎として旧石神小学校が現存する。また山東小門柱、熊切小欄間彫刻（いずれも天竜区）、旧元城小（中区）の銅像台座などを地域が継承している。

きくま

佐久間ダム（天竜区佐久間町：未指定）



昭和31年（1956年）に完成した、水力で最大35万キロワットを発電するダム。戦後日本の高度成長をささえるとともに、高さ155m、幅293mの巨大建造物を完成させた技術が、首都圏をはじめとする高層ビルの建設につながった。隣接して電力館が公開されている。その後、天竜川中流域には、秋葉ダムや豊根ダム、水窪ダムなどが建設された。

昭和32年（1957年）には、ダム建設の殉職者を慰霊するため、龍神の舞（市認定文化財）が始まった。水没した山室集落は豊橋市内に移住し、花の舞を継承している。

(9) 埋蔵文化財

表 36 1999 年以降に発掘調査した埋蔵文化財

No.	名称	区	主な時代	概要
1	築地遺跡	西区	縄文	縄文時代の集落
2	東前遺跡	西区	弥生～古代	集落遺跡
3	舞阪町天白遺跡	西区	弥生・古代	集落遺跡
4	坊ヶ跡遺跡	西区	古墳～中世	集落遺跡、旧花学院関連遺跡
5	篠原町仲村遺跡	西区	古代～中世	集落遺跡
6	滝沢鍾乳洞遺跡	北区	縄文	岩陰遺跡
7	川山遺跡	北区	縄文	石器生産集落
8	都田山十六遺跡	北区	縄文・古代	集落遺跡
9	殿畑遺跡	北区	縄文・中世	集落遺跡
10	岡の平遺跡	北区	弥生～古代	集落遺跡、祭祀遺跡
11	井通遺跡	北区	弥生～古代	古代引佐郡家関連遺跡(郡津等)
12	狐塚古墳	北区	古墳	方墳
13	郷ヶ平古墳群	北区	古墳	前方後円墳3基を含む初期群集墳
14	天白遺跡	北区	古墳	集落遺跡
15	石岡遺跡・南屋敷遺跡	北区	古墳	集落遺跡
16	須部Ⅱ遺跡	北区	古墳～中世	集落遺跡(古墳時代渡来系文物出土)
17	北神宮寺遺跡	北区	弥生～中世	集落遺跡
18	矢畑遺跡	北区	弥生～中世	集落遺跡
19	楠木遺跡	北区	古代	古代寺院か
20	村上遺跡	北区	古代	集落遺跡
21	大居城跡	天竜区	中世	中世城郭
22	堀之内城山城跡	天竜区	中世	中世城郭
23	鳥羽山城跡	天竜区	中世・近世	中・近世城郭(織豊系城郭)
24	二俣城跡	天竜区	中世・近世	中・近世城郭(織豊系城郭)
25	篠場瓦窯	浜北区	古代	瓦陶兼業窯
26	宮口の窯跡群	浜北区	古代	灰釉陶器窯
27	稲荷山古墳・山の神古墳	浜北区	古墳	古墳
28	二本ヶ谷積石塚群	浜北区	古墳	積石塚群
29	大屋敷古墳群	浜北区	古墳	終末期群集墳
30	中通遺跡	浜北区	縄文・中世	集落遺跡
31	東原遺跡・芝本遺跡	浜北区	弥生	拠点集落
32	中屋遺跡	浜北区	中世	中世寺院か
33	大平城跡	浜北区	中世	中世城郭
34	伊場遺跡群	中区 南区	弥生～中世	弥生時代拠点集落、古代敷知郡家 伊場遺跡、城山遺跡、梶子遺跡、梶子北遺跡、鳥居松遺跡等
35	四ツ池古墳群	中区	古墳	後期群集墳
36	住吉南古墳	中区	古墳	円墳
37	浜松城下町遺跡	中区	古代～近世	集落遺跡・城下町遺跡
38	浜松城跡	中区	中世・近世	中・近世城郭
39	田見合遺跡	東区	弥生	拠点集落(環濠集落)か
40	将監名遺跡	東区	弥生	拠点集落
41	別所前遺跡	東区	弥生	集落遺跡
42	永田遺跡群	東区	弥生～中世	弥生時代拠点集落、古代長田(上)郡家 大瀬町村東遺跡、木船塚寺跡、松東遺跡、森西遺跡、山の神遺跡、宮竹野原遺跡
43	有玉古窯	東区	古墳	浜松市で確認されている最古の須恵器窯
44	半田山古墳群	東区	古墳	後期群集墳
45	恒武遺跡群	東区	古墳～中世	古墳時代・古代の地域拠点集落遺跡 恒武西宮遺跡、恒武西浦遺跡、山ノ花遺跡、杜口遺跡、笠井遺跡、笠井西浦遺跡等
46	東畑屋遺跡	東区	古代～中世	集落遺跡
47	上新屋遺跡	東区	古代～中世	集落遺跡
48	中田北遺跡	東区	古代～中世	奈良時代集落・中世屋敷地
49	万斛西遺跡	東区	古代～近世	集落遺跡・近世庄屋
50	高塚遺跡	南区	縄文・古代～中世	集落遺跡
51	上組遺跡	南区	古代・中世	集落遺跡
52	伝松下屋敷跡	南区	古代～中世	集落遺跡、中・近世屋敷地



図 34 1999 年以降に発掘調査した主な埋蔵文化財

まいさかちょうてんぱく

舞阪町天白遺跡（西区舞阪町）



浜名湖南東部の西区舞阪町の砂丘上に展開する弥生時代から鎌倉時代にかけて継続した集落遺跡である。

飛鳥時代から奈良時代を中心とした時期の調査成果が充実しており、古代東海道の整備を画期として発展した集落と捉えられる。カマドを持つ竪穴建物や掘立柱建物が数多く検出されている。陶馬や革袋形や勾玉形の土製品が出土し、祭祀が執り行われていたとみられる。また、多様な形態をした土錘が数多く出土し、漁業との関連が指摘されている。

ぼうがいと

坊ヶ跡遺跡（西区西鴨江町）



西区西鴨江町の台地上に所在する弥生時代や鎌倉時代を中心とした時期の遺跡である。弥生時代終末期には竪穴建物が 120 軒以上確認され、東側に隣接する中平遺跡と合わせると 280 軒を超える大規模な集落遺跡であった。武器や祭儀用の用いられたとされる特殊な石器（環状石斧）が出土している。また、鎌倉時代の建物跡や祭儀に用いる子持器台がみられ、坊ヶ跡遺跡の北隣に存在した古刹・花学院に関連した僧坊などの施設が展開していた可能性がうかがえる。

いどおり

井通遺跡（北区細江町三和）



北区細江町に所在する古墳時代中期から中世の複合遺跡である。水上交通と陸上交通の結節点に立地する。古墳時代中期以降、大規模な集落が造成され、地域拠点に発展する。奈良時代から平安時代初期にかけて引佐郡家に関連する施設が整備され、かつての井伊谷川に沿って郡津や倉庫群が整備された。陶硯や陶製計量器、分銅などが出土し、集積・管理・保管を行う施設があったと捉えられる。また、「引佐」等と記された墨書土器が多く出土し、「引佐」という名称が古代から用いられていたことが分かる。

きたじんぐうじ

北神宮寺遺跡（北区神宮寺町）



井伊谷盆地の北西部にある段丘上に展開する旧石器時代から近世まで断続的に継続する遺跡である。古墳時代前期に集落規模が拡大し、建物や方形周溝墓が数多く造営された。集落の充実と同時期には井伊谷盆地北東部の丘陵上に浜松市域最古の大型古墳である北岡大塚古墳が築造されており、関係がうかがえる。また、中世以降の街区が検出され、当時の街並みをうかがい知ることができる。貿易陶磁器や短刀などが出土しており、地域拠点のひとつであったことがわかる。

くすぎ
楠木遺跡（北区三ヶ日町岡本）



北区三ヶ日町岡本の段丘上に位置し、近傍には式内社英多神社を前身とする浜名惣社神明宮や伊勢神宮に神御布を納めた初生衣神社などの宗教施設が集中する。

楠木遺跡からは奈良時代の瓦が豊富に出土しているが、瓦が葺かれた建物の位置等は不明である。蓮華文軒丸瓦や簾状文軒平瓦・小花文軒平瓦といった三河地方の特徴を持つ瓦が出土している。楠木遺跡は遠江と三河の境界部分にあたり、造瓦技術は三河との交流の中でもたらされたものといえる。

ひがしばら しばもと
東原・芝本遺跡群（浜北区新原ほか）



浜北区新原から芝本の低位段丘上に展開する弥生時代中期から後期を中心とした時期の集落遺跡である。これまでに、竪穴建物が200軒ほど確認されている。また、段丘の縁辺部では方形周溝墓が数多く築造されている。大量の弥生土器が出土し、天竜川西岸の特徴を持つものと天竜川東岸の特徴を持つもの、両方の特徴を持つものがみられる。天竜川を挟んだ対岸地域との交流拠点のひとつであったと考えられる。弥生時代の集落景観を知ることができる遺跡である。

しのぼがようあと
篠場瓦窯跡（浜北区根堅）



浜北区根堅に構築された3基の窯跡である。いずれの窯も瓦を主体としつつ、少量の須恵器を焼成する瓦陶兼業窯である。1号窯からは県内初の環状瓶が出土した。7世紀末から8世紀初頭にかけて操業した県内でも初期の瓦窯である。篠場瓦窯で生産された瓦の供給先は不明だが、同范の軒丸瓦が磐田市の大宝院廃寺から出土している。范のみが移動し、大宝院廃寺に付属する瓦窯で造られたものと捉えられている。県内の古代瓦生産に影響を与えた瓦窯跡である。

みやぐち かまあとぐん
宮口の窯跡群（浜北区宮口）



浜北区宮口の丘陵斜面に造営された灰釉陶器の窯である。9世紀以降、数多くの灰釉陶器窯が浜北の地に構築され、大生産地に成長した。開発により失われた窯跡もあるが、森林内には灰釉陶器が大量に散布する地点がみられ、窯跡の残存が想定される地点もある。大屋敷窯跡群や吉名窯跡群など浜北に築かれた灰釉陶器窯の製品は、地元のみならず、関東の地方官衙や在地有力者の居館などにも流通している。平安時代の産業や流通をうかがい知るうえで重要な遺跡である。

なかや
中屋遺跡（浜北区根堅）



浜北区根堅の段丘上に築かれた古代から近世にかけての複合遺跡である。鎌倉時代を中心とした時期に整備された幅約4m・深さ約2mの堀が四方を囲む。堀の内側に土塁がめぐらされた東西160m、南北210mの敷地内では、瓦が一定量出土しており、寺院等の宗教施設と捉えられる。この区画の東側で確認された旧河川では護岸工事が行われ、護岸設備の内側から瓜文螺鈿鞍や呪符木簡が出土した。護岸工事に先立ち祭祀が行われたことがうかがえる。

いば
伊場遺跡群（中区南伊場町、南区東若林町ほか）



伊場遺跡や梶子遺跡、鳥居松遺跡など8遺跡を総称して伊場遺跡群とする。

伊場遺跡群では、弥生時代中期から後期に環濠を伴う拠点集落が造営された。古墳時代中期に再開発が行われ、古代には敷知郡家が整備された。

伊場遺跡群の調査成果は、地域の歴史を明らかにするために不可欠な情報であるとともに、地方官衙や古代地方出土木簡の研究の出発点になった学史的にも極めて重要な遺跡である。

しょうげんみょう
将監名遺跡（東区将監町）



東区将監町の微高地に立地する弥生時代中期から後期を中心とした遺跡である。弥生時代中期の将監名遺跡は、環濠を備えていること、大量の土器が出土し、地元の土器に加え、東遠江や三河、尾張の土器が含まれていること、鳥形土器や銅鐸の石製舌、有孔磨製石剣、独鈷石などの特殊遺物が出土することから拠点集落であったと捉えられる。弥生時代後期には、方形周溝墓多く構築されており、集落域から墓域へと変化したことがうかがえる。

つねたけ
恒武遺跡群（東区恒武町ほか）



東区恒武町の微高地に展開する弥生時代から近世にかけて継続する遺跡である。とくに、古墳時代初頭から遺跡の密度が高まる。恒武西宮遺跡では大型の方形周溝墓が発見され、葬儀に用いられた器物には静岡・清水地域との関係がうかがえるものもある。山ノ花遺跡や恒武西浦遺跡では古墳時代中期に川岸で木製や石製の祭祀具、初期須恵器や陶質土器などを用いた儀式が行われた。古墳時代の地域情勢の変化をうかがい知るうえで非常に重要な遺跡である。

ありたまこよう

有玉古窯跡（東区半田山二丁目）



東区半田山二丁目の丘陵斜面に所在する古墳時代後期の須恵器窯である。発掘調査により、斜面をトンネル状に掘削して構築された窯本体が良好な状態で残存していることが明らかになった。有玉窯では、食器のほかに、貯蔵具や祭儀に用いる器台、陶製の棺が生産された。有玉窯の製品は、周辺の古墳や集落で数多く出土している。窯前面の灰原には大量の失敗品が埋もれており、約 50 年間にわたり須恵器を生産していたことが判明した。

まんごくにし

万斛西遺跡（東区）



東区中郡町の平野に位置する古代から近世にかけての集落遺跡である。江戸時代には浜松藩主に単独での拝謁が許された「独礼庄屋」の筆頭である鈴木家の旧屋敷が所在する。現在も母屋や門などの建物が残存する。発掘調査により、鈴木家屋敷に伴う屋敷地を巡る区画溝や食器などが確認できた。屋敷地の地中からは、飛鳥時代から鎌倉時代にかけての遺構や遺物がみられ、旧鈴木家屋敷の形成以前から集落が形成されていたことがうかがえる。

ながた

永田遺跡群（東区）



天竜川沖積平野の南部に形成された微高地に立地する弥生時代と古代以降を中心とした遺跡群である。弥生時代には環濠を備えた山の神遺跡や松東遺跡が造営される。大量の弥生土器に加え、松東遺跡では銅鐸の鈕が、隣接する森西遺跡では銅鐸形土製品が出土している。

古代には、長田郡（評）家が大蒲町村東 I 遺跡とその周辺に所在したと推定され、建郡（評）は 7 世紀にさかのぼることが出土木簡から明らかである。近傍には 7 世紀末から 8 世紀初めに創建された浜松市内最古の古代寺院・木船廃寺がある。創建期には山田寺式系や川原寺式系の瓦が用いられた。補修時には、平城宮系の瓦や遠江国分寺の瓦が用いられ、中央政権や国司層との関係性がうかがえる。また、宮竹野際遺跡では北家と記された墨書土器がみられ、郡家の出先機関があったと捉えられる。地方における古代郡家とその周辺の景観を知るうえでも重要な遺跡である。松東遺跡では私印とみられる銅印が出土している。

4 指定等文化財等一覧

(1) 国指定文化財

表 37 国指定文化財

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
1	有形	建造物	方広寺七尊菩薩堂	方広寺	北区引佐町奥山	1954年 9月 17日
2	有形	建造物	中村家住宅 附 家相図	浜松市	西区雄踏町宇布見	1973年 6月 2日
3	有形	建造物	宝林寺 仏殿・方丈	宝林寺	北区細江町中川	1981年 6月 5日
4	有形	建造物	浜名惣社神明宮本殿	浜名惣社神明宮	北区三ヶ日町三ヶ日	1993年 4月 20日
5	有形	建造物	鈴木家住宅 主屋・釜屋	個人	北区引佐町の場	2007年 6月 18日
6	有形	絵画	絹本着色普賢十羅刹女像	大福寺	北区三ヶ日町福長	1900年 4月 7日
7	有形	彫刻	木造千手観音立像	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	1915年 3月 26日
8	有形	彫刻	木造不動明王立像	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	1923年 3月 28日
9	有形	彫刻	木造地藏菩薩立像 附 像内納入品	岩水寺	浜北区根堅	2011年 6月 27日
10	有形	彫刻	木造釈迦如来及両脇侍坐像	方広寺	北区引佐町奥山	2014年 8月 21日
11	有形	工芸品	太刀 銘安繩(備前)	秋葉神社	天竜区春野町領家	1922年 4月 13日
12	有形	工芸品	太刀 銘弘次	秋葉神社	天竜区春野町領家	1923年 3月 28日
13	有形	工芸品	太刀 銘来国光	秋葉神社	天竜区春野町領家	1923年 3月 28日
14	有形	工芸品	太刀 銘国綱	井伊谷宮	東京都台東区	1925年 4月 24日
15	有形	工芸品	太刀 久國	個人	中区西伊場	1950年 8月 29日
16	有形	工芸品	刺繍不動明王二童子像掛幅	浜松市	中区松城町	1950年 8月 29日
17	有形	工芸品	紫地段花菱田文散草花模様縫箔小袖	平野美術館	中区元浜町	1960年 6月 9日
18	有形	工芸品	金銅装笈	大福寺	北区三ヶ日町福長	1979年 6月 6日
19	有形	典籍	宋版錦繡萬花谷	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	1978年 6月 15日
20	有形	古文書	紙本墨書瑠璃山年録残篇	大福寺	北区三ヶ日町福長	1905年 4月 4日
21	民俗	無形	西浦の田楽	西浦田楽保存会	天竜区水窪町奥領家	1976年 5月 4日
22	民俗	無形	遠江のひよんどりとおくない	(各保存会)	北区引佐町 他	1994年 12月 13日
23	記念物	史跡	三岳城跡	静岡県 他	北区引佐町三岳 他	1944年 3月 7日
24	記念物	史跡	蜷塚遺跡	浜松市 他	中区蜷塚四丁目	1959年 5月 13日
25	記念物	史跡	二俣城跡及び鳥羽山城跡	浜松市 他	天竜区二俣町二俣	2018年 2月 13日
26	記念物	史跡	光明山古墳	光明寺 他	天竜区山東	2020年 3月 10日
27	記念物	名勝	龍潭寺庭園	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	1936年 9月 3日
28	記念物	天然記念物	北浜の大カヤノキ	個人	浜北区本沢谷	1954年 3月 20日
29	記念物	天然記念物	京丸のアカヤシオ及びシロヤシオ群生地	国	天竜区春野町小俣京丸	1974年 11月 26日

(2) 静岡県指定文化財

表 38 静岡県指定文化財 (その1)

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
1	有形	建造物	旧王子製紙製品倉庫	浜松市	天竜区春野町気田	1977年 3月 18日
2	有形	建造物	撰社天羽雄雄神社	浜名惣社神明宮	北区三ヶ日町三ヶ日	1979年 11月 19日
3	有形	建造物	宝林寺山門	宝林寺	北区細江町中川	1990年 3月 20日
4	有形	建造物	龍潭寺伽藍 附棟札 山号額	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	1995年 3月 20日
5	有形	絵画	紙本金地著色遊楽図六曲屏風	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	1977年 3月 18日
6	有形	絵画	紙本着色独湛禪師画像	宝林寺	北区細江町中川	1977年 12月 20日
7	有形	絵画	紙本着色近藤貞用夫妻画像	宝林寺	北区細江町中川	1977年 12月 20日
8	有形	絵画	絹本着色無文元選像	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 12月 20日
9	有形	絵画	渡辺華山筆呂公釣渭図	個人	北区引佐町井伊谷	1981年 10月 23日
10	有形	絵画	蟲魚帖稿	浜松市	中区松城町	2013年 3月 15日
11	有形	彫刻	古面	息神社	西区雄踏町宇布見	1968年 3月 19日
12	有形	彫刻	獅子頭	息神社	西区雄踏町宇布見	1968年 3月 19日
13	有形	彫刻	木造大日如来坐像	光禪寺	東区大蒲町	1974年 4月 18日
14	有形	彫刻	木造釈迦如来坐像	華藏寺	北区三ヶ日町日比沢	1974年 4月 18日
15	有形	彫刻	木造薬師如来坐像	大福寺	北区三ヶ日町福長	1974年 4月 18日
16	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	1974年 4月 18日
17	有形	彫刻	木造金剛力士立像	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	1974年 4月 18日
18	有形	彫刻	能面父尉	宇志八幡宮	北区三ヶ日町宇志	1977年 3月 18日
19	有形	彫刻	能面鉢巻悪尉	宇志八幡宮	北区三ヶ日町宇志	1977年 12月 20日
20	有形	彫刻	王の舞面	津毛利神社	南区参野町	1981年 3月 16日
21	有形	彫刻	木造金剛力士立像	大福寺	北区三ヶ日町福長	2008年 3月 21日

表 39 静岡県指定文化財（その2）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
22	有形	彫刻	木造釈迦如来坐像及び両脇侍像(釈迦如来坐像の背面に寛文七年四月十六日、洛陽大仏師法橋康祐の銘あり) 木造達磨大師坐像・伝武帝倚像 木造二十四善神立像	宝林寺	北区細江町中川	2011年 12月 2日
23	有形	工芸品	脇指 銘肥前国住武蔵大掾藤原忠広	個人	中区相生町	1957年 5月 13日
24	有形	工芸品	梵鐘	長楽寺	北区細江町気賀	1957年 12月 25日
25	有形	工芸品	脇指 銘長曾祢興里入道虎徹 延宝三年卯霜月日	個人	南区若林町	1962年 6月 15日
26	有形	工芸品	脇指 銘サカミ、鍛エンシウ、浜松ニテ焼刃	個人	西区坪井町	1963年 4月 30日
27	有形	工芸品	刀 銘(葵)以南蛮鉄於武州江戸越前康継	個人	西区坪井町	1963年 4月 30日
28	有形	工芸品	刀	個人	中区田町	1964年 4月 21日
29	有形	工芸品	獅子がみの兜	個人	中区富塚町	1968年 3月 19日
30	有形	工芸品	鰐口(文安元年在銘)	大時自治会	天竜区春野町宮川	1975年 3月 25日
31	有形	書籍	紙本墨書大般若経	大智寺	天竜区春野町宮川	1975年 3月 25日
32	有形	典籍	正平版論語	県居神社	中区東伊場一丁目	1967年 10月 11日
33	有形	古文書	内山真龍自筆稿本遠江国風土記伝及び自筆日記	個人	天竜区大谷	2000年 3月 17日
34	有形	考古資料	引佐町上野馬場平古墳出土品を含む考古資料一括	浜松市	中区蛸塚四丁目	1967年 10月 11日
35	有形	考古資料	銅鐸(猪久保出土)	浜松市	北区三ヶ日町三ヶ日	1967年 10月 11日
36	有形	考古資料	赤門上古墳出土遺物	浜松市	浜北区貴布祢	1990年 3月 20日
37	有形	考古資料	銅鐸(滝峯才四郎谷出土)	浜松市	北区細江町気賀	1993年 3月 26日
38	有形	考古資料	銅鐸(前原遺跡出土)	浜松市	北区細江町気賀	2000年 11月 17日
39	有形	考古資料	伊場遺跡群出土古代地方官衙関係資料	浜松市	中区蛸塚四丁目	2002年 3月 22日
40	有形	考古資料	鳥居松遺跡出土金銀装円頭大刀	浜松市	中区蛸塚四丁目	2020年 3月 27日
41	民俗	有形	藤布織機一式及び製品一括	浜松市	天竜区水窪町地頭方	1968年 3月 19日
42	民俗	有形	染め型紙一括	個人	天竜区水窪町奥領家	1968年 3月 19日
43	民俗	有形	旧山瀬家のコヤ	浜松市	北区細江町気賀	1984年 11月 30日
44	民俗	有形	舞阪の海苔生産用具	浜松市	西区舞阪町舞阪	1999年 3月 15日
45	民俗	有形	佐久間の林業と山村生活の用具	浜松市	天竜区佐久間町佐久間	2012年 11月 30日
46	民俗	無形	呉松の大念仏	同保存会	西区呉松町	1957年 12月 15日
47	民俗	無形	滝沢の放歌踊り	同保存会	北区滝沢町	1957年 12月 15日
48	民俗	無形	横尾歌舞伎	同保存会	北区引佐町横尾、白岩	1974年 4月 19日
49	民俗	無形	川合花の舞	同保存会	天竜区佐久間町川合	1976年 1月 1日
50	民俗	無形	西浦の念仏踊り	同保存会	天竜区水窪町奥領家	1997年 11月 27日
51	記念物	史跡	屋ヶ崖古戦場	浜松市他	中区鹿谷町ほか	1952年 4月 1日
52	記念物	史跡	陣座ヶ谷古墳	個人	北区細江町中川	1968年 7月 2日
53	記念物	史跡	赤門上古墳	龍泉院	浜北区内野	1979年 11月 19日
54	記念物	史跡	千頭峯城跡	摩訶耶区他	北区三ヶ日町摩訶耶	1981年 3月 16日
55	記念物	史跡	犬居城跡	犬居城址顕彰会	天竜区春野町堀之内	1985年 3月 19日
56	記念物	史跡	漕伊神社境内遺跡	漕伊神社	北区引佐町井伊谷	1992年 3月 17日
57	記念物	史跡	滝峯才四郎谷遺跡	浜松市	北区細江町中川	1993年 3月 26日
58	記念物	史跡	青崩峠	浜松市	天竜区水窪町奥領家	1996年 3月 12日
59	記念物	史跡	二本ヶ谷積石塚群	浜松市	浜北区染地台五丁目	2013年 3月 15日
60	記念物	名勝	浜名湖	静岡県他	西区、北区	1954年 1月 30日
61	記念物	名勝	大福寺庭園	大福寺	北区三ヶ日町福長	1977年 3月 18日
62	記念物	名勝	摩訶耶寺庭園	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	1977年 3月 18日
63	記念物	名勝	長楽寺庭園	長楽寺	北区細江町気賀	1986年 3月 22日
64	記念物	名勝	実相寺庭園	実相寺	北区引佐町金指	2008年 11月 11日
65	記念物	天然記念物	雲立のクス	浜松八幡宮	中区八幡町	1952年 4月 1日
66	記念物	天然記念物	法橋のマツ	妙恩寺	東区天竜川町	1952年 4月 1日
67	記念物	天然記念物	テングダイヤク群落地	細江神社	北区細江町気賀	1952年 4月 1日
68	記念物	天然記念物	将軍スギ	武速神社	天竜区横川	1952年 4月 1日
69	記念物	天然記念物	春野スギ	大光寺	天竜区春野町花島	1952年 4月 1日
70	記念物	天然記念物	笹ヶ瀬隕石	増福寺	中区北寺島町	1955年 4月 19日
71	記念物	天然記念物	シブカワツツジ群落	浜松市・個人	北区引佐町渋川	1958年 9月 2日
72	記念物	天然記念物	鶴代のマンサク群落	個人	北区三ヶ日町鶴代、下尾奈	1971年 8月 3日
73	記念物	天然記念物	水窪小学校のイチイガシ	浜松市	天竜区水窪町奥領家	1971年 8月 3日
74	記念物	天然記念物	山住神社のスギ	山住神社	天竜区水窪町山住	1971年 8月 3日
76	記念物	天然記念物	龍山のホソバシヤクナゲ群落	国	天竜区龍山町瀬尻	1974年 4月 18日
75	記念物	天然記念物	浦川のホソバシヤクナゲ群落	個人	天竜区佐久間町浦川	1974年 4月 18日
77	記念物	天然記念物	米沢諏訪神社のイチイガシ	諏訪神社	天竜区米沢	1990年 3月 20日
78	記念物	天然記念物	柴のタブノキ	個人	天竜区熊	1993年 3月 26日
79	記念物	天然記念物	ホウジ峠の中央構造線	個人	天竜区佐久間町佐久間、奥領家	1994年 3月 25日

(3) 浜松市指定文化財

表 40 浜松市指定文化財 (その1)

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
1	有形	建造物	大雄寺山門	大雄寺	中区天神町	1961年 4月 12日
2	有形	建造物	気賀関所本番所	個人	北区細江町気賀	1966年 1月 27日
3	有形	建造物	甘露寺中門	甘露寺	東区中郡町	1966年 3月 14日
4	有形	建造物	秋葉神社神門	秋葉神社	天竜区春野町領家	1966年 12月 26日
5	有形	建造物	東林寺山門 附 棟札	東林寺	北区細江町気賀	1968年 11月 25日
6	有形	建造物	中村家住宅長屋門	浜松市	西区雄踏町宇布見	1980年 3月 17日
7	有形	建造物	上島新田組秋葉山常夜燈鞘堂	新田組	浜北区上島	1982年 5月 22日
8	有形	建造物	宝篋印塔	個人	天竜区水窪町地頭方	1983年 2月 15日
9	有形	建造物	山住神社神門	山住神社	天竜区水窪町山住	1988年 3月 9日
10	有形	建造物	白柳家住宅	個人	北区細江町気賀	1988年 3月 10日
11	有形	建造物	宝林寺報恩堂	宝林寺	北区細江町中川	1988年 11月 1日
12	有形	建造物	瑞雲院山門	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1990年 1月 24日
13	有形	建造物	瑞雲院鐘楼	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1990年 1月 24日
14	有形	建造物	内山家住宅長屋門	浜松市	天竜区大谷	1991年 2月 28日
15	有形	建造物	旧舞坂脇本陣	浜松市	西区舞阪町舞阪	1997年 4月 18日
16	有形	建造物	御室家住宅長屋門	個人	天竜区佐久間町佐久間	1997年 7月 8日
17	有形	建造物	小松秋葉大鳥居	秋葉神社	浜北区小松	2005年 3月 24日
18	有形	建造物	小松秋葉山常夜燈	秋葉神社	浜北区小松	2005年 3月 24日
19	有形	建造物	静岡銀行浜松営業部本館(旧遠州銀行本店)	静岡銀行	中区田町	2005年 12月 20日
20	有形	建造物	旧浜松銀行協会	浜松市	中区栄町	2009年 3月 2日
21	有形	建造物	実相寺伽藍(本堂・観音堂・庚申堂)	実相寺	北区引佐町金指	2017年 2月 23日
22	有形	絵画	紙本着色山水図(内山真龍筆)	個人	天竜区大谷	1961年 12月 1日
23	有形	絵画	紙本着色内山真龍自画像(自賛がある)	個人	天竜区大谷	1961年 12月 1日
24	有形	絵画	紙本着色聖徳太子像(寛政三年七月画の記がある, 内山真龍筆)	玖延寺	天竜区二俣町阿蔵	1961年 12月 1日
25	有形	絵画	紙本着色布袋図(風外慧薫禅師筆)	個人	北区細江町気賀	1972年 4月 14日
26	有形	絵画	絹本着色引佐細江澤標図(内山真龍筆)	個人	北区細江町気賀	1973年 3月 1日
27	有形	絵画	絹本着色引佐細江澤標図(内山真龍筆)	個人	天竜区春野町堀之内	1974年 10月 14日
28	有形	絵画	紙本淡彩神馬図(丙午(弘化三年)の記がある, 大久保一丘筆)	井伊谷宮	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 9日
29	有形	絵画	紙本墨画布袋図(白隠慧鶴筆)	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
30	有形	絵画	板本着色牡丹菊花図(藤玄谷筆)	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1977年 12月 22日
31	有形	絵画	紙本墨画山水図(藤玄谷筆)	個人	天竜区春野町堀之内	1977年 12月 22日
32	有形	絵画	紙本着色梅鶯図(酒井抱一筆)	個人	天竜区春野町堀之内	1977年 12月 22日
33	有形	絵画	紙本着色雪松小禽図(町野笠澤筆)	個人	天竜区春野町堀之内	1977年 12月 22日
34	有形	絵画	紙本着色法源禅師像	宝林寺	北区細江町中川	1980年 1月 1日
35	有形	絵画	紙本着色東海道西海船路図	個人	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
36	有形	絵画	細字法華経日蓮像	個人	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
37	有形	絵画	板本着色二十四孝図(元禄六年七月奉納の記がある)	庚申寺	浜北区宮口	1982年 5月 22日
38	有形	絵画	絹本着色寿老人花鳥図(狩野常信筆)	善住寺	天竜区水窪町地頭方	1982年 9月 17日
39	有形	絵画	絹本着色両界曼荼羅図	大福寺	北区三ヶ日町福長	1984年 11月 19日
40	有形	絵画	絹本着色地藏菩薩像(靈仲の賛がある)	華藏寺	北区三ヶ日町日比沢	1987年 9月 22日
41	有形	絵画	慈眼寺庚申堂天井板絵	金剛寺	北区三ヶ日町駒場	1992年 6月 18日
42	有形	絵画	絹本着色釈迦十六善神像	洞泉寺	天竜区大谷	1994年 3月 29日
43	有形	絵画	紙本着色春鶯囀図(野島青茲筆)	浜松市	北区細江町気賀	2004年 3月 15日
44	有形	彫刻	木造毘沙門天立像	毘沙門寺	南区石原町	1960年 8月 25日
45	有形	彫刻	木造吉祥天女立像(木喰五行作)	方広寺	北区引佐町奥山	1962年 1月 5日
46	有形	彫刻	木造准胝観音立像(木喰五行作)	方広寺	北区引佐町奥山	1962年 1月 5日
47	有形	彫刻	木造子安観音立像(木喰五行作)	方広寺	北区引佐町奥山	1962年 1月 5日
48	有形	彫刻	木造木喰五行坐像(木喰五行作)	浜松市	中区親塚四丁目	1964年 11月 11日
49	有形	彫刻	木造馬頭観音立像	西大山教会	西区大山町	1965年 3月 12日
50	有形	彫刻	木造不動明王立像	西大山教会	西区大山町	1965年 3月 12日
51	有形	彫刻	木造毘沙門天立像	西大山教会	西区大山町	1965年 3月 12日
52	有形	彫刻	木造大日如来坐像、木造天部立像	大円寺	北区細江町気賀	1966年 1月 27日
53	有形	彫刻	木造大黒天半跏像(木喰五行作)	個人	北区引佐町狩宿	1966年 2月 21日
54	有形	彫刻	木造如意輪観音坐像(木喰五行作)	個人	北区引佐町狩宿	1966年 2月 21日
55	有形	彫刻	木造大日如来坐像(木喰五行作)	個人	北区引佐町井伊谷	1966年 2月 21日
56	有形	彫刻	木造聖観音坐像(木喰五行作)	個人	北区引佐町狩宿	1966年 2月 21日
57	有形	彫刻	木造十一面観音立像(木喰五行作)	個人	北区引佐町奥山	1966年 2月 21日
58	有形	彫刻	木造十王坐像(木喰五行作)	寿龍院	北区引佐町井伊谷	1966年 2月 21日
59	有形	彫刻	木造葬頭河婆半跏像(木喰五行作)	寿龍院	北区引佐町井伊谷	1966年 2月 21日
60	有形	彫刻	木造如意輪観音半跏像(木喰五行作)	個人	北区引佐町奥山	1966年 2月 21日
61	有形	彫刻	木造阿弥陀如来立像 附 像内納入品	法藏寺	南区白羽町	1966年 11月 15日
62	有形	彫刻	木造馬頭観音坐像	長楽寺	北区細江町気賀	1968年 11月 25日

表 41 浜松市指定文化財（その2）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
63	有形	彫刻	木造大日如来坐像	華藏寺	北区三ヶ日町日比沢	1969年 2月 14日
64	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	華藏寺	北区三ヶ日町日比沢	1969年 2月 14日
65	有形	彫刻	能面(能面翁、能面小面、能面飛出)	大福寺	北区三ヶ日町福長	1969年 2月 14日
66	有形	彫刻	木造薬師如来坐像	龍谷寺	南区飯田町	1970年 7月 20日
67	有形	彫刻	木造十王坐像(木喰五行作)	徳泉寺	浜北区堀谷	1970年 12月 23日
68	有形	彫刻	木造葬頭河婆半跏像(木喰五行作)	徳泉寺	浜北区堀谷	1970年 12月 23日
69	有形	彫刻	木造天部立像	個人	北区細江町気賀	1972年 4月 14日
70	有形	彫刻	木造十一面観音立像	伊平自治会	北区引佐町伊平	1975年 10月 22日
71	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	個人	北区細江町中川	1976年 7月 1日
72	有形	彫刻	厨子入金銅十一面観音立像(兜前立)	井伊谷宮	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 9日
73	有形	彫刻	厨子入金銅苦行釈迦像	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
74	有形	彫刻	木造聖観音立像	両光寺	中区富塚町	1977年 4月 14日
75	有形	彫刻	木造大日如来坐像	6区大日堂	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 19日
76	有形	彫刻	木造大日如来坐像	林慶寺	北区滝沢町	1979年 7月 17日
77	有形	彫刻	古面(古面鬼神、小面乙、小面姥)	個人	西区雄踏町宇布見	1980年 3月 17日
78	有形	彫刻	古面福	個人	北区細江町中川	1981年 1月 1日
79	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像 附 像内納入品	個人	北区細江町気賀	1981年 1月 1日
80	有形	彫刻	木魚	個人	北区細江町気賀	1981年 1月 1日
81	有形	彫刻	木造地藏菩薩立像、木造千体地藏菩薩立像	長徳寺	北区細江町広岡	1981年 1月 1日
82	有形	彫刻	木造地藏菩薩立像	個人	天竜区春野町長蔵寺	1982年 3月 31日
83	有形	彫刻	木造聖観音坐像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
84	有形	彫刻	木造十一面観音立像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
85	有形	彫刻	木造伝勝軍地藏立像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
86	有形	彫刻	木造四天王立像	秋葉寺	天竜区春野町領家	1982年 3月 31日
87	有形	彫刻	木造男神坐像、木造男神立像	小国神社	天竜区春野町杉	1983年 3月 8日
88	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	玖延寺	天竜区二俣町阿蔵	1984年 1月 23日
89	有形	彫刻	木造薬師如来坐像	長月寺	天竜区長沢	1984年 11月 13日
90	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	宇志自治会	北区三ヶ日町宇志	1993年 4月 21日
91	有形	彫刻	木造男神立像	細江神社	北区細江町気賀	1998年 4月 14日
92	有形	彫刻	木造男神立像	細江神社	北区細江町気賀	1998年 4月 14日
93	有形	彫刻	木造牛頭天王立像	細江神社	北区細江町気賀	1998年 4月 14日
94	有形	彫刻	木造牛頭天王立像	細江神社	北区細江町気賀	1998年 4月 14日
95	有形	彫刻	木造薬師如来立像	玖延寺	天竜区二俣町阿蔵	1998年 9月 25日
96	有形	彫刻	木造薬師如来坐像	個人	天竜区水窪町奥領家	2004年 10月 19日
97	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	龍雲寺	西区入野町	2009年 3月 2日
98	有形	工芸品	横笛(伝青葉の笛)	寺野六所神社	北区引佐町渋川	1962年 1月 5日
99	有形	工芸品	鰐口(文永五年十二月の銘がある)	浜松市	中区蛸塚四丁目	1964年 11月 11日
100	有形	工芸品	金銅装厨子	西大山教会	西区大山町	1965年 3月 12日
101	有形	工芸品	短刀 銘近藤用和作	個人	北区細江町気賀	1966年 1月 27日
102	有形	工芸品	鰐口(永享八年十一月の銘がある)	個人	天竜区春野町田河内	1966年 12月 26日
103	有形	工芸品	鰐口(大永八年八月の銘がある)	6区大日堂	北区引佐町井伊谷	1972年 11月 28日
104	有形	工芸品	鰐口(延文二年九月の銘がある)	富壽観音堂	北区引佐町奥山	1972年 11月 28日
105	有形	工芸品	鰐口(文安四年壬二月の銘がある)	川名薬師堂	北区引佐町川名	1972年 11月 28日
106	有形	工芸品	鰐口(永享二年三月の銘、天文八年九月の追銘がある)	個人	北区引佐町渋川	1972年 11月 28日
107	有形	工芸品	太刀 附 糸巻太刀拵	個人	北区細江町小野	1973年 3月 1日
108	有形	工芸品	鰐口(永正十五年六月の銘がある)	阿寺六所神社	天竜区大谷	1976年 5月 20日
109	有形	工芸品	鉄製轡 銘藤原宗春作	井伊谷宮	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 9日
110	有形	工芸品	禾目天目茶碗	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 9日
111	有形	工芸品	太刀 無銘伝舞草 伝宗良親王佩刀	井伊谷宮	東京都台東区	1977年 4月 9日
112	有形	工芸品	短刀 附 白井嘉十郎宛書簡	個人	北区細江町中川	1980年 1月 1日
113	有形	工芸品	脇差 銘近藤用和作	蘭草神社	北区細江町気賀	1981年 1月 1日
114	有形	工芸品	鰐口(応永十四年六月、応仁三年六月の追銘がある)	浜松市	中区蛸塚四丁目	1982年 9月 17日
115	有形	工芸品	鍔絵楊貴妃額(平出宇蔵作)	永福寺	天竜区水窪町奥領家	1982年 9月 17日
116	有形	工芸品	鰐口(寛正六年二月の銘がある)	胡桃平自治会	天竜区春野町宮川	1983年 3月 8日
117	有形	工芸品	籬双雀鏡	只木神明宮	北区三ヶ日町只木	1984年 11月 19日
118	有形	工芸品	只木神明宮鏡像及び懸仏	只木神明宮	北区三ヶ日町只木	1984年 11月 19日
119	有形	工芸品	鰐口(永禄十年霜月の銘がある)	個人	天竜区水窪町奥領家	1986年 2月 14日
120	有形	工芸品	鰐口(文明三年極月の銘がある)	八剣池神社 他	天竜区水窪町地頭方	1988年 3月 9日
121	有形	工芸品	横山八幡神社懸仏	横山八幡神社	天竜区大谷	1995年 3月 29日
122	有形	工芸品	金銅装神輿	岐佐神社	西区舞阪町舞阪	2001年 8月 30日
123	有形	工芸品	瑞花双鳥八稜鏡	浜松市	中区蛸塚四丁目	2001年 12月 19日
124	有形	工芸品	鰐口(永享十三年十一月の銘がある)	個人	天竜区水窪町地頭方	2001年 12月 19日
125	有形	工芸品	鰐口(応安二年二月の銘、寛正三年小春、明治拾五年、昭和七年葉月の追銘がある)	峯熊阿弥陀堂	天竜区大谷	2003年 7月 1日
126	有形	工芸品	鰐口(長禄二年十二月の銘がある)	西神沢六所神社	天竜区大谷	2003年 7月 1日
127	有形	工芸品	鰐口(延徳二年十一月の銘がある)	小川若宮八幡神社	天竜区大谷	2003年 7月 1日
128	有形	工芸品	鰐口(永禄十一年二月の銘がある)	大谷宇佐八幡神社	天竜区大谷	2003年 7月 1日

表 42 浜松市指定文化財（その3）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
129	有形	工芸品	半島庚申祠壁面鏤絵(平出宇蔵作)	水窪自治区	天竜区水窪町奥領家	2004年 10月 19日
130	有形	工芸品	鰐口(至徳二年十月の銘がある)	浜松市	中区蛸塚四丁目	2005年 5月 25日
131	有形	書跡	紙本墨書辞世和歌(内山真龍筆)	個人	天竜区大谷	1961年 12月 1日
132	有形	書跡	白隠慧鶴墨跡(百寿字)	方広寺	北区引佐町奥山	1962年 1月 5日
133	有形	書跡	観音山額(法源禪師筆)	清水寺	北区引佐町井伊谷	1962年 11月 10日
134	有形	書跡	紙本墨書日課念仏(伝徳川家康筆)	浜松市	中区蛸塚四丁目	1964年 8月 18日
135	有形	書跡	木喰五行墨跡(仁義禮知心信至)	個人	東区有玉台二丁目	1970年 12月 23日
136	有形	書跡	紙本墨書古今集仮名序抜書(賀茂真淵筆)	浜松市	中区松城町	1971年 11月 12日
137	有形	書跡	紙本墨書和歌(賀茂真淵筆)	浜松市	中区松城町	1971年 11月 12日
138	有形	書跡	紙本墨書植田七三郎宛書簡(賀茂真淵筆)	浜松市	中区松城町	1971年 11月 12日
139	有形	書跡	賀茂真淵書簡集(巻末に梅谷真滋の書簡がある)	浜松市	中区松城町	1971年 11月 12日
140	有形	書跡	紙本墨書植田喜右衛門同七三郎宛書簡(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1971年 11月 12日
141	有形	書跡	絹本墨書詩経抜書(菅原道真の署名がある)	個人	天竜区春野町川上	1974年 10月 14日
142	有形	書跡	紙本墨書任超上人七十賀和歌(内山真龍筆)	個人	天竜区春野町堀之内	1974年 10月 14日
143	有形	書跡	木喰五行墨跡(寛政十一年の記がある)	個人	北区細江町気賀	1976年 7月 1日
144	有形	書跡	紙本墨書新古今集断簡(伝宗良親王筆)	井伊谷宮	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 9日
145	有形	書跡	無文元選墨跡(七言絶句)	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
146	有形	書跡	紙本墨書詩句(山岡鉄舟筆)	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
147	有形	書跡	紙本墨書捨遺集断簡(伝後醍醐天皇筆)	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
148	有形	書跡	北野元峰墨跡(心有天地春)	個人	天竜区春野町川上	1977年 12月 22日
149	有形	書跡	北野元峰墨跡(日々是好日)	個人	天竜区春野町川上	1977年 12月 22日
150	有形	書跡	紙本墨書歎哉二字(近藤用和筆)	浜松市	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
151	有形	書跡	風外慧薫墨跡(三社託宣)	個人	北区細江町気賀	1981年 1月 1日
152	有形	書跡	近藤用恒夫妻詩歌	個人	北区細江町気賀	1987年 3月 10日
153	有形	書跡	紙本墨書梅谷真滋宛書簡(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1991年 7月 10日
154	有形	書跡	紙本墨書和歌懐紙(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1991年 7月 10日
155	有形	書跡	紙本墨書和歌詠草(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1991年 7月 10日
156	有形	書跡	紙本墨書歌文(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1991年 7月 10日
157	有形	書跡	紙本墨書岡部定重宛書簡(賀茂真淵筆)	浜松市	中区東伊場一丁目	1991年 7月 10日
158	有形	書跡	五部大乘経	洞泉寺	天竜区大谷	1996年 11月 28日
159	有形	典籍	浜名記(上中下)	個人	北区三ヶ日町都筑	1969年 2月 14日
160	有形	典籍	出雲日記(内山真龍筆 本居宣長序)	浜松市	中区松城町	1970年 7月 20日
161	有形	典籍	宋版法華経(巻七)	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 9日
162	有形	典籍	紙本墨書大般若経	龍翔寺	北区引佐町の場	1990年 3月 1日
163	有形	古文書	宗源院文書	宗源院	中区蛸塚一丁目	1971年 11月 12日
164	有形	古文書	紙本墨書天野家旧蔵証文写	個人	天竜区春野町堀之内	1974年 10月 14日
165	有形	古文書	中村家文書	個人	中区蛸塚四丁目	1980年 3月 17日
166	有形	古文書	息神社棟札	息神社	西区雄踏町宇布見	1980年 3月 17日
167	有形	古文書	清庵宗徹贈如然禪師謚号勅書	安寧寺	西区雄踏町山崎	1980年 3月 17日
168	有形	古文書	蜂前神社文書	蜂前神社	北区細江町気賀	1981年 1月 1日
169	有形	古文書	寿量院文書	寿量院	中区蛸塚四丁目	1981年 8月 26日
170	有形	古文書	舞坂宿問屋場御用留	浜松市	中区蛸塚四丁目	1984年 3月 27日
171	有形	古文書	中村家文書	浜松市	天竜区大谷	1984年 11月 13日
172	有形	古文書	紙本墨書金子請取覚書(天正十六年の記がある 徳川家康筆)	浜松市	中区蛸塚四丁目	1986年 7月 8日
173	有形	古文書	妙恩寺文書	妙恩寺	東区天龍川町	1986年 7月 8日
174	有形	古文書	片桐家文書	個人	天竜区水窪町奥領家	1997年 9月 11日
175	有形	古文書	舞坂宿祭礼入用帳	浜松市	西区舞阪町舞阪	2001年 8月 30日
176	有形	古文書	田代家文書	浜松市	天竜区大谷	2001年 11月 27日
177	有形	古文書	木地師免許状、木地師免許状縁起	個人	天竜区水窪町奥領家	2004年 10月 19日
178	有形	古文書	木船新田村和泉屋取引帳	浜松市	中区蛸塚四丁目	2005年 3月 24日
179	有形	古文書	三省録、続三省録	浜松市	中区蛸塚四丁目	2005年 3月 24日
180	有形	古文書	今川義元寺領安堵状	摩訶耶寺	北区三ヶ日町摩訶耶	2005年 4月 19日
181	有形	古文書	遠江国浜名古代領主記	個人	北区三ヶ日町都筑	2005年 4月 19日
182	有形	考古資料	摩訶耶寺出土品(灰釉袈裟襷紋広口壺 灰釉蓮弁紋広口壺)	浜松市	北区細江町気賀	1984年 11月 19日
183	有形	考古資料	灰釉広口壺(三ヶ日町只木出土)	浜松市	北区細江町気賀	1984年 11月 19日
184	有形	考古資料	白石山遺跡出土品(壺形土器 鉢形土器)	浜松市	西区舞阪町舞阪	1985年 12月 2日
185	有形	考古資料	弁天島遺跡出土品(井戸枠)	浜松市	西区舞阪町舞阪	1985年 12月 2日
186	有形	考古資料	袈裟襷文銅鐸(中川滝峯穴の谷出土)	浜松市	北区細江町気賀	1993年 3月 26日
187	有形	考古資料	中の甲遺跡出土品(埋納銭 陶器残片)	浜松市	中区蛸塚四丁目	2005年 4月 19日
188	有形	考古資料	家形土器(鳥居松遺跡出土)	浜松市	中区蛸塚四丁目	2005年 10月 19日
189	有形	考古資料	袈裟襷文銅鐸(中川滝峯七曲り出土)	浜松市	北区細江町気賀	2020年 3月 24日
190	有形	考古資料	袈裟襷文銅鐸(中川不動平出土)	浜松市	北区細江町気賀	2020年 3月 24日
191	有形	歴史資料	白瀬蘆南極探検関係資料	個人	北区細江町中川	1968年 11月 25日
192	有形	歴史資料	七科約説	浜松市	中区松城町	1970年 7月 20日
193	有形	歴史資料	探検世界、成功	個人	北区細江町中川	1980年 1月 1日
194	有形	歴史資料	遠州報国隊関係資料(陣羽織他)	個人	北区細江町中川	1981年 1月 1日

表 43 浜松市指定文化財（その4）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
195	有形	歴史資料	遠州報国隊関係資料(大刀他)	浜松市	北区細江町気賀	1981年 1月 1日
196	有形	歴史資料	片山家関係資料	浜松市	天竜区春野町宮川	1983年 3月 8日
197	民俗	有形	初生衣神社織殿 附 神庫 古式織具	初生衣神社	北区三ヶ日町岡本	1969年 2月 14日
198	民俗	有形	小国神社の瓶子	小国神社	天竜区春野町宮川	1973年 2月 27日
199	民俗	有形	日入沢の道祖神	下平山日入沢小保	天竜区龍山町下平山	1975年 10月 1日
200	民俗	有形	秋葉街道貴布祢の道標	浜松市	浜北区貴布祢	1982年 5月 22日
201	民俗	有形	田楽面	個人	天竜区水窪町奥領家	1982年 9月 17日
202	民俗	有形	木地屋の墓	浜松市	天竜区水窪町奥領家	1986年 2月 14日
203	民俗	有形	上村の庚申像	上村自治会	天竜区水窪町地頭方	1986年 2月 14日
204	民俗	有形	田楽面及び祭具	横山八幡神社	天竜区大谷	1995年 3月 29日
205	民俗	有形	東林寺の庚申塔	東林寺	北区細江町気賀	1998年 4月 14日
206	民俗	有形	服部正伸並びに友清能楽関係資料	岡本自治会	北区三ヶ日町三ヶ日	2005年 4月 19日
207	民俗	無形	勝坂神楽	同保存会	天竜区春野町豊岡	1966年 12月 26日
208	民俗	無形	犬居つなん曳	犬居自治会(龍勢社)	天竜区春野町堀之内	1966年 12月 26日
209	民俗	無形	遠州大念仏	同保存会	中区鹿谷町	1972年 3月 1日
210	民俗	無形	妙功庵観音堂の百万遍念仏と念仏講	同保存会	北区細江町中川	1998年 7月 8日
211	記念物	史跡	追分一里塚	浜松市	中区葵東二丁目	1959年 6月 18日
212	記念物	史跡	浜松城跡	浜松市	中区元城町	1959年 6月 18日
213	記念物	史跡	入野古墳	浜松市	西区入野町	1959年 6月 18日
214	記念物	史跡	米津台場	国	南区新橋町	1959年 6月 18日
215	記念物	史跡	姫街道の松並木	静岡県	中区、西区	1959年 12月 19日
216	記念物	史跡	蛭子森古墳	浜松市	東区豊町	1962年 7月 14日
217	記念物	史跡	東大山一里塚	浜松市 他	西区大山町、北区三方原町	1963年 7月 11日
218	記念物	史跡	篠ヶ嶺城跡	個人	天竜区春野町豊岡	1966年 12月 26日
219	記念物	史跡	樽山城跡	個人	天竜区春野町田河内	1966年 12月 26日
220	記念物	史跡	勝坂城跡	個人	天竜区春野町豊岡	1966年 12月 26日
221	記念物	史跡	瑞雲院境内 附 天野家墓所	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1966年 12月 26日
222	記念物	史跡	麻舟山遺跡	個人	天竜区春野町気田	1966年 12月 26日
223	記念物	史跡	里原遺跡	個人	天竜区春野町宮川	1966年 12月 26日
224	記念物	史跡	御堂平遺跡	浜松市 他	天竜区春野町領家	1966年 12月 26日
225	記念物	史跡	仇山古墳群	個人	天竜区春野町気田	1966年 12月 26日
226	記念物	史跡	京丸牡丹谷	国	天竜区春野町小俣京丸	1966年 12月 26日
227	記念物	史跡	大光寺境内	大光寺	天竜区春野町花島	1966年 12月 26日
228	記念物	史跡	宇志北大里遺跡	浜松市	北区三ヶ日町宇志	1969年 2月 14日
229	記念物	史跡	佐久城跡	浜松市	北区三ヶ日町都筑	1969年 2月 14日
230	記念物	史跡	伝橋逸勢墓	本坂自治会	北区三ヶ日町本坂	1969年 2月 14日
231	記念物	史跡	平那の峯	個人	北区三ヶ日町鶴代	1970年 11月 25日
232	記念物	史跡	天宝堤	個人	浜北区道本	1970年 12月 23日
233	記念物	史跡	東海道の松並木	静岡県	西区舞阪町	1972年 4月 1日
234	記念物	史跡	舞坂見付	浜松市	西区舞阪町舞阪	1972年 4月 1日
235	記念物	史跡	岡の平遺跡	個人	北区細江町中川	1972年 4月 14日
236	記念物	史跡	伝堀川城跡	浜松市	北区細江町気賀	1972年 4月 14日
237	記念物	史跡	大平城跡	個人	浜北区大平	1972年 8月 30日
238	記念物	史跡	幡教寺跡	国	北区三ヶ日町只木	1974年 4月 23日
239	記念物	史跡	今切渡し舞坂渡船場	国	西区舞阪町舞阪	1974年 5月 1日
240	記念物	史跡	塩沢遺跡	個人	天竜区春野町長蔵寺	1974年 10月 14日
241	記念物	史跡	佐久米経塚	個人	北区三ヶ日町佐久米	1975年 5月 17日
242	記念物	史跡	舞坂一里塚	浜松市	西区舞阪町舞阪	1975年 9月 1日
243	記念物	史跡	伝井伊共保出生井	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	1977年 4月 19日
244	記念物	史跡	北岡大塚古墳	浜松市 他	北区引佐町井伊谷	1979年 4月 23日
245	記念物	史跡	中村家屋敷地 附 胞衣塚	浜松市	西区雄踏町宇布見	1980年 3月 17日
246	記念物	史跡	桂山遺跡	浜松市 他	天竜区水窪町奥領家	1980年 8月 6日
247	記念物	史跡	宝平遺跡	個人	天竜区水窪町奥領家	1980年 8月 6日
248	記念物	史跡	月夜平遺跡	浜松市 他	天竜区水窪町奥領家	1980年 8月 6日
249	記念物	史跡	神原遺跡	浜松市	天竜区水窪町奥領家	1980年 8月 6日
250	記念物	史跡	上村遺跡	個人	天竜区水窪町地頭方	1980年 8月 6日
251	記念物	史跡	向市場遺跡	個人	天竜区水窪町地頭方	1980年 8月 6日
252	記念物	史跡	凌苔庵跡	国	北区三ヶ日町平山	1980年 8月 20日
253	記念物	史跡	愛宕平古墳	浜松市	北区三ヶ日町都筑	1980年 8月 20日
254	記念物	史跡	西山古墳	釣自治会	北区三ヶ日町釣	1980年 8月 20日
255	記念物	史跡	北岡2号墳	個人	北区引佐町井伊谷	1980年 10月 1日
256	記念物	史跡	高根城跡	浜松市	天竜区水窪町地頭方	1982年 2月 16日
257	記念物	史跡	恩塚山古墳	個人	北区都田町	1982年 7月 26日
258	記念物	史跡	馬場平古墳	個人	北区引佐町井伊谷	1983年 5月 25日
259	記念物	史跡	旧高栖寺跡	個人	北区三ヶ日町大谷	1983年 5月 27日
260	記念物	史跡	杉グミノサワ遺跡	個人	天竜区春野町杉	1984年 3月 1日

表 44 浜松市指定文化財（その5）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定年月日
261	記念物	史跡	井伊谷城跡	浜松市	北区引佐町井伊谷	1985年 8月 26日
262	記念物	史跡	興覚寺後古墳	興覚寺 他	浜北区宮口	1986年 6月 4日
263	記念物	史跡	白山1号墳	白山神社	北区引佐町井伊谷	1988年 8月 22日
264	記念物	史跡	火穴古墳	浜松市	西区深萩町	1989年 2月 1日
265	記念物	史跡	大屋敷5号窯跡	宮口六所神社	浜北区宮口	1990年 3月 31日
266	記念物	史跡	片山竹茂墓	個人	北区三ヶ日町宇志	1991年 4月 16日
267	記念物	史跡	本坂一里塚	浜松市	北区三ヶ日町本坂	1992年 3月 6日
268	記念物	史跡	見徳古墳	浜松市	北区都田町	1992年 3月 10日
269	記念物	史跡	ヒラシロ遺跡	浜松市	天竜区熊	1992年 3月 27日
270	記念物	史跡	向野古墳	静岡県	浜北区根堅	1994年 1月 1日
271	記念物	史跡	堀ノ内城山城跡	個人	天竜区春野町堀之内	2004年 3月 25日
272	記念物	史跡	平尾城跡	個人	天竜区春野町堀之内	2004年 3月 25日
273	記念物	史跡	郷ヶ平4号墳	浜松市	北区都田町	2005年 10月 19日
274	記念物	史跡	稲荷山古墳	浜松市	浜北区内野	2010年 3月 30日
275	記念物	史跡	宿簾寺大澤家墓所	宿簾寺	西区庄内町	2012年 11月 30日
276	記念物	史跡	住吉南古墳	浜松市	中区住吉四丁目	2015年 3月 17日
277	記念物	史跡	亀塚古墳	個人	西区呉松町	2019年 2月 25日
278	記念物	名勝	龍頭山	静岡県	天竜区春野町豊岡	1966年 12月 26日
279	記念物	名勝	新宮池	新宮神社	天竜区春野町和泉平	1966年 12月 26日
280	記念物	名勝	樽山の滝	個人	天竜区春野町田河内	1966年 12月 26日
281	記念物	名勝	佐鳴湖	静岡県	西区入野町	1967年 8月 17日
282	記念物	天然記念物	鴨江の根上がりマツ	浜松市	中区鴨江三丁目	1959年 6月 18日
283	記念物	天然記念物	入野八幡神社のクス	入野八幡神社	西区入野町	1959年 12月 19日
284	記念物	天然記念物	妙相寺のイヌマキ	妙相寺	西区志都呂町	1959年 12月 19日
285	記念物	天然記念物	栄秀寺のイチョウ	栄秀寺	中区領家二丁目	1962年 10月 1日
286	記念物	天然記念物	西伝寺のイブキ	西伝寺	南区西伝寺町	1962年 10月 1日
287	記念物	天然記念物	気賀陣屋跡の江戸シイ	浜松市	北区細江町気賀	1966年 1月 27日
288	記念物	天然記念物	秋葉神社社叢	秋葉神社	天竜区春野町領家	1966年 12月 26日
289	記念物	天然記念物	洪川のボダイジュ	個人	北区引佐町洪川	1968年 2月 28日
290	記念物	天然記念物	洪川のイチョウ	東光院	北区引佐町洪川	1968年 3月 1日
291	記念物	天然記念物	三島のイヌマキ	個人	南区三島町	1973年 9月 11日
292	記念物	天然記念物	細江神社のクス	細江神社	北区細江町気賀	1974年 5月 1日
293	記念物	天然記念物	新原の大マキ	個人	浜北区新原	1974年 11月 20日
294	記念物	天然記念物	瀬尻のアカヤシオ群落	個人	天竜区龍山町瀬尻	1976年 2月 1日
295	記念物	天然記念物	花島のカヤ	個人	天竜区春野町花島	1976年 3月 13日
296	記念物	天然記念物	ピンカ峠のイヌツゲ	個人	天竜区春野町川上	1976年 3月 13日
297	記念物	天然記念物	郷島のイヌツゲ	個人	天竜区春野町気田	1977年 3月 9日
298	記念物	天然記念物	金指のイヌマキ	個人	北区引佐町金指	1977年 4月 19日
299	記念物	天然記念物	方広寺の半僧スギ	方広寺	北区引佐町奥山	1977年 4月 19日
300	記念物	天然記念物	西気賀のマンサク群落	個人	北区細江町気賀	1978年 6月 16日
301	記念物	天然記念物	二宮神社のホルトノキ	二宮神社	北区細江町気賀	1978年 6月 16日
302	記念物	天然記念物	二宮神社のナギ	二宮神社	北区細江町気賀	1978年 6月 16日
303	記念物	天然記念物	伊目のノウゼンカズラ	個人	北区細江町気賀	1978年 6月 16日
304	記念物	天然記念物	気賀のイヌマキ	個人	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
305	記念物	天然記念物	屯倉水神社の大スギ	屯倉水神社	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
306	記念物	天然記念物	伊目のナンテン	個人	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
307	記念物	天然記念物	気賀のハゼノキ	浜松市	北区細江町気賀	1980年 1月 1日
308	記念物	天然記念物	宇布見のイヌマキ	個人	西区雄踏町宇布見	1980年 3月 17日
309	記念物	天然記念物	宝林寺のエンコウスギ	宝林寺	北区細江町中川	1981年 1月 1日
310	記念物	天然記念物	高瀬のニッケイ	個人	天竜区春野町宮川	1982年 3月 31日
311	記念物	天然記念物	瑞雲院のイヌマキ	瑞雲院	天竜区春野町堀之内	1982年 3月 31日
312	記念物	天然記念物	南宮神社のイチイガシ	南宮神社	天竜区春野町気田	1982年 3月 31日
313	記念物	天然記念物	三田島のイチョウ	個人	天竜区春野町長蔵寺	1982年 3月 31日
314	記念物	天然記念物	白山神社のクス	岩水寺	浜北区根堅	1986年 6月 4日
315	記念物	天然記念物	渡ヶ島諏訪神社社叢	渡ヶ島諏訪神社	天竜区渡ヶ島	1987年 9月 21日
316	記念物	天然記念物	船明の二本スギ	船明自治会	天竜区船明	1987年 9月 21日
317	記念物	天然記念物	ギフチョウ	—	北区引佐町、天竜区神沢	1990年 2月 27日
318	記念物	天然記念物	奥山のムクノキ	個人	北区引佐町奥山	1990年 3月 1日
319	記念物	天然記念物	浜松海岸のアカウミガメ及びその産卵地	国	南区、西区	1990年 3月 10日
320	記念物	天然記念物	玉洞寺のサザンカ	玉洞寺	北区三ヶ日町上尾奈	1996年 4月 19日
321	記念物	天然記念物	峯のタブノキ	個人	天竜区佐久間町佐久間	2000年 6月 19日
322	記念物	天然記念物	吉沢のスギ	個人	天竜区佐久間町浦川	2002年 7月 19日
323	記念物	天然記念物	馬背神社のスギ	馬背神社	天竜区佐久間町佐久間	2002年 7月 19日
324	記念物	天然記念物	明光寺のカヤ	明光寺	天竜区佐久間町大井	2002年 7月 19日
325	記念物	天然記念物	相月諏訪神社のスギ	相月諏訪神社	天竜区佐久間町相月	2002年 7月 19日
326	記念物	天然記念物	気賀のタチバナ	個人	北区細江町気賀	2004年 3月 15日

(4) 国登録有形文化財

表 45 国登録有形文化財（その1）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	登録年月日
1	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道運転区休憩所	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵	1998年 12月 11日
2	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道運転区浴場	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵	1998年 12月 11日
3	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道運転区事務室	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵	1998年 12月 11日
4	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道機関車扇形車庫	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵	1998年 12月 11日
5	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道機関車転車台	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵	1998年 12月 11日
6	有形	建造物	凱旋記念門	六所神社	北区引佐町渋川	2002年 2月 12日
7	有形	建造物	旧二俣町役場	浜松市	天竜区二俣町二俣	2003年 1月 31日
8	有形	建造物	竹山家住宅主屋	個人	東区天王町	2005年 11月 10日
9	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道都田川橋梁	天竜浜名湖鉄道	北区都田町	2011年 1月 26日
10	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道瀬戸山橋梁	天竜浜名湖鉄道	北区都田町	2011年 1月 26日
11	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道瀬戸橋梁	天竜浜名湖鉄道	北区細江町中川	2011年 1月 26日
12	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道金指駅高架貯水槽	天竜浜名湖鉄道	北区引佐町金指	2011年 1月 26日
13	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道金指駅上屋及びプラットホーム	天竜浜名湖鉄道	北区引佐町金指	2011年 1月 26日
14	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道気賀町高架橋	天竜浜名湖鉄道	北区細江町気賀	2011年 1月 26日
15	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道気賀駅上屋及びプラットホーム	天竜浜名湖鉄道	北区細江町気賀	2011年 1月 26日
16	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道気賀駅本屋	天竜浜名湖鉄道	北区細江町気賀	2011年 1月 26日
17	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道西気賀駅待合所	天竜浜名湖鉄道	北区細江町気賀	2011年 1月 26日
18	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道西気賀駅本屋	天竜浜名湖鉄道	北区細江町気賀	2011年 1月 26日
19	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道三ヶ日駅本屋	天竜浜名湖鉄道	北区三ヶ日町三ヶ日	2011年 1月 26日
20	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道利木隧道	天竜浜名湖鉄道	北区三ヶ日町下尾奈 (～湖西市)	2011年 1月 26日
21	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道岩水寺駅待合所及びプラットホーム	天竜浜名湖鉄道	浜北区根堅	2011年 1月 26日
22	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道宮口駅待合所及び上りプラットホーム	天竜浜名湖鉄道	浜北区宮口	2011年 1月 26日
23	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道宮口駅本屋及び下りプラットホーム	天竜浜名湖鉄道	浜北区宮口	2011年 1月 26日
24	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道運転区高架貯水槽	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵	2011年 1月 26日
25	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道運転区揚水機室	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵	2011年 1月 26日
26	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道天竜二俣駅下り上屋及びプラットホーム	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵	2011年 1月 26日
27	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道天竜二俣駅上り上屋及びプラットホーム	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵	2011年 1月 26日
28	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道天竜二俣駅本屋	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町阿蔵	2011年 1月 26日
29	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道二俣川橋梁	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町二俣	2011年 1月 26日
30	有形	建造物	天竜浜名湖鉄道天竜川橋梁	天竜浜名湖鉄道	天竜区二俣町	2011年 1月 26日
31	有形	建造物	旧住吉浄水場正門	浜松市	中区住吉五丁目	2012年 2月 23日
32	有形	建造物	旧住吉浄水場ポンプ室	浜松市	中区住吉五丁目	2012年 2月 23日
33	有形	建造物	旧住吉浄水場直送ポンプ井	浜松市	中区住吉五丁目	2012年 2月 23日
34	有形	建造物	旧住吉浄水場配水池	浜松市	中区住吉五丁目	2012年 2月 23日
35	有形	建造物	旧住吉浄水場接合井	浜松市	中区住吉五丁目	2012年 2月 23日
36	有形	建造物	旧住吉浄水場着水井	浜松市	中区住吉五丁目	2012年 2月 23日
37	有形	建造物	旧常光水源地ポンプ室	浜松市	東区常光町	2012年 2月 23日
38	有形	建造物	吉野屋東棟	個人	北区細江町気賀	2015年 3月 26日
39	有形	建造物	吉野屋南棟	個人	北区細江町気賀	2015年 3月 26日
40	有形	建造物	吉野屋北棟	個人	北区細江町気賀	2015年 3月 26日
41	有形	建造物	吉野屋主屋	個人	北区細江町気賀	2015年 3月 26日
42	有形	建造物	ヤマタケの蔵北の蔵	浜松市	天竜区二俣町二俣	2015年 8月 4日
43	有形	建造物	ヤマタケの蔵南の蔵	浜松市	天竜区二俣町二俣	2015年 8月 4日
44	有形	建造物	ヤマタケの蔵新蔵	浜松市	天竜区二俣町二俣	2015年 8月 4日
45	有形	建造物	旧田代家住宅土蔵	浜松市	天竜区二俣町鹿島	2015年 11月 17日
46	有形	建造物	旧田代家住宅主屋	浜松市	天竜区二俣町鹿島	2015年 11月 17日
47	有形	建造物	旧気多村立勝坂小学校校舎	勝坂自治会	天竜区春野町豊岡	2016年 2月 25日
48	有形	建造物	前嶋家住宅主屋	個人	北区引佐町川名	2016年 8月 1日
49	有形	建造物	明治屋醤油醸造所	個人	浜北区小松	2017年 5月 2日
50	有形	建造物	明治屋醤油離れ	個人	浜北区小松	2017年 5月 2日
51	有形	建造物	明治屋醤油店舗兼主屋	個人	浜北区小松	2017年 5月 2日
52	有形	建造物	高林家住宅給水塔	個人	東区有玉南町	2018年 3月 27日
53	有形	建造物	高林家住宅長屋門	個人	東区有玉南町	2018年 3月 27日
54	有形	建造物	高林家住宅蔵	個人	東区有玉南町	2018年 3月 27日
55	有形	建造物	高林家住宅田舎家	個人	東区有玉南町	2018年 3月 27日
56	有形	建造物	高林家住宅主屋・隠居	個人	東区有玉南町	2018年 3月 27日
57	有形	建造物	方広寺本堂	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
58	有形	建造物	方広寺勅使玄関	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
59	有形	建造物	方広寺知客寮	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
60	有形	建造物	方広寺大庫裡	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
61	有形	建造物	方広寺三笑閣	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
62	有形	建造物	方広寺宗務本院	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日

表 46 国登録有形文化財（その2）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	登録年月日
63	有形	建造物	方広寺行在所	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
64	有形	建造物	方広寺禪堂	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
65	有形	建造物	方広寺観音堂	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
66	有形	建造物	方広寺勅使門	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
67	有形	建造物	方広寺開山堂	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
68	有形	建造物	方広寺昭堂	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
69	有形	建造物	方広寺半僧坊拝殿	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
70	有形	建造物	方広寺半僧坊真殿	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
71	有形	建造物	方広寺札場	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
72	有形	建造物	方広寺神楽堂	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
73	有形	建造物	方広寺水屋	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
74	有形	建造物	方広寺鐘楼	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
75	有形	建造物	方広寺七尊菩薩堂拝殿	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
76	有形	建造物	方広寺三重塔	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
77	有形	建造物	方広寺山門	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
78	有形	建造物	方広寺総門	方広寺	北区引佐町奥山	2019年 9月 10日
79	有形	建造物	大福寺庫裏	大福寺	北区三ヶ日町福長	2019年 12月 5日

(5) 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

表 47 国選択無形民俗文化財

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	民俗	無形	西浦の田楽 ※	同保存会	天竜区水窪町奥領家	1970年 6月 8日
2	民俗	無形	寺野の三月堂ひよんどり ※	同保存会	北区引佐町渋川	1972年 8月 5日
3	民俗	無形	懐山のおくない ※	同保存会	天竜区懐山	1983年 12月 16日
4	民俗	無形	遠江のシシウチ行事 ※	(各保存会)	北区引佐町川名、北区滝沢町	1985年 12月 20日
5	民俗	無形	東海地方の大風揚げ習俗	—	静岡県・愛知県	1992年 2月 25日
6	民俗	無形	遠江の御船行事	—	西区呉松町	1994年 12月 13日

※記録作成の措置後に全部または一部が国指定を受けている。

表 48 静岡県選択無形民俗文化財

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	指定等年月日
1	民俗	無形	草木の霜月神楽	(各保存会)	天竜区水窪町奥領家	1984年 3月 16日
2	民俗	無形	水窪町の念仏踊り ※	(各保存会)	天竜区水窪町	1995年 3月 20日
3	民俗	無形	佐久間町の花の舞 ※	(各保存会)	天竜区佐久間町	1996年 3月 12日

※記録作成の措置後に全部または一部が県指定を受けている。

(6) 浜松市認定文化財

表 49 浜松市認定文化財（その1）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	認定年月日
1	有形	建造物	金田家住宅	個人	東区笠井町	2017年 3月 22日
2	有形	建造物	村越家石蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
3	有形	建造物	高橋本家石蔵・土蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
4	有形	建造物	大塚家石蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
5	有形	建造物	井熊家石蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
6	有形	建造物	高橋家石蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
7	有形	建造物	和田家石蔵	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
8	有形	建造物	実相寺鐘楼門	実相寺	北区引佐町	2017年 3月 22日
9	有形	建造物	鹿島の船宿	個人	天竜区二俣町鹿島	2017年 3月 22日
10	有形	建造物	熊平家住宅	個人	天竜区熊	2017年 3月 22日
11	有形	建造物	米沢のごんぐら	個人	天竜区米沢	2017年 3月 22日
12	有形	建造物	旧順誠堂齋藤医院	個人	天竜区船明	2017年 3月 22日
13	有形	建造物	旧石神小学校校舎	浜松市	天竜区石神	2017年 3月 22日
14	有形	建造物	三浦神社拝殿	三浦神社	中区曳馬四丁目	2018年 3月 22日
15	有形	建造物	誠忠碑	浜松市	中区利町	2018年 3月 22日
16	有形	建造物	旧浜松市鴨江別館	浜松市	中区鴨江町	2018年 3月 22日
17	有形	建造物	大通院山門	大通院	南区新橋町	2018年 3月 22日
18	有形	建造物	日本基督教団気賀教会礼拝堂	気賀教会	北区細江町気賀	2018年 3月 22日
19	有形	建造物	岩水寺仁王門	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日

表 50 浜松市認定文化財（その2）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	認定年月日
20	有形	建造物	道本中村家の石蔵	個人	浜北区道本	2018年 3月 22日
21	有形	建造物	心宝寺山門	心宝寺	浜北区小林	2018年 3月 22日
22	有形	建造物	旧光明村立山東尋常小学校門柱	浜松市	天竜区山東	2018年 3月 22日
23	有形	建造物	わんやの蔵	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
24	有形	建造物	藤井陶器店の蔵	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
25	有形	建造物	マルカワの蔵	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
26	有形	建造物	旧鎌田屋商店	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
27	有形	建造物	明治乳業天竜営業所	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
28	有形	建造物	二俣医院	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
29	有形	建造物	二俣医院の蔵	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
30	有形	建造物	旧米徳酒店	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
31	有形	建造物	旧陣屋旅館	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
32	有形	建造物	鈴木徳十商店の蔵	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
33	有形	建造物	藤屋醤油店	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
34	有形	建造物	旧和田医院の蔵	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
35	有形	建造物	岩水寺伽藍	岩水寺	浜北区根堅	2019年 3月 15日
36	有形	建造物	上石田高橋家の石蔵	個人	東区上石田町	2020年 3月 27日
37	有形	建造物	峰之澤橋	浜松市	天竜区龍山町瀬尻	2020年 3月 27日
38	有形	建造物	龍山橋	浜松市	天竜区龍山町	2020年 3月 27日
39	有形	建造物	松本屋旅館	個人	天竜区春野町堀之内	2020年 3月 27日
40	有形	絵画	随縁寺涅槃図	随縁寺	西区村楯町	2017年 3月 22日
41	有形	絵画	随縁寺十六善神図	随縁寺	西区村楯町	2017年 3月 22日
42	有形	絵画	実相寺涅槃図	実相寺	北区引佐町	2017年 3月 22日
43	有形	絵画	正泉寺涅槃図	正泉寺	北区引佐町	2017年 3月 22日
44	有形	絵画	本龍寺涅槃図	本龍寺	北区引佐町別所	2017年 3月 22日
45	有形	絵画	長光寺涅槃図	長光寺	天竜区二俣町二俣	2017年 3月 22日
46	有形	絵画	玖延寺涅槃図	玖延寺	天竜区二俣町阿蔵	2017年 3月 22日
47	有形	絵画	栄林寺涅槃図	栄林寺	天竜区二俣町二俣	2017年 3月 22日
48	有形	絵画	長養寺涅槃図	長養寺	天竜区船明	2017年 3月 22日
49	有形	絵画	宝珠寺観音堂天井絵	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
50	有形	絵画	宝珠寺涅槃図	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
51	有形	絵画	宝珠寺出山釈迦図	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
52	有形	絵画	宝珠寺の頂相群	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
53	有形	絵画	宝珠寺達磨図	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
54	有形	絵画	宝珠寺十六善神図	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
55	有形	絵画	金刀比羅神社格天井絵	金刀比羅神社	浜北区尾野	2019年 3月 15日
56	有形	絵画	清瀧寺涅槃図	清瀧寺	天竜区二俣町二俣	2019年 3月 15日
57	有形	絵画	長久院涅槃図	長久院	浜北区中瀬	2020年 3月 27日
58	有形	彫刻	随縁寺大日如来像	随縁寺	西区村楯町	2017年 3月 22日
59	有形	彫刻	頭陀寺弘法大師像	頭陀寺	南区頭陀寺町	2017年 3月 22日
60	有形	彫刻	頭陀寺地藏菩薩像	頭陀寺	南区頭陀寺町	2017年 3月 22日
61	有形	彫刻	滝清水千手観音像	伊平自治会	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
62	有形	彫刻	松山聖観音像	伊平自治会	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
63	有形	彫刻	松山馬頭観音像	伊平自治会	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
64	有形	彫刻	伊平の阿弥陀如来像	個人	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
65	有形	彫刻	長興寺聖観世音菩薩像	長興寺	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
66	有形	彫刻	宝珠寺子安地藏菩薩像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
67	有形	彫刻	宝珠寺延命地藏菩薩像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
68	有形	彫刻	宝珠寺聖徳太子孝養像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
69	有形	彫刻	宝珠寺岩戸観世音菩薩像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
70	有形	彫刻	上新屋岩戸観音堂の諸仏	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
71	有形	彫刻	宝珠寺聖徳太子撰政像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
72	有形	彫刻	宝珠寺達磨大師像	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
73	有形	彫刻	大通院釈迦如来像	大通院	南区新橋町	2018年 3月 22日
74	有形	彫刻	岩水寺阿弥陀如来像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
75	有形	彫刻	岩水寺大日如来像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
76	有形	彫刻	岩水寺聖徳太子像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
77	有形	彫刻	岩水寺青銅阿弥陀如来像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
78	有形	彫刻	岩水寺不動明王像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
79	有形	彫刻	岩水寺毘沙門天像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
80	有形	彫刻	岩水寺愛染明王像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
81	有形	彫刻	岩水寺薬師如来像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
82	有形	彫刻	岩水寺十一面観音像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
83	有形	彫刻	岩水寺千手観音像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
84	有形	彫刻	岩水寺妙見菩薩像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
85	有形	彫刻	岩水寺地安坊大権現像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
86	有形	彫刻	岩水寺十二神将像	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
87	有形	彫刻	旧熊切小学校木造校舎玄関彫刻	浜松市	天竜区春野町宮川	2018年 3月 22日
88	有形	彫刻	西隠寺椿薬師像	西隠寺	浜北区寺島	2019年 3月 15日

表 51 浜松市認定文化財（その3）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	認定年月日
89	有形	彫刻	宝珠寺半僧坊大権現像	宝珠寺	東区上新屋町	2020年 3月 27日
90	有形	工芸品	随縁寺大日堂扁額	随縁寺	西区村楠町	2017年 3月 22日
91	有形	工芸品	頭陀寺半鐘	頭陀寺	南区頭陀寺町	2017年 3月 22日
92	有形	工芸品	大通院舍利容器	大通院	南区新橋町	2018年 3月 22日
93	有形	工芸品	大通院舍利塔	大通院	南区新橋町	2020年 3月 27日
94	有形	書跡	賀茂真淵筆懐紙	個人	中区	2017年 3月 22日
95	有形	書跡	宝珠寺通応和尚墨跡一円相	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
96	有形	書跡	宝珠寺山岡鉄舟の書跡群	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
97	有形	書跡	深奥山扁額	佐藤西町自治会	中区佐藤一丁目	2020年 3月 27日
98	有形	典籍	馬郡観音堂旧蔵大般若経	如意寺	西区馬郡町	2017年 3月 22日
99	有形	典籍	宝珠寺法華経	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
100	有形	典籍	宝珠寺大般若経	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
101	有形	絵画／書跡	雄踏町ゆかりの書画	浜松市	西区雄踏町字布見	2020年 3月 27日
102	有形	古文書	長久院文書	郷土中瀬の歴史と文化を勉強する会	浜北区中瀬	2017年 3月 22日
103	有形	古文書	雄踏町西ヶ崎自治会文書	西ヶ崎自治会	西区雄踏町	2018年 3月 22日
104	有形	古文書	岩水寺袖ヶ浦干水記	岩水寺	浜北区根堅	2018年 3月 22日
105	有形	古文書	浜松城主井上正直屋敷図	個人	浜北区	2018年 3月 22日
106	有形	古文書	北嶋八幡宮文書	八柱神社	東区薬師町	2020年 3月 27日
107	有形	古文書	薬師町八柱神社鳥居壺門棟札	八柱神社	東区薬師町	2020年 3月 27日
108	有形	歴史資料	舟橋紀功碑	個人	東区中野町	2017年 3月 22日
109	有形	歴史資料	天竜川実測図	個人	東区	2017年 3月 22日
110	有形	歴史資料	浜松領東境領境石	不詳	東区薬新町	2017年 3月 22日
111	有形	歴史資料	中瀬村大橋家関係資料	郷土中瀬の歴史と文化を勉強する会	浜北区中瀬	2017年 3月 22日
112	有形	歴史資料	気多森林鉄道関係資料	浜松市	天竜区春野町宮川	2017年 3月 22日
113	有形	歴史資料	安間町会所の幕	安間町自治会	東区安間町	2018年 3月 22日
114	有形	歴史資料	蒲二薬会日曜学校旗	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
115	有形	歴史資料	天龍橋料金入箱	浜松市	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
116	有形	歴史資料	旧鎌田屋商店のガソリン計量器	個人	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
117	有形	歴史資料	袴田喜長翁顕彰碑	二俣地区自治会連合会	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
118	有形	歴史資料	出征兵士歓迎迎台	春野地区自治会連合会	天竜区春野町長蔵寺	2018年 3月 22日
119	有形	歴史資料	小沢義助像台座	浜松市	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
120	有形	歴史資料	下阿多古の消防手曳ガソリンポンプ	浜松市	天竜区二俣町	2018年 3月 22日
121	有形	歴史資料	館山寺街道の道標	個人	中区富塚町	2019年 3月 15日
122	有形	歴史資料	宇布見街道の道標	個人	中区富塚町	2019年 3月 15日
123	有形	歴史資料	五社・諏訪神社の手水鉢	五社神社・諏訪神社	中区利町	2019年 3月 15日
124	有形	歴史資料	五社神社の光海霊神碑	五社神社・諏訪神社	中区利町	2019年 3月 15日
125	有形	歴史資料	旧元城尋常小学校校長像台座	浜松市	中区元城町	2019年 3月 15日
126	有形	歴史資料	金原明善翁顕彰碑	八柱神社	東区薬師町	2019年 3月 15日
127	有形	歴史資料	頭陀寺薬師道の道標	頭陀寺	南区頭陀寺町	2019年 3月 15日
128	有形	歴史資料	堤町馬頭観音堂の手水鉢	好徳寺	南区堤町	2019年 3月 15日
129	有形	歴史資料	熊市場の時計台台座	市場自治会	天竜区熊	2019年 3月 15日
130	有形	歴史資料	高札(五榜の掲示第五札)	個人	天竜区春野町田黒	2019年 3月 15日
131	有形	歴史資料	曳馬坂拡張記念碑	浜松市	中区高町	2020年 3月 27日
132	有形	歴史資料	御朱印状保管箱及び御朱印写	個人	中区助信町	2020年 3月 27日
133	有形	歴史資料	近世近代浜松関係資料	個人	東区有玉北町	2020年 3月 27日
134	有形	歴史資料	手押し消防ポンプ車及び刺し子	天王町中自治会	東区天王町	2020年 3月 27日
135	有形	歴史資料	蒲神明宮の大灯笼	蒲神明宮	東区神立町	2020年 3月 27日
136	有形	歴史資料	小山みい・頌徳灯笼	蒲神明宮	東区神立町	2020年 3月 27日
137	有形	歴史資料	蒲大神の碑	蒲神明宮	東区植松町	2020年 3月 27日
138	有形	歴史資料	福長浅雄建立謝恩の碑	個人	南区大塚町	2020年 3月 27日
139	有形	歴史資料	大塚稲荷明神の手水鉢	個人	南区大塚町	2020年 3月 27日
140	有形	歴史資料	宮口野口辻の傍示木(ぼんじぎ)	野口町内会	浜北区宮口	2020年 3月 27日
141	有形	歴史資料	九勇士の碑	報恩寺	浜北区宮口	2020年 3月 27日
142	民俗	有形	天王町東地蔵菩薩堂	天王町東自治会	東区天王町	2017年 3月 22日
143	民俗	有形	天王町東秋葉山常夜燈鞘堂	天王町東自治会	東区天王町	2017年 3月 22日
144	民俗	有形	天王町東引舞台家形	天王町東自治会	東区天王町	2017年 3月 22日
145	民俗	有形	白鳥の富士石	六所神社	東区白鳥町	2017年 3月 22日
146	民俗	有形	頭陀寺役行者像	頭陀寺	南区頭陀寺町	2017年 3月 22日
147	民俗	有形	滝清水役行者像	伊平自治会	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
148	民俗	有形	宮口の三階屋台	研友会	浜北区宮口	2017年 3月 22日
149	民俗	有形	石神市場の竜燈檠	個人	天竜区石神	2017年 3月 22日
150	民俗	有形	二俣町二俣の秋葉山道標	個人	天竜区二俣町二俣	2017年 3月 22日
151	民俗	有形	玖延寺弘法大師像	玖延寺	天竜区二俣町阿蔵	2017年 3月 22日
152	民俗	有形	長養寺馬頭観音像	長養寺	天竜区船明	2017年 3月 22日
153	民俗	有形	長養寺道祖神	長養寺	天竜区船明	2017年 3月 22日

表 52 浜松市認定文化財（その4）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	認定年月日
154	民俗	有形	早出薬師講信仰資料	早出薬師講	中区早出町	2018年 3月 22日
155	民俗	有形	蓮華寺松尾芭蕉句碑	蓮華寺	中区紺屋町	2018年 3月 22日
156	民俗	有形	心造寺賀茂真淵句碑	心造寺	中区紺屋町	2018年 3月 22日
157	民俗	有形	宝珠寺六地藏と立念仏供養塔	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
158	民俗	有形	宝珠寺観音札の版本	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
159	民俗	有形	宝珠寺のおみくじ箱	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
160	民俗	有形	宝珠寺の念仏数珠	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
161	民俗	有形	宝珠寺庚申図	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
162	民俗	有形	宝珠寺日本左衛門供養塔	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
163	民俗	有形	宝珠寺半僧坊大権現の碑	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
164	民俗	有形	宝珠寺秋葉山常夜灯	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
165	民俗	有形	宝珠寺手水筒	宝珠寺	東区上新屋町	2018年 3月 22日
166	民俗	有形	雄踏町領家の金館車	領家自治会	西区雄踏町	2018年 3月 22日
167	民俗	有形	大通院禁葷酒標石	大通院	南区新橋町	2018年 3月 22日
168	民俗	有形	堤町馬頭観音像	好徳寺	南区堤町	2018年 3月 22日
169	民俗	有形	倉松町のいぼ地藏信仰資料	個人	南区倉松町	2018年 3月 22日
170	民俗	有形	二俣町南嶺連屋台	二俣町新町自治会	天竜区二俣町二俣	2018年 3月 22日
171	民俗	有形	笠井町春日神社の神輿	春日神社	東区笠井町	2019年 3月 15日
172	民俗	有形	息神社の金の中額	息神社	西区雄踏町	2019年 3月 15日
173	民俗	有形	雄踏町西ヶ崎の館車	西ヶ崎自治会	西区雄踏町字布見	2019年 3月 15日
174	民俗	有形	雄踏町田端の館車	田端自治会	西区雄踏町字布見	2019年 3月 15日
175	民俗	有形	山崎の秋葉山常夜灯鞘堂	山崎自治会	西区雄踏町山崎	2019年 3月 15日
176	民俗	有形	寺島の道祖神	寺島自治会	浜北区寺島	2019年 3月 15日
177	民俗	有形	寺島山王の秋葉山常夜灯	寺島自治会	浜北区寺島	2019年 3月 15日
178	民俗	有形	根堅祭りの神輿	岩水寺	浜北区根堅	2019年 3月 15日
179	民俗	有形	神沢の庚申塔	神沢西自治会	天竜区神沢	2019年 3月 15日
180	民俗	有形	大日山守護神堂	神沢東自治会	天竜区神沢	2019年 3月 15日
181	民俗	有形	田河内の秋葉山常夜灯鞘堂	田河内自治会	天竜区春野町田河内	2019年 3月 15日
182	民俗	有形	龍勢社屋台幕	大居自治会	天竜区春野町堀之内	2019年 3月 15日
183	民俗	有形	山王岩峰の仏像	個人	天竜区水窪町奥領家	2019年 3月 15日
184	民俗	有形	住吉の親子地藏像	個人	中区住吉二丁目	2020年 3月 27日
185	民俗	有形	天王町中の屋台	天王町中自治会	東区天王町	2020年 3月 27日
186	民俗	有形	雄踏町浅羽の館車	浅羽自治会	西区雄踏町字布見	2020年 3月 27日
187	民俗	有形	雄踏町小山の館車	小山自治会	西区雄踏町字布見	2020年 3月 27日
188	民俗	有形	雄踏町中村の館車	中村自治会	西区雄踏町字布見	2020年 3月 27日
189	民俗	有形	兎荷薦ノ巢山の行者様	兎荷区	北区引佐町兎荷	2020年 3月 27日
197	民俗	有形	袖ヶ浦三十三観音霊場の観音像	(各地)	浜北区/東区	2020年 3月 27日
190	民俗	有形	新原の阿弥陀三尊像	善願地区	浜北区新原	2020年 3月 27日
191	民俗	有形	中瀬四塔の秋葉山常夜灯鞘堂の欄間	中瀬稲荷神社	浜北区中瀬	2020年 3月 27日
192	民俗	有形	宮口洗沢の秋葉山常夜灯鞘堂	個人	浜北区宮口	2020年 3月 27日
193	民俗	有形	宮口土取の賓頭盧尊者像	個人	浜北区宮口	2020年 3月 27日
194	民俗	有形	宮口三十三観音霊場の観音像	(各地)	浜北区宮口	2020年 3月 27日
195	民俗	有形	二俣古城連の屋台	中町自治会	天竜区二俣町二俣	2020年 3月 27日
196	民俗	有形	六十六部供養塔及び教傳様神号石	向市場自治会	天竜区水窪町地頭方	2020年 3月 27日
198	民俗	無形	有玉神社の流鏝馬神事	—	東区有玉南町	2017年 3月 22日
199	民俗	無形	松之浦神社の注連縄	—	東区松小池町	2017年 3月 22日
200	民俗	無形	中野町の煙火	—	東区中野町	2017年 3月 22日
201	民俗	無形	賀久留神社の神幸祭	—	西区神ヶ谷町	2017年 3月 22日
202	民俗	無形	息神社の田遊祭	—	西区雄踏町	2017年 3月 22日
203	民俗	無形	舞阪の太鼓祭り	—	西区舞阪町	2017年 3月 22日
204	民俗	無形	雄踏歌舞伎万人講	—	西区雄踏町	2017年 3月 22日
205	民俗	無形	金指市神様の祭祀	—	北区引佐町金指	2017年 3月 22日
206	民俗	無形	東久留女木の万歳楽	—	北区引佐町	2017年 3月 22日
207	民俗	無形	細江神社の祇園まつり	—	北区細江町気賀	2017年 3月 22日
208	民俗	無形	浦川歌舞伎	—	天竜区佐久間町浦川	2017年 3月 22日
209	民俗	無形	佐久間竜神の舞	—	天竜区佐久間町中部	2017年 3月 22日
210	民俗	無形	八幡神楽	—	天竜区水窪町奥領家	2017年 3月 22日
211	民俗	無形	浜松秋葉神社の管粥祭	—	中区三組町	2018年 3月 22日
212	民俗	無形	雄踏町山崎の百万遍念仏	—	西区雄踏町	2018年 3月 22日
213	民俗	無形	金折津島神社祇園祭(ヨイト)	—	南区金折町	2018年 3月 22日
214	民俗	無形	水窪まつり	—	天竜区水窪町奥領家	2018年 3月 22日
215	民俗	無形	芋掘神楽	—	天竜区佐久間町奥領家	2018年 3月 22日
216	民俗	無形	松島神楽	—	天竜区佐久間町相月	2018年 3月 22日
217	民俗	無形	鹿島の火花	—	天竜区二俣町	2018年 3月 22日
218	民俗	無形	二俣まつり	—	天竜区二俣町	2018年 3月 22日
219	民俗	無形	水窪の削り花	—	天竜区水窪町奥領家	2018年 3月 22日
220	民俗	無形	笠井町春日神社の神輿渡御	—	東区笠井町	2019年 3月 15日
221	民俗	無形	馬門の神楽	—	北区引佐町奥山	2019年 3月 15日

表 53 浜松市認定文化財（その5）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	認定年月日
222	民俗	無形	奥山の手筒花火	—	北区引佐町奥山	2019年 3月 15日
223	民俗	無形	「小組」の屋台行事とお囃子	—	北区引佐町小斎藤	2019年 3月 15日
224	民俗	無形	金刀比羅神社巫女神楽	—	浜北区尾野	2019年 3月 15日
225	民俗	無形	水窪の祇園祭り	—	天竜区水窪町	2019年 3月 15日
226	民俗	無形	蒲神明宮の御田打ち	蒲神明宮	東区神立町	2020年 3月 27日
227	民俗	無形	蒲神明宮の庭上座礼	—	東区神立町	2020年 3月 27日
228	民俗	無形	蒲神明宮の神楽	—	東区神立町	2020年 3月 27日
229	民俗	無形	初生衣神社おんぞ祭り	—	北区三ヶ日町岡本	2020年 3月 27日
230	民俗	無形	横山八幡神社の祭礼	—	天竜区横山町	2020年 3月 27日
231	民俗	無形	瀬尻のぶか風	—	天竜区龍山町瀬尻	2020年 3月 27日
232	記念物	史跡	舟岡山のトーチカ	桜井製作所	東区半田町	2017年 3月 22日
233	記念物	史跡	中ノ町村道路元標	—	東区中野町	2017年 3月 22日
234	記念物	史跡	大庭神社境内	大庭神社	東区中野町	2017年 3月 22日
235	記念物	史跡	近藤季用の墓	実相寺	北区引佐町	2017年 3月 22日
236	記念物	史跡	井平氏墓所	個人	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
237	記念物	史跡	林森神社境内	林森神社	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
238	記念物	史跡	野末甚左衛門の墓	個人	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
239	記念物	史跡	溪雲寺境内	溪雲寺	北区引佐町川名	2017年 3月 22日
240	記念物	史跡	井伊直平の墓	個人	北区引佐町川名	2017年 3月 22日
241	記念物	史跡	井殿の塚	龍潭寺	北区引佐町井伊谷	2017年 3月 22日
242	記念物	史跡	笹岡城跡	浜松市	天竜区二俣町二俣	2017年 3月 22日
243	記念物	史跡	小沢仁庵の墓	心造寺	中区紺屋町	2018年 3月 22日
244	記念物	史跡	浜松秋葉神社境内	浜松秋葉神社	中区三組町	2018年 3月 22日
245	記念物	史跡	元龜霊神社境内	個人	中区住吉二丁目	2018年 3月 22日
246	記念物	史跡	引間城跡	元城町東照宮	中区元城町	2018年 3月 22日
247	記念物	史跡	白鳥町子安神社境内	子安神社	東区白鳥町	2018年 3月 22日
248	記念物	史跡	洞雲寺境内	洞雲寺	西区神ヶ谷町	2018年 3月 22日
249	記念物	史跡	足神社境内	足神社	天竜区水窪町奥領家	2018年 3月 22日
250	記念物	史跡	秋葉山表参道	秋葉神社他	天竜区春野町	2018年 3月 22日
251	記念物	史跡	狐塚古墳	個人	中区富塚町	2019年 3月 15日
252	記念物	史跡	五社神社・諏訪神社の石垣	五社神社・諏訪神社	中区利町	2019年 3月 15日
253	記念物	史跡	黒田稲荷境内	鍛冶町自治会	中区鍛冶町	2019年 3月 15日
254	記念物	史跡	金山神社境内	金山神社	中区栄町	2019年 3月 15日
255	記念物	史跡	賀茂真淵夫婦の墓	個人	中区中沢町	2019年 3月 15日
256	記念物	史跡	地安坊(大権現)境内	岩水寺	浜北区根堅	2019年 3月 15日
257	記念物	史跡	岩水寺白山神社境内	岩水寺	浜北区根堅	2019年 3月 15日
258	記念物	史跡	金刀比羅神社境内	金刀比羅神社	浜北区尾野	2019年 3月 15日
259	記念物	史跡	高根神社境内	高根神社	浜北区尾野	2019年 3月 15日
260	記念物	史跡	尾野の塹壕	高根神社	浜北区尾野	2019年 3月 15日
261	記念物	史跡	清瀧寺信康廟	清瀧寺	天竜区二俣町二俣	2019年 3月 15日
262	記念物	史跡	熊の鏡石	柴沢丸自治会	天竜区熊	2019年 3月 15日
263	記念物	史跡	大日山浄水井戸	神沢東自治会	天竜区神沢	2019年 3月 15日
264	記念物	史跡	茂三塚	館山寺町自治会	西区館山寺町	2020年 3月 27日
265	記念物	史跡	桜塚	館山寺町自治会	西区館山寺町	2020年 3月 27日
266	記念物	史跡	新羅神社境内	個人	南区江之島町	2020年 3月 27日
267	記念物	史跡	東黒田奉行屋敷跡	個人	北区引佐町東黒田	2020年 3月 27日
268	記念物	史跡	得月寺境内	得月寺	北区引佐町兎荷	2020年 3月 27日
269	記念物	史跡	兎荷六所神社境内	兎荷区	北区引佐町兎荷	2020年 3月 27日
270	記念物	史跡	中瀬の霞堤	個人	浜北区中瀬	2020年 3月 27日
271	記念物	史跡	庚申寺境内	庚申寺	浜北区宮口	2020年 3月 27日
272	記念物	史跡	報恩寺境内	報恩寺	浜北区宮口	2020年 3月 27日
273	記念物	史跡	大屋敷墳墓	個人	浜北区宮口	2020年 3月 27日
274	記念物	史跡	陽泰院境内	陽泰院	浜北区宮口	2020年 3月 27日
275	記念物	史跡	鳥羽山の掘割	—	天竜区二俣町二俣	2020年 3月 27日
276	記念物	史跡	二光の滝	—	天竜区二俣町二俣・山東	2020年 3月 27日
277	記念物	名勝	白倉峽	白倉自治会	天竜区龍山町大嶺	2017年 3月 22日
278	記念物	名勝	龍山町瀬尻の不動の滝	瀬尻自治会	天竜区龍山町瀬尻	2018年 3月 22日
279	記念物	名勝	熊の黒滝	個人	天竜区熊	2019年 3月 15日
280	記念物	名勝	荒沢不動の滝	神沢西自治会	天竜区神沢	2019年 3月 15日
281	記念物	名勝	横山の雨乞淵	個人	天竜区横山町	2020年 3月 27日
282	記念物	名勝	横山の不動の滝	市場自治会	天竜区横山町	2020年 3月 27日
283	記念物	名勝	佐久の稚児の滝	個人	天竜区佐久	2020年 3月 27日
284	記念物	天然記念物	赤石構造線赤石裂線	—	天竜区大谷	2017年 3月 22日
285	記念物	天然記念物	クロツバメシジミとツメレンゲ	静岡県	天竜区佐久間町	2017年 3月 22日
286	記念物	天然記念物	浜松秋葉神社のオガタモノキ	浜松秋葉神社	中区三組町	2018年 3月 22日
287	記念物	天然記念物	大野一本桜	個人	天竜区水窪町奥領家	2018年 3月 22日
288	記念物	天然記念物	兎荷鍾乳洞	兎荷区	北区引佐町兎荷	2020年 3月 27日
289	文化的景観	—	六郎沢の水辺空間	個人	天竜区熊	2018年 3月 22日

表 54 浜松市認定文化財（その 6）

No.	区分	種別	名称	所有者	所在地	認定年月日
290	文化的景観	—	久留女木の棚田	—	北区引佐町	2019年 3月 15日
291	文化的景観	—	大栗安の棚田	大栗安棚田倶楽部	天竜区大栗安	2019年 3月 15日
292	文化的景観	—	滝沢の石垣集落景観	—	北区滝沢町	2020年 3月 27日
293	その他	伝承地	鎌砥池	頭陀寺町奉賛会	南区頭陀寺町	2017年 3月 22日
294	その他	伝承地	伝井平城跡	個人	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
295	その他	伝承地	伝井平氏居館跡	個人	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
296	その他	伝承地	伝井平氏の殿村居館跡	個人	北区引佐町伊平	2017年 3月 22日
297	その他	伝承地	伝鑑橋跡	川名自治会	北区引佐町川名	2017年 3月 22日
298	その他	伝承地	大蒲町のまつり道	浜松市	東区大蒲町	2020年 3月 27日
299	その他	伝承地	楠御前の墓	菟荷区	北区引佐町菟荷	2020年 3月 27日
300	その他	近代化遺産	満州道路	浜松市	北区豊岡町	2017年 3月 22日
301	その他	近代化遺産	光明電鉄阿蔵トンネル	栄林寺	天竜区二俣町二俣	2017年 3月 22日
302	その他	近代化遺産	光明電鉄二俣口駅ホーム跡	浜松市	天竜区二俣町阿蔵	2017年 3月 22日
303	その他	近代化遺産	鳥羽山洞門	浜松市	天竜区二俣町	2018年 3月 22日
304	その他	近代化遺産	旧太田製作所のトロッコ軌道跡	個人	天竜区二俣町二俣	2020年 3月 27日
305	その他	伝統的生活文化	水窪じゃがた	—	天竜区水窪町	2020年 3月 27日
306	その他	伝統的生活文化	光明勝栗	光明勝栗保存会	天竜区只来	2020年 3月 27日
307	伝統的建造物群	—	中野町の町並み(旧東海道沿)	—	東区中野町	2017年 3月 22日
308	伝統的建造物群	—	浦川の街並み	—	天竜区佐久間町浦川	2020年 3月 27日

(7) 指定等文化財集計表

表 55 各区別の指定等文化財件数

種別		中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	重複	小計	合計	
有形文化財	建造物	国		1		4				5	30	
		県				3		1		4		
		市	3	1	2		5	3	7			21
	絵画	国					1				1	29
		県	1				5				6	
		市					11	1	10		22	
	彫刻	国					3	1			4	70
		県		1	2	1	8				12	
		市	2		5	3	32	2	10		54	
	工芸品	国	3				2		3		8	49
		県	3		2	1	1		1		8	
		市	3		2		14		14		33	
	書跡	国									0	29
		県							1		1	
		市	11				10	1	6		28	
	典籍	国					1				1	6
		県	1								1	
		市	1				3				4	
	古文書	国					1				1	21
		県							1		1	
		市	6	1	4		3		5		19	
考古資料	国									0	16	
	県	3				3	1			7		
	市	1		2		6				9		
歴史資料	国									0	6	
	県									0		
	市	1				4		1		6		
無形文化財	国									0	0	
	県									0		
	市									0		
民俗文化財	有形	国								0	15	
		県			1		1		3	5		
		市					3	1	6			10
	無形	国					1		2	-1	2	11
		県			1		2		2		5	
		市	1				1	1	2	-1	4	
記念物	史跡	国	1				1		2		4	80
		県	1				4	2	2		9	
		市	4	1	10	1	24	6	22	-1	67	
	名勝	国					1				1	10
		県			1		5			-1	5	
		市	1		1				3	-1	4	
	天然記念物	国						1	1		2	62
		県	2	1			3		9		15	
		市	2		4	3	19	2	17	-2	45	
内訳	国指定	4	0	1	0	15	2	8	-1	29		
	県指定	11	2	7	2	35	3	20	-1	79		
	市指定	36	3	30	7	135	17	103	-5	326		
合計		51	5	38	9	185	22	131	-7	434		
重複	ひよんどりとおくない(北・天竜) 浜名湖(西・北) ギフチョウ(北・天竜) 遠州大念仏(中・浜北) 佐鳴湖(中・西) ウミガメ(南・西) 東大山一里塚(北・西)											
国登録有形文化財		6	7	0	0	41	6	19		79		
国選択無形民俗文化財		0	0	0	0	2	0	2		4		
県選択無形民俗文化財		0	0	0	0	0	0	3		3		
浜松市認定文化財		27	68	23	18	38	47	88	-1	308		
埋蔵文化財包蔵地		63	92	190	51	362	106	201		1065		
重複	袖ヶ浦三十三観音霊場(東・浜北)											

(8) 文化財に関する主な社寺

表 56 指定文化財を有する社寺 (その1)

No.	社寺名	所在地		所有文化財			
		区	所在地	指定	区分	種別	名称
1	県居神社	中区	中区東伊場一丁目	県	有形	典籍	正平版論語
2	浜松八幡宮	中区	中区八幡町	県	記念物	天然記念物	雲立のクス
3	増福寺	中区	中区北島町	県	記念物	天然記念物	笹ヶ瀬限石
4	大雄寺	中区	中区天神町	市	有形	建造物	大雄寺山門
5	両光寺	中区	中区富塚町	市	有形	彫刻	木造聖観音立像
6	宗源院	中区	中区蛸塚一丁目	市	有形	古文書	宗源院文書
7	寿量院	中区	中区蛸塚四丁目	市	有形	古文書	寿量院文書
8	栄秀寺	中区	中区領家二丁目	市	記念物	天然記念物	栄秀寺のイチョウ
9	光禅寺	東区	東区大蒲町	県	有形	彫刻	木造大日如来坐像
10	妙恩寺	東区	東区天竜川町	県	記念物	天然記念物	法橋のマツ
11	甘露寺	東区	東区中郡町	市	有形	建造物	甘露寺中門
12	妙恩寺	東区	東区天龍川町	市	有形	古文書	妙恩寺文書
13	息神社	西区	西区雄踏町宇布見	県	有形	彫刻	古面
14				県	有形	彫刻	獅子頭
15				市	有形	古文書	息神社棟札
16	岐佐神社	西区	西区舞阪町舞阪	市	有形	工芸品	金銅装神輿
17	入野八幡神社	西区	西区入野町	市	記念物	天然記念物	入野八幡神社のクス
18	西大山教会	西区	西区大山町	市	有形	彫刻	木造馬頭観音立像
19				市	有形	彫刻	木造不動明王立像
20				市	有形	彫刻	木造毘沙門天立像
21				市	有形	工芸品	金銅装厨子
22	龍雲寺	西区	西区入野町	市	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像
23	安寧寺	西区	西区雄踏町山崎	市	有形	古文書	清庵宗徹贈如然禅師諡号勅書
24	宿蘆寺	西区	西区庄内町	市	記念物	史跡	宿蘆寺大澤家墓所
25	妙相寺	西区	西区志都呂町	市	記念物	天然記念物	妙相寺のイヌマキ
26	津毛利神社	南区	南区参野町	県	有形	彫刻	王の舞面
27	毘沙門寺	南区	南区石原町	市	有形	彫刻	木造毘沙門天立像
28	法蔵寺	南区	南区白羽町	市	有形	彫刻	木造阿弥陀如来立像 附 像内納入品
29	龍谷寺	南区	南区飯田町	市	有形	彫刻	木造薬師如来坐像
30	西伝寺	南区	南区西伝寺町	市	記念物	天然記念物	西伝寺のイブキ
31	浜名惣社神明宮	北区	北区三ヶ日町三ヶ日	国	有形	建造物	浜名惣社神明宮本殿
32				県	有形	建造物	撰社天羽槌雄神社
33	井伊谷宮	北区	北区引佐町井伊谷	市	有形	絵画	紙本淡彩神馬図(丙午(弘化三年)の記がある, 大久保一丘筆)
34				市	有形	彫刻	厨子入金銅十一面観音立像(兜前立)
35				市	有形	工芸品	鉄製轡 銘藤原宗春作
36				市	有形	書跡	紙本墨書新古今集断簡(伝宗良親王筆)
37		-	東京都台東区	国	有形	工芸品	太刀 銘国綱
38				市	有形	工芸品	太刀 無銘伝舞草 伝宗良親王佩刀
39	宇志八幡宮	北区	北区三ヶ日町宇志	県	有形	彫刻	能面父尉
40				県	有形	彫刻	能面鉢巻悪尉
41	細江神社	北区	北区細江町気賀	県	記念物	天然記念物	テンダイウヤク群落地
42				市	有形	彫刻	木造男神立像
43				市	有形	彫刻	木造男神立像
44				市	有形	彫刻	木造牛頭天王立像
45				市	有形	彫刻	木造牛頭天王立像
46				市	記念物	天然記念物	細江神社のクス
47	渭伊神社	北区	北区引佐町井伊谷	県	記念物	史跡	渭伊神社境内遺跡
48	只木神明宮	北区	北区三ヶ日町只木	市	有形	工芸品	籬双雀鏡
49				市	有形	工芸品	只木神明宮鏡像及び懸仏
50	二宮神社	北区	北区細江町気賀	市	記念物	天然記念物	二宮神社のホルトノキ
51				市	記念物	天然記念物	二宮神社のナギ
52	蘭草神社	北区	北区細江町気賀	市	有形	工芸品	脇差 銘近藤用和作
53	寺野六所神社	北区	北区引佐町渋川	市	有形	工芸品	横笛(伝青葉の笛)
54	蜂前神社	北区	北区細江町気賀	市	有形	古文書	蜂前神社文書
55	初生衣神社	北区	北区三ヶ日町岡本	市	民俗	有形	初生衣神社織殿附 神庫 古式織具
56	白山神社	北区	北区引佐町井伊谷	市	記念物	史跡	白山1号墳
57	屯倉水神社	北区	北区細江町気賀	市	記念物	天然記念物	屯倉水神社の大スギ
58	大福寺	北区	北区三ヶ日町福長	国	有形	絵画	絹本着色普賢十羅刹女像
59				国	有形	工芸品	金銅装笠
60				国	有形	古文書	紙本墨書瑠璃山年録残篇
61				県	有形	彫刻	木造薬師如来坐像
62				県	記念物	名勝	大福寺庭園
63				市	有形	絵画	絹本着色両界曼荼羅図
64				市	有形	彫刻	能面

表 57 指定文化財を有する社寺（その2）

No.	社寺名	所在地		所有文化財						
		区	所在地	指定	区分	種別	名称			
65	摩訶耶寺	北区	北区三ヶ日町摩訶耶	国	有形	彫刻	木造千手観音立像			
66				国	有形	彫刻	木造不動明王立像			
67				県	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像			
68				県	有形	彫刻	木造金剛力士立像			
69				県	有形	彫刻	木造金剛力士立像			
70				県	記念物	名勝	摩訶耶寺庭園			
71				市	有形	古文書	今川義元寺領安堵状			
72	龍潭寺	北区	北区引佐町井伊谷	国	有形	典籍	宋版錦繡萬花谷			
73				国	記念物	名勝	龍潭寺庭園			
74				県	有形	建造物	龍潭寺伽藍 附棟札 山号額			
75				県	有形	絵画	紙本金地著色遊楽図六曲屏風			
76				市	有形	工芸品	禾目天目茶碗			
77				市	記念物	史跡	伝井伊共保出生井			
78				方広寺	北区	北区引佐町奥山	国	有形	建造物	方広寺七尊菩薩堂
79	国	有形	彫刻				木造釈迦如来及両脇侍坐像			
80	県	有形	絵画				絹本着色無文元選像			
81	市	有形	絵画				紙本墨画布袋図(白隠慧鶴筆)			
82	市	有形	彫刻				厨子入金銅苦行釈迦像			
83	市	有形	彫刻				木造吉祥天女立像			
84	市	有形	彫刻				木造准胝観音立像			
85	市	有形	彫刻				木造子安観音立像			
86	市	有形	典籍				宋版法華経(巻七)			
87	市	有形	書跡				白隠慧鶴墨跡(百寿字)			
88	市	有形	書跡				無文元選墨跡(七言絶句)			
89	市	有形	書跡				紙本墨書詩句(山岡鉄舟筆)			
90	市	有形	書跡				紙本墨書捨遺集断簡(伝後醍醐天皇筆)			
91	市	記念物	天然記念物				方広寺の半僧スギ			
92	宝林寺	北区	北区細江町中川	国	有形	建造物	宝林寺 仏殿・方丈			
93				県	有形	建造物	宝林寺山門			
94				県	有形	絵画	紙本着色独湛禅師画像			
95				県	有形	絵画	紙本着色近藤貞用夫妻画像			
96				県	有形	彫刻	木造釈迦如来坐像及び両脇侍像(釈迦如来坐像の背面に寛文七年四月十六日、洛陽大仏師法橋康祐の銘あり) 木造達磨大師坐像・伝武帝倚像 木造二十四善神立像			
97				市	有形	建造物	宝林寺報恩堂			
98				市	有形	絵画	紙本着色法源禅師像			
99				市	記念物	天然記念物	宝林寺のエンコウスギ			
100				長楽寺	北区	北区細江町気賀	県	有形	工芸品	梵鐘
101							県	記念物	名勝	長楽寺庭園
102	市	有形	彫刻				木造馬頭観音坐像			
103	華蔵寺	北区	北区三ヶ日町日比沢	県	有形	彫刻	木造釈迦如来坐像			
104				市	有形	絵画	絹本着色地藏菩薩像(霊仲の賛がある)			
105				市	有形	彫刻	木造大日如来坐像			
106				市	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像			
107				県	記念物	名勝	実相寺庭園			
108	実相寺	北区	北区引佐町金指	市	有形	建造物	実相寺伽藍本堂・観音堂・庚申堂			
109				東林寺	北区	北区細江町気賀	市	有形	建造物	東林寺山門 附 棟札
110	市	民俗	有形				東林寺の庚申塔			
111	寿龍院	北区	北区引佐町井伊谷	市	有形	彫刻	木造十王坐像(木喰五行作)			
112				市	有形	彫刻	木造葬頭河婆半跏像(木喰五行作)			
113	6区大日堂	北区	北区引佐町井伊谷	市	有形	彫刻	木造大日如来坐像			
114				市	有形	工芸品	鰯口(大永八年八月の銘がある)			
115	金剛寺	北区	北区三ヶ日町駒場	市	有形	絵画	慈眼寺庚申堂天井板絵			
116	林慶寺	北区	北区滝沢町	市	有形	彫刻	木造大日如来坐像			
117	大円寺	北区	北区細江町気賀	市	有形	彫刻	木造大日如来坐像、木造天部立像			
118	長徳寺	北区	北区細江町広岡	市	有形	彫刻	木造地藏菩薩立像、木造千体地藏菩薩立像			
119	富壽観音堂	北区	北区引佐町奥山	市	有形	工芸品	鰯口(延文二年九月の銘がある)			
120	川名薬師堂	北区	北区引佐町川名	市	有形	工芸品	鰯口(文安四年壬二月の銘がある)			
121	龍翔寺	北区	北区引佐町の場	市	有形	典籍	紙本墨書大般若経			
122	清水寺	北区	北区引佐町井伊谷	市	有形	書跡	観音山額(法源禅師筆)			
123	東光院	北区	北区引佐町渋川	市	記念物	天然記念物	渋川のイチョウ			
124	玉洞寺	北区	北区三ヶ日町上尾奈	市	記念物	天然記念物	玉洞寺のサザンカ			
125	秋葉神社	浜北区	浜北区小松	市	有形	建造物	小松秋葉大鳥居			
126				市	有形	建造物	小松秋葉山常夜燈			
127	宮口六所神社	浜北区	浜北区宮口	市	記念物	史跡	大屋敷5号窯跡			

表 58 指定文化財を有する社寺（その3）

No.	社寺名	所在地		所有文化財			
		区	所在地	指定	区分	種別	名称
128	岩水寺	浜北区	浜北区根堅	国	有形	彫刻	木造地藏菩薩立像 附 像内納入品
129	龍泉院	浜北区	浜北区内野	県	記念物	史跡	赤門上古墳
130	庚申寺	浜北区	浜北区宮口	市	有形	絵画	板地著色二十四孝図(元禄六年七月奉納の記がある)
131	徳泉寺	浜北区	浜北区堀谷	市	有形	彫刻	木造十王坐像(木喰五行作)
132				市	有形	彫刻	木造葬頭河婆半跏像(木喰五行作)
133	興覚寺 他	浜北区	浜北区宮口	市	記念物	史跡	興覚寺後古墳
134	岩水寺	浜北区	浜北区根堅	市	記念物	天然記念物	白山神社のクス
135	秋葉神社	天竜区	天竜区春野町領家	国	有形	工芸品	太刀 銘安繩(備前)
136				国	有形	工芸品	太刀 銘弘次
137				国	有形	工芸品	太刀 銘来国光
138				市	有形	建造物	秋葉神社社門
139				市	記念物	天然記念物	秋葉神社社叢
140	山住神社	天竜区	天竜区水窪町山住	県	記念物	天然記念物	山住神社のスギ
141				市	有形	建造物	山住神社社門
142	諏訪神社	天竜区	天竜区米沢	県	記念物	天然記念物	米沢諏訪神社のイチイガシ
143	八坂神社 他	天竜区	天竜区春野町宮川	県	有形	工芸品	大時八幡神社の鰐口
144	武速神社	天竜区	天竜区横川	県	記念物	天然記念物	將軍スギ
145	小国神社	天竜区	天竜区春野町杉	市	有形	彫刻	木造男神坐像、木造男神立像
146				市	民俗	有形	小国神社の瓶子
147	横山八幡神社	天竜区	天竜区大谷	市	有形	工芸品	横山八幡神社懸仏
148				市	民俗	有形	田楽面及び祭具
149	阿寺六所神社	天竜区	天竜区大谷	市	有形	工芸品	鰐口(永正十五年六月の銘がある)
150	西神沢六所神社	天竜区	天竜区大谷	市	有形	工芸品	鰐口(長禄二年十二月の銘がある)
151	小川若宮八幡神社	天竜区	天竜区大谷	市	有形	工芸品	鰐口(延徳二年十一月の銘がある)
152	大谷寺佐八幡神社	天竜区	天竜区大谷	市	有形	工芸品	鰐口(永禄十一年二月の銘がある)
153	八剣池神社 他	天竜区	天竜区水窪町地頭方	市	有形	工芸品	鰐口(文明三年極月の銘がある)
154	新宮神社	天竜区	天竜区春野町和泉平	市	記念物	名勝	新宮池
155	渡ヶ島諏訪神社	天竜区	天竜区渡ヶ島	市	記念物	天然記念物	渡ヶ島諏訪神社社叢
156	南宮神社	天竜区	天竜区春野町気田	市	記念物	天然記念物	南宮神社のイチイガシ
157	馬背神社	天竜区	天竜区佐久間町佐久間	市	記念物	天然記念物	馬背神社のスギ
158	相月諏訪神社	天竜区	天竜区佐久間町相月	市	記念物	天然記念物	相月諏訪神社のスギ
159	光明寺	天竜区	天竜区山東	国	記念物	史跡	光明山古墳
160	大光寺	天竜区	天竜区春野町花島	県	記念物	天然記念物	春野スギ
161				市	記念物	史跡	大光寺境内
162	大智寺	天竜区	天竜区春野町宮川	県	有形	書跡	紙本墨書大般若経
163	瑞雲院	天竜区	天竜区春野町堀之内	市	有形	建造物	瑞雲院山門
164				市	有形	建造物	瑞雲院鐘楼
165				市	有形	絵画	板地著色牡丹菊花図(藤玄谷筆)
166				市	記念物	史跡	瑞雲院境内 附 天野家墓所
167				市	記念物	天然記念物	瑞雲院のイヌマキ
168	秋葉寺	天竜区	天竜区春野町領家	市	有形	彫刻	木造聖観音坐像
169				市	有形	彫刻	木造十一面観音立像
170				市	有形	彫刻	木造伝勝軍地蔵立像
171				市	有形	彫刻	木造四天王立像
172	玖延寺	天竜区	天竜区二俣町阿蔵	市	有形	絵画	紙本着色聖徳太子像(寛政三年七月画の記がある、内山真龍筆)
173				市	有形	彫刻	木造薬師如来立像
174				市	有形	彫刻	木造阿弥陀如来坐像
175	洞泉寺	天竜区	天竜区大谷	市	有形	絵画	絹本着色釈迦十六善神像
176				市	有形	書跡	五部大乘経
177	善住寺	天竜区	天竜区水窪町地頭方	市	有形	絵画	絹本着色寿老人花鳥図(狩野常信筆)
178	長月寺	天竜区	天竜区長沢	市	有形	彫刻	木造薬師如来坐像
179	峯熊阿弥陀堂	天竜区	天竜区大谷	市	有形	工芸品	鰐口(応安二年二月の銘、寛正三年小春、明治拾五年、昭和七年葉月の追銘がある)
180	永福寺	天竜区	天竜区水窪町奥領家	市	有形	工芸品	鍍絵楊貴妃額(平出宇蔵作)
181	明光寺	天竜区	天竜区佐久間町大井	市	記念物	天然記念物	明光寺のカヤ

はまなそうじゃしんめいぐう
浜名惣社神明宮（北区三ヶ日町三ヶ日）



延喜式内社である浜名郡英田神社と考えられている浜名惣社神明宮は、この地の古代豪族である浜名県主がその祖先神を祭っていたが、伊勢神宮領になる際に神明宮になったという。本殿は板倉造（井籠造）という古い建築様式で、四個の礎石の上に厚板を井桁に組み上げた壁を持ち、屋根を独立棟持柱で支えた建物である。文政7年（1824年）以前の建物で、重要文化財に指定されている。

あきはじんじゃ
秋葉神社（天竜区春野町領家）



現在は「火伏の神」として知られ、派生して東京・秋葉原の語源ともいわれている。標高866mの山頂付近に秋葉神社上社、気田川沿いの麓に下社がある。江戸時代までは秋葉寺と山頂付近に共存していた。上社は昭和18年（1943年）の山火事で延焼し、昭和61年（1986年）に再建されている。神社には、国の重要文化財を含む刀剣が数多く奉納されている。

やまづみじんじゃ
山住神社（天竜区水窪町山住）



南アルプスに連なる水窪町の山住山の山頂近く、標高1100m付近に鎮座する。遠江のヤマイヌ信仰の中心。縁起では和銅2年（709年）に伊予国の大山祇神社を勧請したという。永正10年（1514年）に奥山郷を領有していた奥山氏が、武運長久を祈願して神社を造営した。徳川幕府にも寄進を受けたが、享保18年（1733年）の落雷で本殿他を焼失、幕府の許しを得て延享元年（1744年）に再建した。江戸時代には山住大権現と称したが、明治5年（1872年）に山住神社へ改称した。

ほそえじんじゃ
細江神社（北区細江町気賀）



明応7年（1498年）の地震で流失した新居の角避比古神社のご神体が赤池の里に流れ着き、永正8年（1511年）に現在の地で、牛頭天王として祀られたと伝わる。角避比古神社のご神体が流れ着いたと伝わる場所には現在、赤池様公園がある。毎年七月の第三土・日曜日に行われる祇園祭では、神輿に乗ったご神体がこの赤池に巡幸し、神事が執り行われる。明治元年（1868年）に細江神社と改称され、境内には八幡宮、藺草神社など多くの境内社がある。

かばしんめいぐう
蒲神明宮（東区）



社伝では一説に大同元年(806年)に伊勢神宮を勧請して創建したとする。文献では、貞観16年(874年)にそれまで正六位だった蒲大神ほかに従五位下を授けたと『日本三代実録』にみえる。この蒲大神を前身とし、この地にやってきた藤原北家出身の藤原静並が耕地を開発して伊勢神宮に寄進し、神明宮を勧請した。伊勢神宮にならい、20年に一度社殿ほかを新しくする式年遷宮を継続している。

はままつはちまんぐう
浜松八幡宮（中区八幡町）



仁徳天皇の御代、遠津淡海（遠江）鎮静のため、海運の神として知られる玉依比売命を祀ったと伝わり、延喜式には許部神社と記されている。天慶元年(938年)に現在の地へと遷座されたと伝えられ、永承6年(1051年)には源義家により八幡二柱の神が勧請され、多くの武家庶民の崇敬を集めたとされる。中でも徳川家康は浜松入城以来、武家の守護神・浜松城鬼門鎮守、鬼門降伏の氏神として信仰し、開運招福・武運長久を祈って度々参拝したといわれる。

おきじんじゃ
息神社（西区雄踏町宇布見）



社伝によると慶雲2年(705年)創建と伝えられ、社号を息としているのは、伊邪那岐尊と伊邪那美尊が、朝霧を吹き払うために吹かれた息が神になったといわれる志那都比古神・志那都比賣神を祭り、当時の公家言葉で「息」の文字を「おいき」と読み、雄踏町宇布見ではそれを略して「おき」と読んだことから息神社と称している。中世には、農業神、商業神として宇迦之御魂神・猿田毘古神・大宮比賣神の三柱が合祀された。

いいのやぐう
井伊谷宮（北区引佐町井伊谷）



明治の初めに後醍醐天皇の第四皇子である宗良親王を祭神として建てられ、市内で唯一「官幣社」となった神社。宗良親王が73歳と当時としては長寿であったことから「長寿・除災開運」の守護神として信仰されている。この地に埋葬された際には、宗良親王の弟で、井伊谷の西にある方広寺を開山した無文禪師が導師として奉仕したといわれる。本殿の背後には宗良親王の墓と伝えられる塚がある。

りょうたんじ
龍潭寺（北区引佐町井伊谷）



天正5年（733年）に行基により開創されたと伝わる寺。幕末の大老井伊直弼で知られる井伊家四十代を祀る菩提寺。境内には、国指定名勝記念物の龍潭寺庭園や、江戸時代に建てられたといわれる県指定文化財の本堂、山門、開山堂など、数々の文化財を有する。

本堂は延宝4年（1676年）再建と伝えられ、堂内の廊下は鶯張りとなっている。また、廊下上部の左甚五郎作と伝えられる龍の彫刻も見どころの一つ。

ほうりんじ
宝林寺（北区細江町中川）



寛文4年（1664年）、明国の僧・独湛禅師によって開創されたと伝わる黄檗宗の寺院。創建当時は七堂伽藍も整い、その建物の多くは中国明朝風の建築様式であったとされる。現在でも、仏殿、方丈（重要文化財）、山門、報恩堂などにその面影を感じることができる。仏殿には、寛文7年（1667年）に建てられたとされ、本尊の釈迦三尊像、左右に達磨大師像・武帝像、両側の壇上には二十四天の善神（いずれも県指定文化財）がまつられている。

ほうこうじ
方広寺（北区引佐町奥山）



臨済宗方広寺派の総本山、奥山半僧坊の名でも親しまれている。建徳2年（1371年）に後醍醐天皇の皇子・無文元選禅師が開創したと伝えられる。本尊は釈迦三尊像（静岡県指定文化財）。本堂は、幾度かの山火事のもらい火で被害を受け、現在の建物は明治38年（1905年）から大正4年（1915年）にかけて完成したもの。間口32m、奥行き27mで、中央には、山岡鉄舟により書かれた山号『深奥山』の大額が掲げられている。建物の規模は県下最大級といわれる。

がんすいじ
岩水寺（浜北区根堅）



高野山真言宗別格本山。神亀2年（725年）行基が自刻の薬師如来を安置したことに始まると伝えられている。

本尊は子安地藏尊（重要文化財）。古来より厚い信仰を集め、「家をまもるは岩水寺」とよばれるほど家内安全・商売繁盛・安産・子授け・厄除け・開運の寺として名高い。春には桜が咲き誇り、参拝客の目を楽しませている。

ちょうらくじ
長楽寺（北区細江町気賀）



大同年間創建と伝わる真言宗の古刹。姫街道から北へ折れ、呉石川、長楽寺川沿いに500mほど進むと駐車場に至る。そこから独湛筆の額が掛かる山門へと進む。境内の梵鐘には「遠江国引佐郡気賀庄 長楽寺 嘉元3年(1305年)乙巳四月十日鑄之 大工平正継」との銘がある。本尊は、護摩堂に安置される木造馬頭観坐像である。かつては、境内背後の丘陵に本堂があり、そこに本尊も祀られていた。本堂跡には現在、宝篋印塔が建てられている。

まかやじ
摩訶耶寺（北区三ヶ日町摩訶耶）



高野山真言宗。寺伝によれば行基開創。もと富幕山に新達寺があったが、後に千頭峯に移されて真萱寺と号し、平安時代末に現在地へ移転したという。現在の本堂は、寛永9年(1632年)の建立とされ、堂内には鮮やかな色彩が残る美しい格天井や折上天井の曲線、臺股の飛天像など、優美な雰囲気にあふれている。宝物館には、千手観音立像(平安時代中期、重要文化財)、不動明王立像(鎌倉時代、重要文化財)、阿弥陀如来坐像(平安時代後期、静岡県指定文化財)が安置される。

だいふくじ
大福寺（北区三ヶ日町福長）



高野山真言宗。寺伝によると貞観17年(875年)に富幕山の南斜面に開創した幡教寺を、承元元年(1207年)に現在地に移したという。姫街道から北へ2.4kmとやや離れる。参道を進むと、鎌倉時代の金剛力士立像(静岡県指定文化財)を左右に配した仁王門がある。本堂には本尊薬師如来坐像(静岡県指定文化財、秘仏)が安置されている。また参道左側の門を入ると、客殿、書院、庫裡があり、その西側が庭園(静岡県指定名勝)である。

じっそうじ
実相寺（北区引佐町金指）



嘉慶元年(1387年)に開創されたと伝えられ、延宝6年(1678年)に再建された本堂のほか、諸堂も古い建物が多く、特に鐘楼門や県指定名勝となっている庭園の美しさが知られている。引佐三十三観音と浜名湖新西国の札所でもあり、門前には松嶋十湖の句碑や渡辺謙堂の彰徳碑がある。

5 年 表

表 59 年表 (その1)

時代		郷土の主なできごと		日本の主なできごと	
原始古代	旧石器時代	約2万年前	浜北人が活動する		移動生活が営まれる
	縄文時代	紀元前 2000 頃	蜆塚で貝塚を伴う集落ができる		狩猟採集を中心とした定住生活が始まる
	弥生時代	紀元前 100 頃 紀元後 100 頃	市内の平野部で稲作が始まる 伊場に三重の環濠で囲まれた集落ができる 市内各地で銅鐸を用いたまつりが盛んになる		稲作や金属器の使用 邪馬台国の卑弥呼が活躍する
古代	古墳時代	300 頃	北岡大塚古墳がつくられる	645	ヤマト王権の勢力拡大
		400 頃	赤門上古墳がつくられる		大山陵古墳 倭五王の活躍
	飛鳥時代	500 頃 600 頃 700 頃	渡来人が移入し、積石塚をつくる 光明山古墳がつくられる (このころ小型の円墳が各地につくられる) 伊場に評の役所がつくられる 長田評に寺院(木船庵寺)が建てられる		聖徳太子の政治 大化の改新
奈良時代	743	数智郡竹田郷の刑部真須弥が調の黄繩を納入する (このころ遠江国分寺が建てられる)	710 741	平城京に都が移る 国分寺建立の詔	
	761	(このころ遠江から九州に防人が派遣され、和歌を詠む) 龜玉川(天竜川)の堤防が修理される(天宝堤)	752	東大寺大仏の開眼	
平安時代	806	(このころ、宇志に瓦塔が建てられる)	794	平安京に都が移る	
	842	龍禅寺が創建される	801	坂上田村麻呂の蝦夷征討	
鎌倉時代	862	橘逸勢が伊豆に配流となり、遠江国で没す	866	藤原良房が摂政になる	
	863	浜松湖の浜名橋が修築される			
室町時代	927	頭陀寺が定額寺になる	1016	藤原道長が摂政になる	
	927	『延喜式』が成立 市内の神社が記載される (このころ『和名類聚抄』に「浜津」(浜松)郷が記載される)	1086	院政が始まる	
中世	室町時代	1156	保元の乱に遠江の武士が参加する	1159	平治の乱
		1158	平重盛が遠江守(国司)になる		(このころ平氏全盛)
室町時代	室町時代	1171	池田荘の境界が定められる	1192	源頼朝が征夷大將軍となる
		1180	源頼朝が安田義定を遠江守護に任命する (このころ源頼朝が蒲御厨より鎌倉へ移る)		
室町時代	室町時代	1193	源頼朝が伊豆国で殺される	1274	文永の役
		1233	只木神明宮に懸仏が奉納される	1281	弘安の役
室町時代	室町時代	1254	蒲神明宮が修理される	1338	足利尊氏が征夷大將軍となる
		1277	『十六夜日記』の作者 阿仏尼が引間に泊まる		
室町時代	室町時代	1305	長楽寺の梵鐘がつくられる	1397	金閣(足利義満)
		1337	宗良親王が井伊城にはいる	1392	南北朝合一
1339	鴨江城、千頭峰城が北朝方に攻略される	1404	日明貿易(勘合貿易)が始まる		
室町時代	室町時代	1340	三岳城、大平城が落ち遠江の南朝方の勢力が弱まる	1404	日明貿易(勘合貿易)が始まる
		1371	無文元選が奥山に方広寺を建てる		
室町時代	室町時代	1399	天野景隆が犬居等の地頭職を安堵される	1404	日明貿易(勘合貿易)が始まる
		1405	尾張の守護、斯波義重、遠江の守護となる		
室町時代	室町時代	1428	華藏義雲が隨縁寺(のちの普濟寺)を建てる		

表 60 年表 (その2)

時代		郷土の主なできごと	日本の主なできごと
中世	室町時代 戦国時代	1456 蒲御厨の農民が一揆をおこし引間の土倉を焼く	
		1485 万里集九、引間宿に泊まり、引間宿の繁栄を記す	1467 応仁の乱がおこる
		1498 地震・津波で浜名湖に今切口ができ、ほぼ現在の形となる	1482 銀閣(足利義政)
		1508 今川氏親、遠江の守護となる	
		1517 今川氏親、斯波氏や大河内氏が守る引間城を攻略する	
		1530 氏親後室の寿桂尼が玖延寺の寺領を安堵する	1543 鉄砲が伝来
		1551 このころ日吉丸(後の秀吉)が松下氏につかえる	1549 キリスト教が伝来
		1560 今川義元、尾張桶狭間で織田信長の奇襲にあい討死	
		1568 家康が三河から遠江に入り、引間城の飯尾氏をうつ	
		1570 家康、浜松城に移る	
1572 武田信玄が遠江に侵入、三方ヶ原で家康の軍を破る (このころから遠州大念仏がはじまる)			
安土桃山時代	1575 長篠・設楽原の戦いで武田軍が織田・徳川連合軍に敗れる	1573 室町幕府がほろびる	
	1579 家康の正室、築山御前殺害、松平信康、二俣城で自害		
	1582 本能寺の変 家康、甲斐・信濃を制圧		
	1586 家康、浜松城から駿府城に移る	1582 太閤検地	
	1589 家康、遠江・駿河等で検地を行う	1588 刀狩	
	1590 堀尾吉晴、浜松城主となり、石垣と天守を築く	1590 豊臣秀吉の全国統一	
		1592 文禄の役	
	1600 今切関所(新居関所)ができる	1600 関ヶ原の戦い	
	1601 浜松宿十王町を伝馬町と改める		
	近世	江戸時代	1604 東海道に一里塚がおかれる
1607 角倉了以が家康の命令で天竜川水運を整える			1615 豊臣氏ほろびる 武家諸法度
1637 助郷の制が定まり浜松宿郷村五か村が指定される (このころから笠井の市が開かれる)			1635 参勤交代の制
			1639 鎖国が完成する
			1649 「慶安の御触書」がでたと伝えられる
1664 独湛禅師が金指に宝林寺を建てる			
1675 小天竜の縮切り工事で彦助堤ができる			
1703 浜松町奉行浜松宿を調査、総戸数1386戸、人口4336人			
1707 東海に大地震があり今切渡船による交通がとだえる (このころから秋葉信仰・秋葉山参詣が盛んになる)			1709 新井白石の政治
1712 連尺町が御役町となり御役町六か町ができる			1716 享保の改革
1729 姫街道を象が通行する		1722 幕府が新田開発を奨励する (国学がおこる)	
1733 賀茂真淵、京都へのぼり荷田春満の門に入る			
1735 浜松藩、目安箱を採用する (このころ、しばしば遠州大念仏が禁止される)			
1769 賀茂真淵が江戸で没する		1772 田沼意次が老中となる	
1784 各地に大ききんがあり、打ちこわしがおこる		1782 天明の大ききん	
1798 内山真龍が『遠江国風土記伝』を完成させる		1787 寛政の改革	
1803 伊能忠敬が遠州海岸を測量する			
1817 水野忠邦が浜松城主となる (このころ、浜松宿総戸数1710戸)		1825 外国船打払令	
1836 浜松藩、新源太夫堀を掘削		1833 ~ 37 天保の大ききん	
1840 大念仏、初風の禁止令		1837 大塩平八郎の乱	
1842 浜松藩、大蔵永常を招き藩政改革を進める	1841 天保の改革		
1845 水野氏、山形へ転封され井上正春が浜松城主となる			
1846 有玉下村をはじめ浜松藩領内に一揆がおこる			
1846 藩校克明館が建てられる			
1854 安政の大地震で各地に被害がでる	1853 ベリー 浦賀にくる		
1856 米津台場(砲台)の主要部が完成する	1854 日米和議条約		
	1859 安政の大獄		
	1860 桜田門外の変		
	1866 薩長同盟が成立		
	1867 大政奉還 王政復古		
近代	明治	1868 遠州報国隊が結成される	1868 ~ 69 戊辰戦争
		徳川家達が遠江・駿河・三河70万石に封じられる	
		堀江藩が成立する	
		1869 浜松奉行所が開設される、浜松に郡政役所が開設される	1869 版籍奉還
		1871 浜松郵便取扱所が伝馬町に設置される (このころ堀留運河が完成する)	1871 廃藩置県
		1871 堀江藩が堀江県となり、静岡県から浜松県が発足	
		1872 浜松県裁判所設置される	1872 学生発布
		1873 第一番小学校(のちの元城小学校)が開校する	1873 徴兵令 地租改正
		1873 浜松城が廃城となる	1874 民選議院設立建白書
		1875 金原明善 治河協力社を創立する	
1876 浜松県は静岡県と合併し、支所がおかれる			
1876 浜松区裁判所が元城町におかれる	1877 西南戦争		
1877 気賀林、三方原に百里園茶製所を開く	1880 国会開設の請願		
1886 明善、瀬尻の植林を始める	(自由民権運動さかん)		

表 61 年表 (その3)

時代		郷土の主なできごと	日本の主なできごと
近代	明治	1887 山葉寅楠が浜松尋常小学校のオルガンを修理する	
		1889 浜松に町制がしかれる(人口13,624人)	1889 大日本帝国憲法発布 (軽工業-産業革命)
		1889 東海道鉄道全線が開通する	1890 第一回帝国会議
		1889 王子製紙気田工場が操業を開始する	1894 ~ 95 日清戦争
		1894 静岡県尋常中学校浜松分校(のちの浜松北高)が開校する	1894 治外法権の撤廃
		1896 敷智、長上、浜名の3郡を廃し、浜名郡とする	
		1900 日本楽器でピアノの製造を開始する	
		1902 浜松電燈会社が設立される	1902 日英同盟
		1906 静岡工場試験場浜松分場が設立される	1904 ~ 05 日露戦争 (重工業-産業革命)
		1907 歩兵第67連隊が設置される	
		1908 浜松に電話が開通する	
		1909 浜松・鹿島間軽便鉄道が開通する	
	1910 浜松瓦斯(ガス)会社が設立される	1910 韓国併合	
	1911 浜松に市制がしかれる(人口36,782人)	1911 関税自主権の回復	
	1912 鉄道院浜松工場が業務を開始する	1912 第一次護憲運動	
	大正	1914 浜松・金指間に軽便鉄道が開通する	1914 ~ 18 第一次世界大戦 中国に二十一か条の要求
		1915 浜松師範学校が開校する 浜松市率病院が開設される	
		1915 浜松工業学校が開校する	
		1918 浜松で米騒動がおきる	1918 米騒動
		1920 遠州織物界、不況で2か月総休業	1920 国際連盟加盟 労働運動がさかん 民主的傾向強まる
1920 浜松市立図書館が設立される			
1922 浜松高等工業学校が開校する			
1923 関東大震災のため、各駅に避難民が救護所をつくる		1923 関東大震災	
1925 歩兵第67連隊が廃止	1925 治安維持法		
1926 飛行第七連隊が設置される	1925 普通選挙制		
昭和(戦前)	1926 日本楽器でストライキが行われる		
	1926 日本最初の普通選挙が浜松で行われる		
	1926 高柳健次郎、テレビの送信実験に成功		
	1928 高射砲連隊が歩兵第67連隊跡に設置される	1928 (不景気で多くの銀行が倒産) 第一回普通選挙実施	
	1930 豊田佐吉死去 中村興資平が浜松銀行集会所を建築する	満州事変	
	1931 上水道が完成し通水式を行う	五・一五事件	
	1933 浜松放送局が開局される 浜松陸軍飛行学校が開校する	1933 国際連盟脱退	
	1936 市営バスが運転を開始する	1936 二・二六事件	
	1937 松菱百貨店が開店(高層ビルデパートの進出)	1937 日中戦争始まる	
	1939 浜松保健所が設立される 物価・賃金引上げ禁止令が出る	1938 国家総動員法	
	1940 国鉄二俣線が開通する	1940 日独伊三国同盟	
	1940 市営陸上競技場が上島に完成する	1941 太平洋戦争が始まる	
	1942 浜松市内の主要工場が軍需工場に指定される	1944 学徒労働員が始まる	
	1944 (このころ防空壕が各地につくられ始める)	1944 本土への空襲が始まる	
	1944 東南海地震地、浜松南部の一部が被害をうける	1945 広島・長崎に原爆投下	
1945 米軍機の空襲をうけ、中心部が被災	1945 ポツダム宣言を受諾		
現代	昭和(戦後)	1946 昭和天皇、浜松市を視察	1946 日本国憲法の公布
		1948 本田技研(株)設立、モーターバイク生産開始	1947 教育基本法
		1948 浜松市営野球場が上島に完成する	
		1949 東海道本線静岡・浜松間が電化される	1949 湯川秀樹ノーベル賞
		1950 市営動物園・市営元城プールができる	1950 朝鮮戦争始まる
			1951 講和条約に調印
		1952 保安航空学校、浜松に開校(のちの航空自衛隊浜松基地)	1951 日米安全保障条約
		1953 東海道本線浜松・名古屋間電化完成	1953 テレビ放送が始まる
		1956 佐久間ダムが完成する 浜松オートレース場が開設される	1954 自衛隊の設置
		1957 静岡国体開催 浜松でも競技	1956 日ソ間国交回復
	1958 浜松城天守閣が再建される	1956 国際連合に加盟	
	1959 NHK浜松放送局がテレビ放送を始める	1960 日米安全保障条約の改定	
	1964 東海道新幹線浜松駅営業開始 遠州鉄道奥山線廃止	1964 東海道新幹線の開通	
	1967 三方原用水の通水が始まる	1964 東京オリンピック大会	
	1969 東名高速道路が開通する	1965 日韓基本条約	
	1969 国道浜松バイパス(のちの国道1号)が開通する	1970 万国博覧会大阪で開催	
	1970 温水プール(江之島)およびフラワerparkが完成する	1972 札幌冬季オリンピック大会	
	1974 浜松医科大学が開学する	1972 沖縄返還、日中国交正常化	
	1979 浜松市博物館が開館する	1973 石油危機	
	1986 大火により秋葉神社社殿が焼失する		
1987 テクノポリス都田開発区建設がスタートする			
平成	1991 第一回浜松国際ピアノコンクールを開催する	1992 PKO法案成立・カンボジア派遣	
	1994 アクトシティが完成する		
	1996 中核市としてスタートする	1998 長野冬季オリンピック大会	
	2000 静岡文化芸術大学が開学する	2002 学校週5日制スタート	
	2004 浜名湖花博開催		
	2006 広域合併により人口80万人を超える		
	2007 政令指定都市となる		
2011 浜松市制100周年	2011 東日本大震災・福島原発事故		
2012 新東名高速道路(県内区間)が開通する			

浜松市文化財保存活用地域計画（案）

資料編

令和2年（2020年）12月

発行 浜松市

〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2

編集 市民部文化財課

電話 053-457-2466

E-mail bunkazai@city.hamamatsu.shizuoka.jp
